

KL-G2

取扱説明書 保証書付

別紙の「はじめにお読みください」をお読みになった後、こちらをお読みください。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

— 本機に対応するテープ幅 —



RJA530465-001V01

MO1405-A

準備編

電源との接続、テープカートリッジの装着などを説明しています。

おためし印刷編

簡単なデータを作って印刷するまでの流れを説明しています。

ラベル作成編

工夫したデータの作り方を説明しています。

デザインロゴ編

デザインロゴの印刷やインストールの方法を説明しています。

入力・編集編

文字の入力・修正や書体の変更などを説明しています。

設定編

画面のコントラスト、印刷の濃度、入力音の設定などを説明しています。

付録

使い方が分からなくなったときの対処などを説明しています。

CASIO®

ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利
はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

なお、本書中には、以下の用語の® マークを明記していません。

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 「eneloop」は、パナソニックグループの登録商標です。
- 「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。
- 「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

©2014 CASIO COMPUTER CO., LTD.

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収 / 分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジはご購入の求めの販売店までお持ちください。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書は KL-G2 について説明しています。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらご連絡ください。
- 本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

目次

準備編 8

各部の名前とはたらき	8
本機の操作の流れ	9
電源について	9
ACアダプターで使う	9
はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!	11
電源を入れる・切る	12
オートパワーオフ(節電)機能について	12
印刷する文章の作り方について	13
テープカートリッジを取り付ける/取り外す	14
テープカートリッジを取り付ける	14
テープカートリッジを取り外す	15
キーのはたらき	16
キーの表記について	17
画面について	18

おためし印刷編 18

まずは作ってみましょう	18
ラベルを印刷する	18
ラベルを貼る	20
テープを空送りする	21
テープの余白を「送り無」にしたときは	21
終了する	21
文字の入力について	21
印刷時の注意事項	22
印刷とカットモード	22
カットモードについて(オートカッター)	22
カットのしかたと余白について	25

ラベル作成編 26

ラベル作成の流れ	26
フォーマットを選んで作る(用途別ラベル)	26
フォーマットを選ぶ	27
通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング)	29
ナンバリングの種類	29
インデックスラベルを作る	31
インデックスラベルの種類	31
自由に入力して作る(ユーザー作成)	31
定型句を使って作る	33

インデックスラベル「定型句」一覧	35
大きなラベルを作る(拡大印刷)	36
自由に入力して作る(フリーラベル)	37
2行以上のラベルを作る	38
文章をブロックに分ける	39
ラベルの書式を決める	40
ブロックごとに書式を決める	40
文章全体の書式を決める	41
ラベルの長さを自由に決める	44
ブロックの長さを設定する(ブロック長固定)	44
ラベル全体の長さを自由に設定する(テープ長固定)	45
CDケース・ファイル用のラベルなどを簡単に設定する(テープ長さダイレクト設定キー)	46
文章のバランスを整える(割付)	47
ブロック内で文字のバランスを整える	47
ラベル内のブロックのバランスを整える	48
文字の大きさを決める	49
文字単位で大きさを決める	49
行単位で大きさを決める(フォーマット選択)	51
フレームを付ける	53
縦書きのラベルを作る	54
バーコードラベルを作る	55
バーコードのタイプ	55
バーコードの仕様	57
QRコードラベルを作る	58
印刷できるQRコードのタイプ	58
作成したデータを登録する・呼び出す	61
データを登録する	61
登録したデータを呼び出す	62
登録したデータを削除する	62

デザインロゴ編 63

ロゴ入りのラベルを印刷する(デザインロゴ)	63
パソコンにデザインロゴをダウンロードする	63
ダウンロードしたデザインロゴを本機に転送する	64
デザインロゴを印刷する	66
本機内蔵のデザインロゴにおける印刷時の大きさ	67

入力・編集編 68

カーソルのはたらきと動かし方	68
ローマ字入力?それともかな入力?	68
ローマ字入力とかな入力を切り換える	68
入力する文字の切り替え方法	69
ひらがな・カタカナの入力	69

アルファベット (大文字・小文字) の入力	69
ひらがな・カタカナの入力	69
ひらがなの入力	69
カタカナの入力	70
いろいろな文字の入力方法	70
漢字の入力	71
入力した「よみ」から予測された変換候補を選ぶ (予測変換)	71
「よみ」を入力してから変換する	72
漢字辞書を使って文字を入力 (漢字辞書機能)	73
読みから呼び出す	73
総画数から呼び出す	74
部首から呼び出す	75
区点コードから呼び出す	75
アルファベット・数字・記号・絵文字の入力	77
アルファベットの入力	77
数字の入力	77
記号 (キーに印刷されているもの) の入力	78
記号 (その他の記号) の入力	78
絵文字の入力	79
文字を修正・削除するときは	79
文字を1文字ずつ消す	79
すべての文字を消す (文削除)	80
間違った文字を直す	80
書体 (フォント) を変える	82
入力済みの文字の書体を変える	83
電源を入れたときの書体を決める	84
文字を上付・下付にする	85
文字を目立たせる	86
文字に飾りを付ける	88
文字修飾を指定する	88
文字修飾を取り消す	89
よく使う語句を登録する / 呼び出す (プリセットタイトル)	89
プリセットタイトルを呼び出す	89
新しくプリセットタイトルを作る	90
プリセットタイトルを修正する	90
プリセットタイトルを削除する	91
日付や時刻をデータに挿入する	91
現在の日付や時刻をデータに挿入する (タイムスタンプ)	92
指定期間が経過後の日付や時刻をデータに挿入する (タイムスパン)	92
入力した文字をコピーする・貼り付ける (コピー・ペースト)	93
文字をコピーする	93
コピーした文字を貼り付ける (ペースト)	93
オリジナルの文字 (外字) を作る	94
はじめてから自分で作る (新規作成)	94

本機にある文字を利用して作る (参照作成)	95
すでに作ってある外字を修正する	95
外字を使う	95
登録した外字を削除する	96
よく使う語句を辞書に登録する (ユーザー辞書)	96
語句を登録する	96
登録した語句を修正する	97
登録した語句を削除する	97
設定編	98
設定を変える	98
設定できる項目	98
ブザー音を消したい	98
バックライトを切り替えたい	99
画面のコントラストを変えたい	99
印刷の濃さを変えたい	99
日付、時刻を設定する	100
変換学習した情報を初期化したい	100
予測変換しないように設定したい	100
電池の設定をする	100
サンプルデータを印刷する (デモ印刷)	101
付録	102
電源について	102
電池で使う	102
お手入れの方法	104
綿棒できれいにする	104
クリーニングテープを使う	104
こんなときは (トラブルシューティング)	105
エラーメッセージ一覧	108
ローマ字入力一覧	112
記号・絵文字一覧	113
フレーム一覧	116
用途別ラベルフォーマット一覧	117
ナンバリングフォーマット一覧	120
テープ幅と行数・倍率一覧	120
各機能における使用可能テープ幅一覧	120
拡大印刷時のテープ幅と文字の大きさ	120
デザインロゴ内蔵データ一覧	121
内蔵漢字一覧	123
仕様	128
別売品について	129
索引	130
保証・アフターサービスについて	131

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

電池について

- ❗ 電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
 1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
 2. ただちに医師の治療を受ける。そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

- ⊘ 煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
 1. 電源スイッチを切る。
 2. USB ケーブルをはずす。
 3. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
 4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

AC アダプターについて

- AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
- ❗ ● 必ず指定品を使用する
 - 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
 - ⊘ ● 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしな

警告

AC アダプター／USB ケーブルについて

電源コード／USB ケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

-  重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- アダプター本体にコードを巻きつけない
-  電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する

AC アダプター／USB ケーブルについて

-  濡れた手で電源コード／USB ケーブルやプラグに触れないでください。感電の原因となります。
- AC アダプター／USB ケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプター／USB ケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- 電源コード／AC アダプター／USB ケーブルを新聞紙やテーブルクロス、カーテン、布団、毛布などで覆わないようにしてください。火災の原因となります。

AC アダプターについて

-  外出時は、動物・ペットが本機に近づかないようにして、電源コード／AC アダプターはコンセントから抜いてください。電源コード／AC アダプターに噛みついた場合、ショート（短絡）により、火災や感電の原因となります。

警告

電池について

-  本機内で電池が液もれしたまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに本機の使用をやめてお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡してください。

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

-  分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- アルカリ乾電池を充電しない
-  極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れる

落とさない、ぶつけない

-  本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
 1. 電源スイッチを切る。
 2. USB ケーブルをはずす。
 3. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。電池が入っている場合は、電池をはずす。
 4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

⚠ 警告

分解・改造しない

 本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご依頼ください。

水、液体、異物はさける

 水、スポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USB ケーブルをははずす。
3. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。電池が入っている場合は、電池をははずす。
4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

火中に投入しない

 本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない

 本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

 電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠ 注意

AC アダプター／USB ケーブルについて

AC アダプター／USB ケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

-  ストープ等の熱器具に近づけない
-  プラグを抜くときは、電源コード／USB ケーブルを引っ張らない（必ず AC アダプター本体／USB ケーブルのプラグを持って抜く）
-  AC アダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USB ケーブルのプラグはコネクタの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは AC アダプター／USB ケーブルのプラグをコンセント／コネクタから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、AC アダプター／USB ケーブルのプラグをコンセント／コネクタから抜く
- 電源コードのプラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- 電源コード（特にプラグ部分）、AC アダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない
- AC アダプターは、AC プラグに容易に手が届くようにして、使用する機器の近くのコンセントに差し込んで使用してください。不具合が生じたときには、コンセントからすぐに取りはずせるようにしてください。
- AC アダプターは、湿気のないところで保管してください。
- AC アダプターの接続には、付属の電源コードをご使用ください。
- 付属の電源コードを、本機以外の電気製品には使用しないでください。故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊘ 本機で指定されている電池以外は使用しない
- ❗ 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく
- ❗ 充電電池を使う場合は、パナソニックグループ製の単3形 eneloop（エネループ）または、パナソニック株式会社製の単3形充電式 EVOLTA（エボルタ）を使用する。
- eneloop または充電式 EVOLTA を充電する場合は、必ず専用の充電器をご使用ください。
- eneloop または充電式 EVOLTA を使用する場合は、eneloop または充電式 EVOLTA や専用充電器の取扱説明書、注意書きをお読みいただき、条件を守ってご使用ください。

コネクター部への接続

- ⊘ コネクター部には、指定されたもの以外は接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

大切なデータは控えをとる

- ❗ 本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障や修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

⚠ 注意

重いものを置かない

- ⊘ 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

置き場所について

- ⊘ 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 - 湿気やほこりの多い場所
 - 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
 - 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

不安定な場所に置かない

- ⊘ ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

電池のセットおよび電池交換時の注意

- ⊘ 本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「電池をセットするとき」や「電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切る恐れがあります。

高温注意

- ⊘ プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどする恐れがあります。

⚠ 注意

表示画面について

- ❌ 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったたり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

オートテープカッターに注意する

- ❌ 電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。
オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

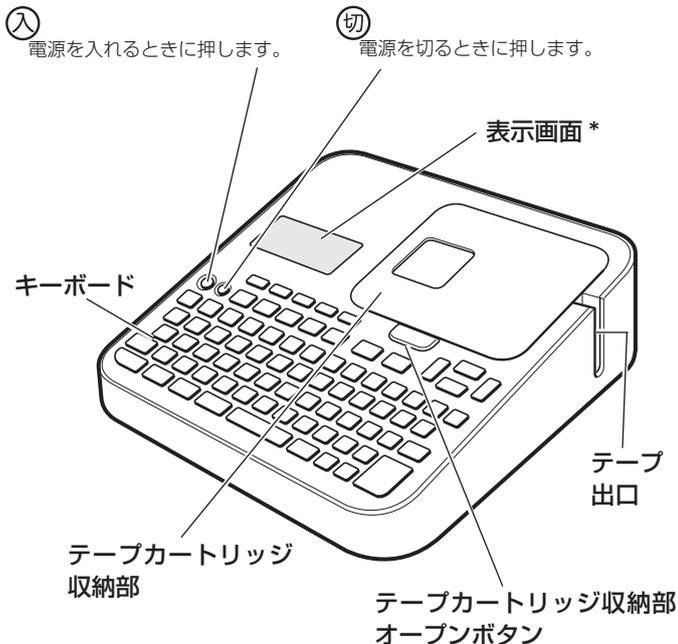
VCCI-B

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- ・直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。
使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- ・10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲（10℃～35℃）の環境に戻してからご使用ください。
- ・強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- ・プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- ・テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- ・プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法（104 ページ）をご覧ください。プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。

各部の名前とはたらき



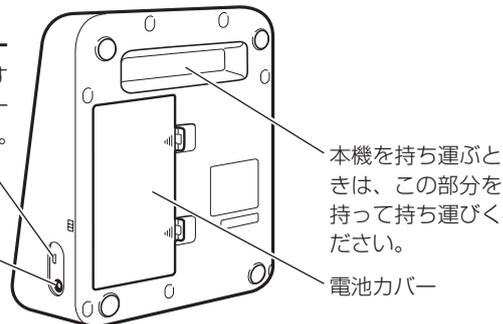
*バックライトをつけたり消したりできます (99 ページ)。

USB コネクター

パソコンと接続するときに、USBケーブルを接続します。

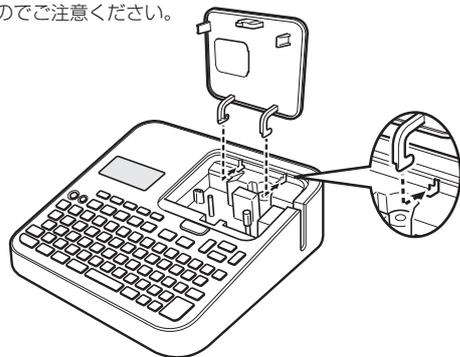
AC アダプター 接続用端子

指定の AC アダプターを接続します。



■テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったら

テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったときは、図のようにセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりすると、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。



本機の操作の流れ

AC アダプターの接続

9 ページ

または電池のセット

102 ページ

- 購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化、日時の設定をしてください。(11 ページ)
- メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。



テープカートリッジの取り付け

14 ページ



自由に入力して作る

フリーラベル 18、37 ページ
フリーラベルの編集機能
38 ページ



用途に応じて作る

用途別ラベル
バーコードラベル、デザイン
ロゴなど 26、55、63 ページ



印刷する

19 ページ

電源について

本機を使うときは、電源として指定の AC アダプターまたは市販のアルカリ乾電池、推奨の充電式ニッケル水素電池を使います。

- ご使用前に、「安全上のご注意」(3～7 ページ) を必ずご覧ください。
- 電池のセットについては、102 ページをご覧ください。
- アルカリ乾電池または推奨の充電式ニッケル水素電池を使う場合は、必ず電池の設定を確認してください(100 ページ)。

AC アダプターで使う

■取り付ける

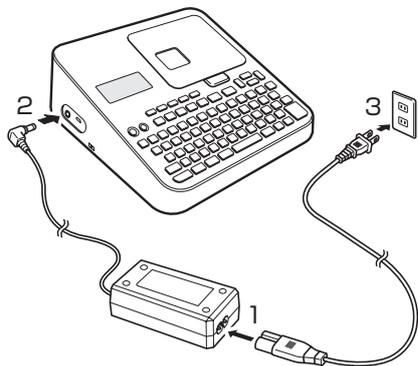


- 指定の AC アダプター以外は使用しないでください。
- パソコンと接続する場合は、ソフトをインストールした後、USB ケーブルと AC アダプターを接続してください。詳しくは、別紙「はじめにお読みください」の「ソフトとプリンタードライバーをインストールする」「パソコンと接続する」をご覧ください。

1 電源コードと AC アダプターを接続します。

2 AC アダプターのプラグを、本機の AC アダプター接続用端子に差し込みます。

3 ACアダプターをご家庭のコンセント< AC100V >に差し込みます。



■取り外す

- 重要**  • 印刷中に AC アダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、AC アダプターを取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
 - 「電池をセットした状態」で、AC アダプターを抜き差しするときは、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに抜き差しをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
 - USB ケーブルを接続している場合は、AC アダプターを取り外す前にパソコンと本機から USB ケーブルを抜き取ってください。
 - 本機に登録したデータ（文字や文章など）は、ノートやパソコンなどに控えを取っておいてください。

1 コンセントから AC アダプターのプラグを抜きます。

2 本機の AC アダプター接続用端子から AC アダプターのプラグを抜きます。

3 AC アダプターから電源コードを抜きます。



- 電源コードの両端部分は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。
- 付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ずメモリーの初期化という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、はじめて使うとき以外はメモリーの初期化をしないでください。

1 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、**切**を押します。

2 **印刷**と**空白**をいっしょに押しながら、**入**を押します。
「メモリー初期化？ 実行／取消し」が表示されるまで、そのまま押し続けます。

3 **実行**を押します。

4 **上****下**を押して、現在の日付や時刻の設定をします。
左**右**で設定したい項目を選択することができます。

- **下**を押すと数字が減り、**上**を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。



5 設定が終了したら**実行**を押します。

日付、時刻の設定は、後から変更することもできます。
日付、時刻の設定については、100ページの「日付、時刻を設定する」をご覧ください。

重要 メモリーの初期化をした後は、必ず電池の設定を確認してください（100ページ）。

メモリーとは
本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。
「メモリーの初期化」とは
本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。「メモリーの初期化」をすると、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。
ただし、本機にインストールされたデザインロゴのデータはメモリーの初期化をしても消えません。

電源を入れる・切る

一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは(入)を押すだけで本機を使うことができます。

電源を入れるには…

(入)を押します。



電源を切るには…

(切)を押します。



- 画面のコントラストを調整したり、バックライトの設定をするときは、99ページをご覧ください。

オートパワーオフ（節電）機能について

何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これをオートパワーオフ機能といいます。

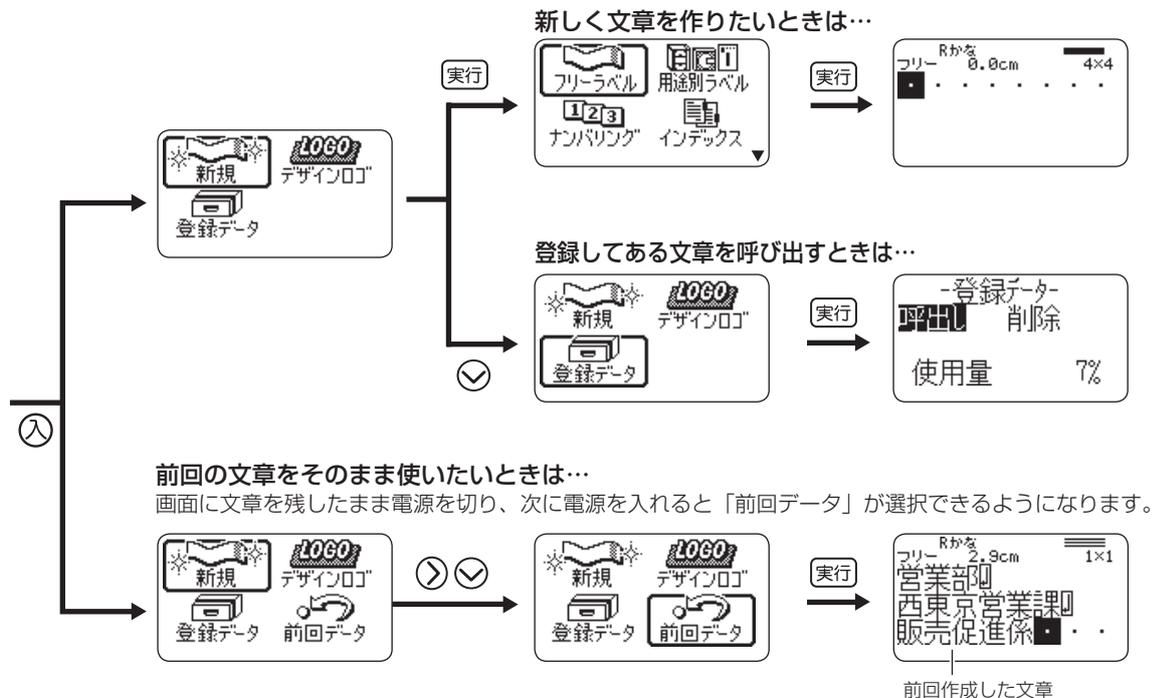
再び本機を使うときは、(入)を押してください。

- ACアダプターを使用して、パソコンと接続しているときには、オートパワーオフ機能ははたらきません。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の3つがあります。

- 新しく文章を作る
- 登録してある文章を呼び出して作る
- 電源を切る前に入力していた文章（前回の文章）を呼び出して作る



- 電源を入れた直後の画面で「前回データ」以外を選択したときや、デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作をしてください。（データの登録→61ページ）

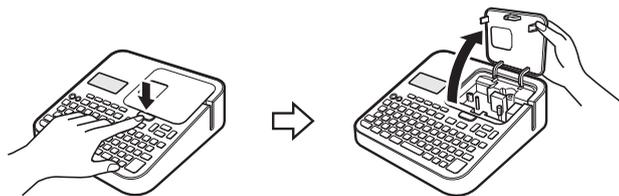
テープカートリッジを取り付ける / 取り外す

ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。

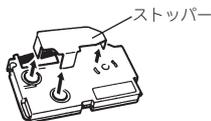
- 本機でご使用になれるテープ幅は、3.5mm・6mm・9mm・12mm・18mm・24mmです。
- テープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。

テープカートリッジを取り付ける

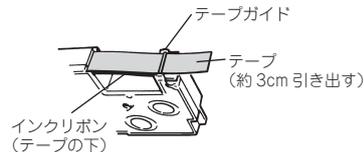
- 1 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、**切**を押します。
- 2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。



- 3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。



- 4 テープとインクリボンの状態を確認します。
 - テープの先が曲がっていない（曲がっていたらハサミで曲がった部分をカットする）
 - テープの先がテープガイドを通っている
 - インクリボンがたるんでいない

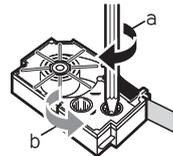


- 重要**
- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
 - 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。
 - インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみを取ります

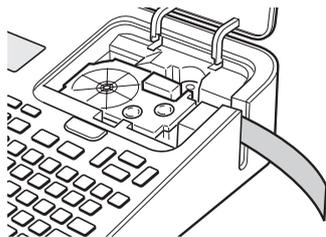
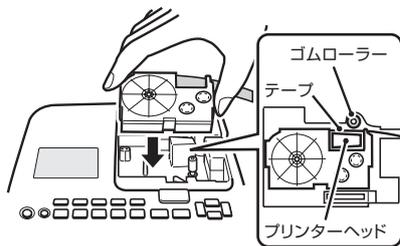
インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回り始めるまで右上の軸を回してください。

このとき、テープはいっしょに動きません。



- 5** テープカートリッジをセットします。
インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます（下図）。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

重要 ツ 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。



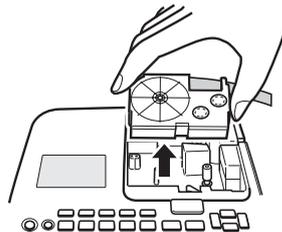
- 6** テープカートリッジ収納部のカバーを閉めます。



- カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

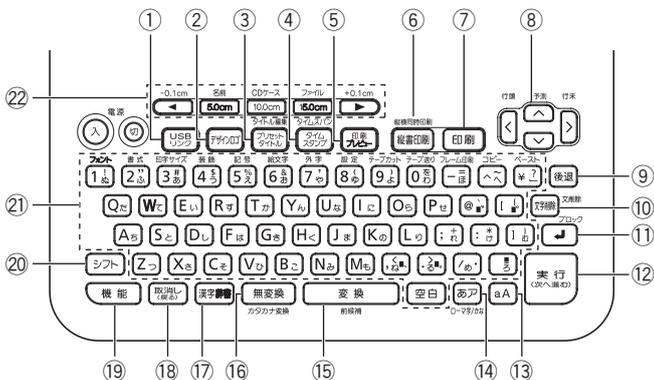
- 1** 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、**切**を押します。
- 2** 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。
- 3** テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。
 - 印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてからテープカートリッジを取り出してください。



- 重要** ツ 当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収 / 分解し、再資源化しております。使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

キーのはたらき

ここではキーの主な使い方について説明します。



- 電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴るブザー音を消したいときは、98 ページをご覧ください。

①		パソコンで作成したデータを本機で印刷するときに押す。
②		デザインロゴを印刷するとき、パソコンからデザインロゴデータをインストールするときに押す。 「ラベル印刷」をしているときに を押し、[デザインロゴ] モードに切り替わる。
③		<ul style="list-style-type: none"> よく使う登録した単語や文章を呼び出して使うときに押す。 よく使う単語や文章を登録、編集するときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。
④		<ul style="list-style-type: none"> 日付、時刻を入力中の文章に挿入するときに押す。 保存期間、有効期限などの将来の日付、時刻を入力中の文章に挿入するときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑤		印刷結果を画面で見るときに押す。
⑥		<p>縦書き印刷をするときに押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 縦横同時印刷をするときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。 フリーラベル以外では使用できません。
⑦		印刷するときに押す。
⑧		<ul style="list-style-type: none"> 文字が入る位置を示した (カーソル) や、文字編集などのときに範囲を指定する を動かすときに押す。 項目などを選択するときに押す。 予測変換の候補を選ぶときに押す。
⑨		カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑩		<p>カーソルの上の文字を消すときに押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力中の項目の文章をすべて消すときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑪		<ul style="list-style-type: none"> 改行するときに押す。 文章をブロックに分けるときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。(39 ページ)
⑫		操作を進めるときに押す。
⑬		アルファベットのの小文字と大文字を使い分けるときに押す。(69 ページ)

14	あア ローマ字かな	ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。 (69 ページ) ・ローマ字入力とかな入力を切り換えるときは、 機能 を押 し、指を離してからこのキーを押す。
15	変換 前候補	ひらがなを漢字などに変換するときを押す。 ・1つ前の変換に戻るとき(前候補)は、 機能 を押し、指 を離してからこのキーを押す。
16	無変換 カタカナ変換	漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときを押す。 ・入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、 機能 を 押し、指を離してからこのキーを押す。
17	漢字辞書	漢字辞書を使って漢字を入力するときを押す。(73 ページ)
18	取消し	操作を戻したり、中止したりするときを押す。
19	機能	キーの上下または横に 機能 と同じ色で書かれている機能 を使いたいときは、まずこのキーを押す。
20	シフト	・かな入力するとき、「っ」や「ょ」などの促音・拗音を入れ る場合に押す。(70 ページ) ・アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(ま たは小文字)を入れる場合に押す。(77 ページ)
21	(文字キー)	文字を入れるときに押す。
22	(テープ 長さダイ レクト設 定キー)	フリーラベルで長さを設定するときを押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。



重要 **機能**と**シフト**の操作には、以下の2つの方法があります。

1. **機能** (**シフト**) を押し、指を離してから目的のキーを押す。
2. **機能** (**シフト**) を押しながら目的のキーを押す。
・本書の操作説明は、「**機能** (**シフト**) を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

キーの表記について

- 本文中では、操作手順の中で使うキー(ボタン)を $\boxed{1_{あ}}$ や $\boxed{実行}$ などのように表記しています。

例 $\boxed{1_{あ}}$ を押したあとに続けて $\boxed{実行}$ を押すときの表記

↓
 $\boxed{1_{あ}}$ $\boxed{実行}$ と押します。

- 本機のキーの上下または横に**機能**と同じ色で書かれている機能(「設定」や「カタカナ変換」など)を使うには、**機能**を押し、指を離してから**機能**と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例 「設定」機能を使うときの表記

↓
 $\boxed{機能}$ を押し、指を離してから $\boxed{8_{あ}}$ を押します。

- 操作手順の中で、「 $\boxed{\triangle}$ $\boxed{\square}$ $\boxed{\circ}$ $\boxed{\times}$ 」を押して…」「 $\boxed{\triangle}$ $\boxed{\square}$ 」を押して…」「 $\boxed{\circ}$ $\boxed{\times}$ 」を押して…と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

- 1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは $\boxed{取消し}$ を押します。
- $\boxed{取消し}$ を何回押しても希望の画面に戻らないときは、 $\boxed{切}$ を押して一度電源を切ります。 $\boxed{\triangle}$ を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

まずは作ってみましょう

準備ができたなら、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

ラベルを印刷する

[印刷例]

営業レポート

1 **⊗**を押して、電源を入れます。

・右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されることがあります。(13 ページ)



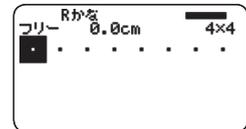
2 **⬆****⬇****⬅****➡**を押して「新規」にし、**実行**を押します。



3 **⬆****⬇****⬅****➡**を押して作りたいラベルの種類を選び、**実行**を押します。

ここでは「フリーラベル」を選びます。

・フリーラベルで入力できる文字数は、255文字です。

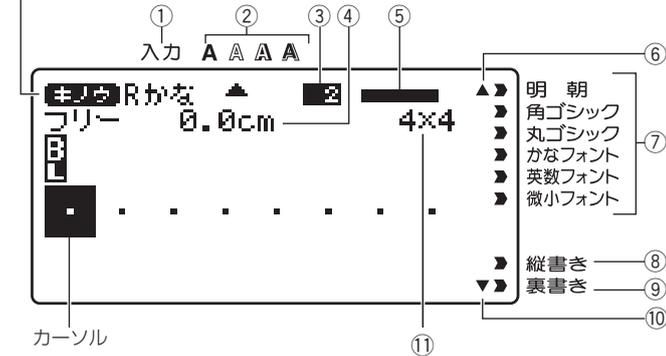


画面について

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

・画面のコントラストを調整したり、バックライトの設定をするときは、99 ページをご覧ください。

キノウ **機能**を押したとき表示 / **シフト** **シフト**を押したとき表示



①	入力できる文字の種類や入力方法を示す。(68、69、80 ページ)
②	文字体が何になっているか示す。(86 ページ)
③	カーソルがあるブロックは何個目かを示す。(39 ページ)
④	いま作っているラベルの長さを示す。(44 ページ)
⑤	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(38 ページ)
⑥	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑦	書体 (フォント) が何になっているかを示す。(82 ページ)
⑧	縦書きになっていることを示す。(40 ページ)
⑨	裏書きになっていることを示す。(41 ページ)
⑩	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑪	文字のサイズを示す。(49 ページ)

4 文字を入力します。

ここでは「営業レポート」と入力します。

- 文字の入力方法については、21 ページをご覧ください。
- ひらがなを漢字に変換したときは、最後に**実行**を押して確定してください。



■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

1 **印刷プレビュー**を押します。

どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます



2 じっくりと見たい部分が流れてきたら、**実行**を押します。

その部分が止まります



実行を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは**取消し**を押します。
- 細かい線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されないことがあります。

■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットする方法も選ぶことができます。

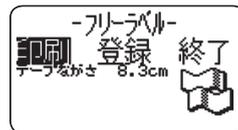
- ご使用前に、「安全上のご注意」の「オートテープカッターに注意する」(7 ページ)を必ずご覧ください。
- ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さとは一致しません。

重要 印刷する前に、以下の点にご注意ください。



- 印刷時の注意事項(22 ページ)を必ずご覧ください。
- 「テープカートリッジがセットされていること」、「テープ出口(8 ページ)が物でふさがっていないこと」を確認してください。

1 文字を入力したら、**実行**を押します。



2 **印刷**になっていることを確認して、**実行**を押します。



3 **◀▶**を押して、印刷する枚数を指定します。 ここでは「1枚」にします。

- **◀**を押すと数字が減り、**▶**を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。一度に、100枚まで指定できます。0枚を指定することはできません。

4 を押します。

5  を押して、カットモードを指定します。

- ・ラベル間の台紙を切らずに印刷するときは、「通常」を指定します。
- ・ラベルごとに切り離すときは、「切り離す」を指定します。
- ・自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープをセットしているときは、「特殊テープ」を指定します。
- ・反射テープ・マグネットテープ・アイロン布テープをセットしているときは、「カットしない」を指定します。

ここでは「通常」にします。
カットモードについて詳しくは、22 ページをご覧ください。

6 を押します。
印刷が始まります。

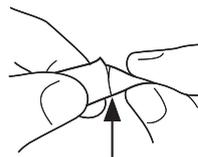
- ・印刷中は、バックライトが消灯します。
- ・印刷を途中でやめるときは、を押します。

ラベルを貼る

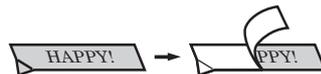
1 必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・形にします。

2 ラベルの裏をはがして、貼ります。

- ハーフカット部分からはがすとき
ハーフカット部分をゆっく
りとひねるようにして、テ
ープを台紙からはがします。



- フルカットされたラベルをはがすとき
ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。



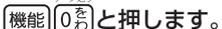
- ・一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

-  **重要**
- ・次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。
 - ・直射日光や雨が当たるもの
 - ・人や動物の体
 - ・他人の家の塀や電柱など
 - ・電子レンジで加熱に使う容器

- ラベルが貼りにくいものは
- ・表面がざらざらしているところ
 - ・表面に水や油、ホコリなどが付いているところ
 - ・特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP 材など）

テープを空送りする

印刷する前や印刷した後に、テープを白紙で送ることができます（テープ送り）。

1 と押しします。

↓
テープが約 21mm 送られます。

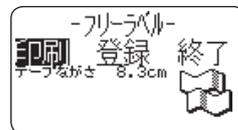
テープの余白を「送り無」にしたときは

テープの余白を「送り無」と設定したときは（43 ページ）、印刷が終わっても自動的にテープはカットされません。次の手順に従って、テープをカットしてください。

1 と押しして、テープをカットします。

 テープをカットするときは、本機を傾けないでください。
また、テープを引っばったり、カバーを開けたりしないでください。

終了する



1 上の画面が表示されているときに   を押しして **終了** にし、**実行** を 2 回押しします。

以下の画面に戻ります。



・「登録」については、61 ページをご覧ください。

文字の入力について

■「営業」を入力します。

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。（68 ページ）

- 1  を何回か押しして、画面左上に「R かな」を表示させます。
- 2      
- 3  を何回か押しして、「営業」が画面に表示されたら **実行** を押しします。

■「レポート」を入力します。

- 1  を何回か押しして、画面左上に「R カナ」を表示させます。
- 2       

- ・誤った文字を入力したときは、（79 ページ）や （79 ページ）を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
- ・文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」（68 ページ）をご覧ください。

印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。



- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。(8 ページ)
- 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」まで触らないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、**[取消]**を押して印刷を中止してください。
- テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
- 1度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

印刷とカットモード

カットモードについて (オートカッター)

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。また、テープによっては、本機のカッターでカットするとカッター部が摩耗し、故障の原因となることがありますので、注意してください。

- 下記のテープは特殊なテープです。必ず下表を確認し、「特殊テープ」または「カットしない」に設定して使用してください。

• 自己粘着テープ • 布転写テープ • インスタントレタリングテープ	特殊テープ
• マグネットテープ • 反射テープ • アイロン布テープ	カットしない

■カットのしかたについて

カットのしかたには2つあります。

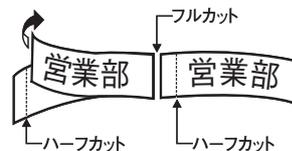
●ハーフカット

台紙はカットしないで、シール部分だけをカットします。はがすときは、ハーフカットした部分からはがしてください。

- 「テープ幅の細い3.5mmや6mmテープ」や「薄いメンディングテープ」は、ハーフカットできないことがあります。

●フルカット

台紙もシールもカットします。



■ 4つのカットモード

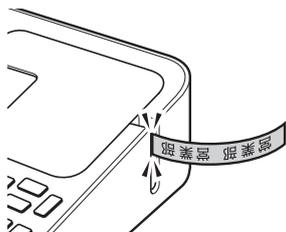
カットモードは4つあります。

- カットモードは、「印刷する」の手順5(20ページ)で設定します。
- 余白の設定によって、カットのしかたと余白部分の長さは異なります。詳しくは「カットのしかたと余白について」(25ページ)をご覧ください。
- 書式で「余白 送り無」に設定したときは、どのカットモードを選択しても、フルカットとハーフカットはされません。(21ページ)
- テープの長さが下記の場合は、テープカットされないことがあります。印刷終了後、ハサミなどで切ってください。

余白小	余白中	余白大
約 28mm 以下	約 35mm 以下	約 44mm 以下

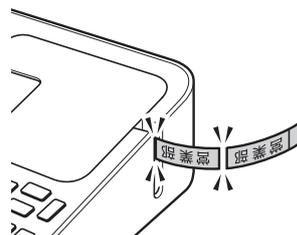
●通常

- ラベル間はハーフカットされます。台紙がつながっているので、ラベルがバラバラになることはありません。
- 先頭には余白が付き、はがしやすくハーフカットされます。
- すべての印刷が終了すると、フルカットされます。



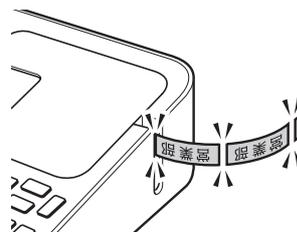
●切り離す

- ラベルごとにフルカットします。2枚以上印刷するときは、カットされたラベルがテープ出口をふさがないようにご注意ください。テープ出口をふさいでしまうと、テープ詰まりや故障の原因となります。
- 各ラベルの先頭には余白が付き、はがしやすくハーフカットされています。



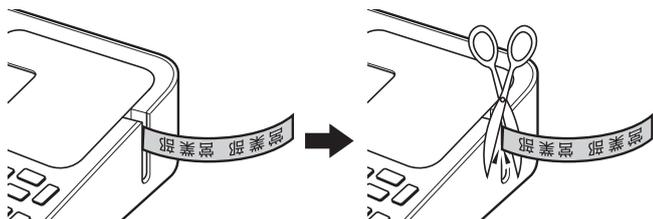
●特殊テープ

- 自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープに印刷するときに設定します。
- 各ラベルごとにフルカットされます。
- 「余白 小」「余白 中」を設定してあるときは、印刷中に、余分なテープが自動的にフルカットされます。



●カットしない

- ラベル間はカットしません。
- マグネットテープ・反射テープ・アイロン布テープに印刷するときは、必ず「カットしない」に設定してください。
- 印刷終了後、**機能**を押し、指を離してから^{テープ送り}**0**を押してテープ送りをしたあと、ハサミなどでラベルをカットしてください。



反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープについて
反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープは特殊な処理をしてあるテープです。

カットするときは、フルカット/ハーフカットはしないで、下記の手順に従ってハサミなどをお使いください(アイロン布テープは、必ず、布などを切る裁ちばさみをお使いください)。
なお、本機のフルカット/ハーフカットで反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープをカットすると、カッター部分の寿命が短くなり、ハーフカッター部分が破損することがあります。ご注意ください。

- 書式の全文書式で、余白を「送り無」にする(43 ページ)
またはカットモードで「カットしない」にする
- 印刷する
- ^{テープ送り}**機能** **0** と押して、テープ送りをする
- 反射テープ、マグネットテープまたはアイロン布テープを取り出し、ハサミなどを使ってカットする
・ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

カットのしかたと余白について

カットモードと余白の設定によって、カットのしかた（フルカット／ハーフカット）と余白の長さは異なります。

カットモード		通 常			切り離す			特殊テープ			カットしない		
カットの タイミ ング	余白	先頭の余分な 部分のカット	1枚終了ごとの ラベルのカット	印刷終了時の ラベルのカット	先頭の余分な 部分のカット	1枚終了ごとの ラベルのカット	印刷終了時の ラベルのカット	先頭の余分な部 分のカット	1枚終了ごとの ラベルのカット	印刷終了時の ラベルのカット	先頭の余分な 部分のカット	1枚終了ごとの ラベルのカット	印刷終了時の ラベルのカット
		余白小	カット	ハーフ カット	ハーフ カット	フル カット	ハーフ カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	無し
	余白	16mm	3mm	3mm	16mm ^{※1} 5mm ^{※2}	3mm	3mm	21mm	3mm	3mm	21mm	3mm	3mm
余白中	カット	ハーフ カット	ハーフ カット	フル カット	ハーフ カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	無し	無し	無し
	余白	9mm	10mm	10mm	9mm ^{※1} 5mm ^{※2}	10mm	10mm	21mm	10mm	10mm	21mm	10mm	10mm
余白大	カット	ハーフ カット	ハーフ カット	フル カット	ハーフ カット	フル カット	フル カット	無し	フル カット	フル カット	無し	無し	無し
	余白	5mm	19mm	19mm	5mm ^{※1} 5mm ^{※2}	19mm	19mm	－	19mm	19mm	－	19mm	19mm
送り無	カット	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し
	余白	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

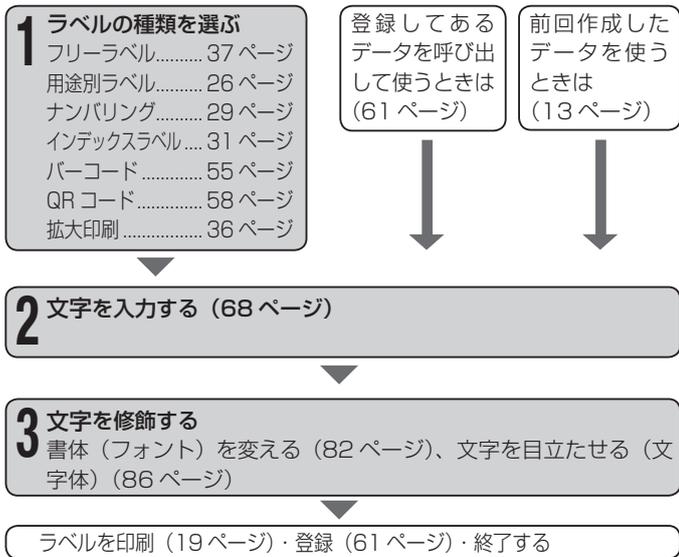
※1：1枚目の印刷のとき

※2：2枚目以降の印刷のとき

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルを印刷するときは、以下の手順で操作してください。



ラベル作成編

フォーマットを選んで作る (用途別ラベル)

用途に応じて作る

フォーマットを選んで作る (用途別ラベル)

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

• ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

用途別ラベル

オーディオラベル

涙と哀愁のヨーロッパ紀行 別れのケアル山脈編 再出発を心に響くバス編

建設工事実施連絡/完了報告

送付ラベル

社員番号7566

江戸 綾華

30%OFF商品!!!
3個セットで
¥1,980

名前ラベル

愛と青春のワイシャツ

値札ラベル

ビデオラベル

ファイルラベル

• 名前ラベル・ファイルラベル・送付ラベル・ビデオラベル・オーディオラベル・値札ラベルがあります。用途に応じて選択してください。

【印刷例】

ぶんるい タイトル コメント1 コメント2 コメント3



(18mm 幅テープ / ファイル / ファイル背 / 大3)

重要 117ページをご覧ください。フォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

フォーマットを選ぶ

1 **入**を押して、電源を入れます。

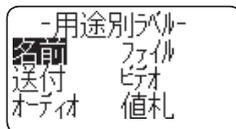
- ご使用の状況によっては、右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されます（13ページ）。



2 **上****下****左****右**を押して「新規」を選び、**実行**を押します。

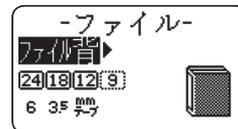


3 **上****下****左****右**を押して「用途別ラベル」を選び、**実行**を押します。



4 **上****下****左****右**を押して作成するラベルの種類を選び、**実行**を押します。

ここでは「ファイル」を選びます。
フォーマット選択画面が表示されます。



フォーマット選択画面について

ここでは、例として、「ファイル背」の画面を説明します。



対応するテープ幅を示します。

9 **18** …… 使用できるテープ幅は、実線または点線で囲われます。

18 …… 最も適したテープ幅は、実線で囲われます。

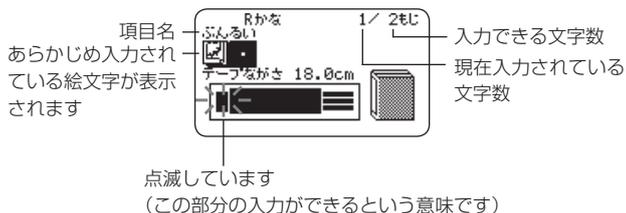
6 …… 使用できないテープ幅は、囲われません。

5 **左****右**を押して、「ファイル」ラベルの種類を選び、**実行**を押します。

ここでは「ファイル背」を選びます。

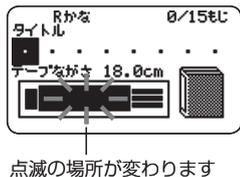


- 6     を押してフォーマットを選び、**実行**を押します。詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」(117ページ)をご覧ください。
ここでは「大3」を選びます。
文字入力画面が表示されます。



- 7 画面の絵文字を必要に応じて変更し、**実行**を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- 他の絵文字に変えるときは、79ページをご覧ください。



- 8 文字を入力し、**実行**を押します。

ここでは「タイトル」「コメント1」「コメント2」「コメント3」に入力します。

- 枠が付けられるフォーマットの場合は、**機能**を押し指を離してから  を押して「装飾」の「文字修飾」に入って、枠付「あり/なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。



- ラベルデータを印刷するときは→19ページ
- ラベルデータを登録するときは→61ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き/縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する/しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に **機能** を押し、指を離してから  を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

通し番号のついたラベルを作る (ナンバリング)

ページ番号や通し番号がついたラベルを作る (連番印刷) ことができます。

重要 3.5mm 幅のテープカートリッジは使用できません。



ナンバリングの種類

• フォーマット 1



ナンバー

• フォーマット 3



ナンバー コメント (99 文字まで)

• フォーマット 4



コメント 1 (99 文字まで) ナンバー コメント 2 (99 文字まで)

• フォーマット 5



ナンバー コメント (99 文字まで)

• フォーマット 2



コメント ナンバー
(99 文字まで)

• フォーマット 6



ナンバー コメント (99 文字まで)

• 印刷するたびに、「ナンバー」が一つずつ繰り上がっていきます。

[印刷例]

備品No.15(総務管理)

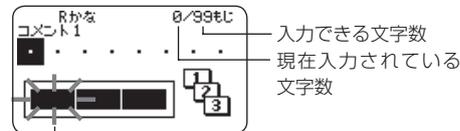
備品No.16(総務管理)

備品No.17(総務管理)

「備品 No.15 (総務管理)」～「備品 No.17 (総務管理)」のラベルを印刷します。

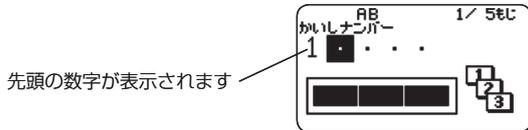
重要 ナンバリング印刷では、指定枚数分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、「**取消し**」を押して印刷を中止してください。

- 1 **入**を押して、電源を入れます。
- 2 **上****下****左****右**を押して「新規」を選び、「**実行**」を押します。
- 3 **上****下****左****右**を押して「ナンバリング」を選び、「**実行**」を押します。
- 4 **上****下****左****右**を押してフォーマットを選び、「**実行**」を押します。ここでは「4」を選びます。



点滅しています
(この部分の入力ができるという意味です)

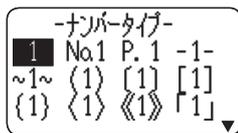
- 5 「コメント1」の文字を入力し、**実行**を押します。
ここでは「備品」と入力します。



- 6 ナンバリングの先頭になる数字に変更し、**実行**を押します。
ここでは、「No.15」～「No.17」のラベルを作るので、「15」を入力します。

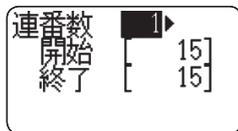
- 先頭になる数字を変更するときは、数字を削除して入力し直してください。5桁まで入力できます。

- 7 「コメント2」の文字を入力し、**実行**を押します。
ここでは「(総務管理)」と入力します。



- 8 **実行**を押してナンバリングの形を選び、**実行**を押します。
ここでは「No.1」を選びます。

- 9 **印刷**を選び、**実行**を押します。



- 10 **実行**を押して連番として印刷する枚数を設定し、連番の開始と終了の番号を確認してから**実行**を押します。

ここでは、15、16、17番を印刷するので、「3」を設定します。

- 1～100までを入力できます。
- 直接数字を入力することもできます。

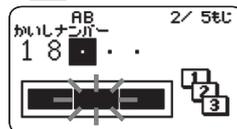


- 11 **実行**を押してカットモードを設定し、**実行**を押します。

- カットモードについて詳しくは、22ページをご覧ください。

印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。

- ナンバー「99999」の次は、「00000」が印刷されます。



表示される番号は、作成するラベルによって異なります。

- 「長さオーバー 印刷できません」と表示されたときは110ページをご覧ください。
- 「長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか?」と表示されたときは110ページをご覧ください。
- 「指定したテープ長より長くなりますがよろしいですか?」と表示されたときは108ページをご覧ください。

重要 テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。

- ラベルデータを登録するときは→61ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- ラベルの長さを設定する (3.0～30.0cmの範囲)
 - 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
 - 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
- 上記の設定をするには、文字入力中に**機能**を押し、指を離してから**書式**を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

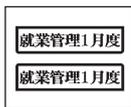
インデックスラベルを作る

ファイルを整理するのに便利なインデックスラベルを作ることができます。本機にあらかじめ内蔵されている定型句を使って作成することもできます。

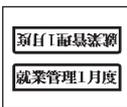
インデックスラベルの種類

インデックスラベルは、ファイリングの仕方に合わせて、方向別に以下の4種類を作ることができます。

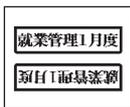
・横1



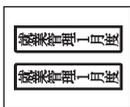
・横2



・横3

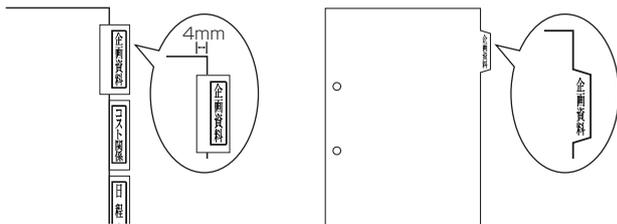


・縦



●書類に貼り付けた例
(印刷方向：縦)

●仕切りカードの見出し山に貼り付けた例
(印刷方向：縦)



- インデックスラベルが作成できるのは、24mm幅テープのみです。必ず24mm幅のテープカートリッジをセットしてください。
- 書類に直接貼る場合には、ご使用中に抜け落ちないように書類に対して4mm程度の貼り付けをおすすめします。
- 仕切りカードの見出し山に貼る場合には、24mm幅透明テープで、枠を付けずに印刷することをおすすめします。
- インデックスラベルの表面と裏面は、同じ内容が印刷されます。



インデックスラベルの印刷では、指定項目分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、**取消し**を押して印刷を中止してください。

自由に入力して作る（ユーザー作成）

文字を自由に入力して作成します。一度に最大で6項目まで作成・印刷することができます。

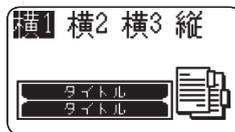
[印刷例] 3項目 (印刷方向：縦)



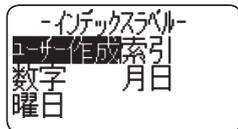
1 **入**を押して、電源を入れます。

2 **上****下****左****右**を押して「新規」を選び、**実行**を押します。

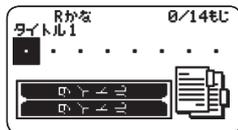
3 **上****下****左****右**を押して「インデックス」を選び、**実行**を押します。



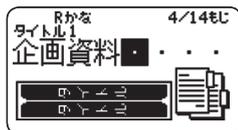
- 4 ◀ ▶ を押して印刷方向を選び、**実行**を押します。
ここでは、「縦」を選びます。
作成方法の選択画面が表示されます。



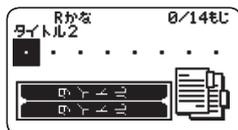
- 5 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して「ユーザー作成」を選び、**実行**を押します。
最初の項目の入力画面が表示されます。



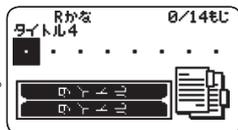
- 6 文字を入力します。
ここでは「企画資料」と入力します。



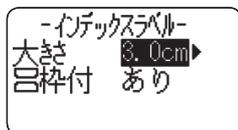
- 7 **実行**を押します。
次の項目の入力画面が表示されます。



- 8 手順6～7を繰り返して3項目まで入力し、**実行**を押します。
4番目の項目の入力画面が表示されます。



- 9 **実行**を3回押します。
印刷の大きさ (3.0cm/4.5cm) と、枠の「あり/なし」の設定画面が表示されます。

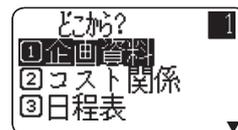


- 10 ◀ ▶ を押して、印刷の大きさを選びます。
・ファイルの仕切りカードの見出し山に貼るときなど、枠を付けないで印刷したい場合には、▼を押して、◀ ▶ で「枠付なし」を選びます。
ここでは、このままの設定とします。

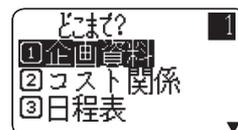
- 11 **実行**を押します。



- 12 ◀ ▶ を押して**印刷**を選び、**実行**を押します。
印刷範囲の選択画面が表示されます。



- 13 ▲ ▼ を押して印刷する最初の項目を選び、**実行**を押します。
ここでは、「企画資料」を選びます。
・数字キーで番号を入力して選択することもできます。



- 14 ▲ ▼ を押して印刷する最後の項目を選びます。
ここでは、「日程表」を選びます。



- 15 **実行**を押します。

- 16 ⏪ ⏩ を押してカットモードを設定し、**実行** を押します。
 ・カットモードについて詳しくは 22 ページをご覧ください。
 印刷が開始されます。

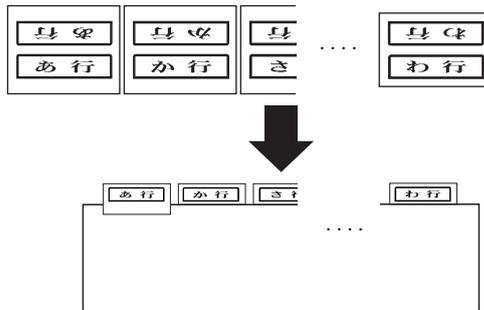
重要 テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。

・ラベルデータを登録するときは → 61 ページ

定型句を使って作る

本機にあらかじめ内蔵されている定型句を使って作成します。定型句は、「索引」「数字」「月日」「曜日」の4つの分類から選ぶことができます。定型句の詳細や最大印刷枚数などについては、35 ページをご覧ください。

[印刷例] 「あ行」～「わ行」(10項目/印刷方向:横2)



- 1 31 ページの手順 1～3 と同様な操作で「インデックス」を選び、**実行** を押します。

横1 横2 横3 縦



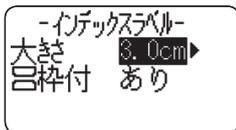
- 2 ⏪ ⏩ を押して印刷方向を選び、**実行** を押します。
 ここでは、「横2」を選びます。
 作成方法の選択画面が表示されます。

-インデックスラベル-
 ユーザー作成索引
 数字 月日
 曜日

- 3     を押して定型句の分類を選び、**実行**を押します。
ここでは、「索引」を選びます。
印刷パターンを選択画面が表示されます。



- 4   を押して印刷パターンを選び、**実行**を押します。
ここでは、「あ行 … わ行」を選びます。
印刷の大きさ (3.0cm/4.5cm) と、
枠の「あり/なし」の設定画面が表示
されます。



- 5   を押して、印刷の大きさを選びます。
・ファイルの仕切りカードの見出し山に貼るときなど、枠を付
けないで印刷したい場合には、 を押して、  で「枠付
なし」を選びます。
ここでは、このままの設定とします。

- 6 **実行**を押します。



- 7 これ以降の操作は、32 ページの手順 12～16 と同様です。

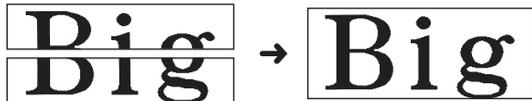
- ・定型句は、初期フォントで設定されている書体で印刷されます。
初期フォントの設定については、84 ページの「電源を入れた
ときの書体を決める」をご覧ください。

インデックスラベル「定型句」一覧

分類	表示	最大印刷枚数	1枚目	2枚目	3枚目	4枚目	5枚目	6枚目	7枚目	8枚目	9枚目	10枚目	11枚目	12枚目	...	26枚目	...	31枚目	...	46枚目	...	99枚目	
索引	あ行…わ行	10枚	あ行	か行	さ行	た行	な行	は行	ま行	や行	ら行	わ行	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ア行…ワ行	10枚	ア行	カ行	サ行	タ行	ナ行	ハ行	マ行	ヤ行	ラ行	ワ行	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	あ…ん	46枚	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	...	は	...	ま	...	ん	-	-	
	ア…ン	46枚	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	...	ハ	...	マ	...	ン	-	-	
	A…Z	26枚	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	...	Z	-	-	-	-	-	-	-
	a…z	26枚	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	...	z	-	-	-	-	-	-	-
数字	1…99	99枚	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	...	26	...	31	...	46	...	99	
	No.1…No.99	99枚	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	...	No.26	...	No.31	...	No.46	...	No.99	
	1…90…	10枚	1…	10…	20…	30…	40…	50…	60…	70…	80…	90…	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	No.1…No.90…	10枚	No.1…	No.10…	No.20…	No.30…	No.40…	No.50…	No.60…	No.70…	No.80…	No.90…	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
月日	1月…12月	12枚	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Jan…Dec.	12枚	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	June	July	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1月度…12月度	12枚	1月度	2月度	3月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1日…31日	31枚	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	...	26日	...	31日	-	-	-	-	
曜日	日曜日…土曜日	7枚	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Sun…Sat.	7枚	Sun.	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

大きなラベルを作る (拡大印刷)

本機では、24mm 幅のテープまで使用できますが、それよりも大きなラベルも作ることができます。文字を何枚かのテープに分けて印刷し、それを並べて貼って、1 枚のラベルにします。



文字を 2 枚のテープ
に分けて印刷

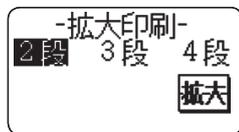
2 枚を並べて貼ると、
1 枚のラベルが完成

重要 12mm 幅以上のテープカートリッジをセットしてください。



【印刷例】 Big (12mm 幅テープ / 2 段)

- 1 **入**を押して、電源を入れます。
- 2 **上****下****左****右**を押して「新規」を選び、**実行**を押します。
- 3 **上****下****左****右**を押して「拡大印刷」を選び、**実行**を押します。
- 4 文字を入力し、**実行**を押します。



- 5 **左****右**を押して拡大する文字の大きさを設定し、**実行**を押します。

2 段とは、「2 枚のテープに分けて印刷する」という意味です。

ここでは「2 段」を選びます。

テープ幅	文字の大きさ		
	2 段	3 段	4 段
12mm	24mm	36mm	48mm
18mm	30mm	45mm	60mm
24mm	30mm	45mm	60mm

- 6 **左****右**で**印刷**を選び、**実行**を押します。

・拡大印刷では、印刷プレビュー (19 ページ) は見ることができません。



- 7 **左****右**を押して何段目を印刷するかを設定し、**決定**を押します。
ここでは「全部」を選びます。

- 8 **左****右**を押してカットモードを設定し、**実行**を押します。
印刷が始まります。

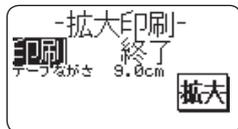
・カットモードについて (22 ページ)

・文字数の多い大きなラベルを印刷する場合、1 本のテープですべての段を印刷できない場合があります。テープの残量を確認しながら 1 段ずつ印刷することをおすすめします。印刷の途中でテープが終了した場合は、**取消**を押して印刷を終了し、テープを交換した後、再度、印刷操作をしてください。

・黒い部分の多い文字を印刷したり、連続して印刷すると、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するため“印刷準備中”の表示になって、印刷を一時停止することがあります。プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を再開しますので、そのまましばらくお待ちください。

- ・“印刷準備中”の表示になり、頻繁に印刷が停止する場合は印刷濃度を低く設定してください。

2段目の印刷が終わったら、この画面になります。



テープを2段並べて貼ります

- ・18mm幅テープ、24mm幅テープに印刷すると、テープの上下に余白ができます。余白部分をカットしてから並べて貼ってください。18mm幅テープ、24mm幅テープに印刷するときは、余白部分を重ねて貼ることができる「透明テープ」をお使いになることをおすすめします。

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- ・印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- ・「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に **機能** を押し、指を離してから **2** を押し、書式設定画面を表示させ、設定をします。

フリーラベル

自由に入力して作る（フリーラベル）

ここでは自由に入力してラベルを作る（フリーラベル）方法について説明します。

操作を簡単に説明しますと、以下のようになります。

- 1 **入** を押して、電源を入れます。
- 2 **上** **下** **左** **右** を押して「新規」にし、**実行** を押します。
- 3 **上** **下** **左** **右** を押して「フリーラベル」を選び、**実行** を押します。
- 4 自由に文字を入力します。
 - ・フリーラベルの作り方について詳しくは18ページをご覧ください。

2行以上のラベルを作る

2行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要! 3.5mm 幅テープでは、2行以上のラベルは作れません。



テープの幅	最大行数
3.5mm	1行
6mm	2行
9mm	3行

テープの幅	最大行数
12mm	5行
18mm	8行
24mm	8行

- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。
(ジャストフィット印刷)
- 文字の大きさを自由に決めた場合(49ページ)も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

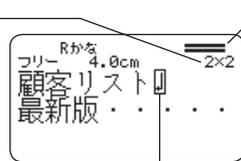
【印刷例】 顧客リスト
最新版

1 1行目を入力します。
ここでは「顧客リスト」と入力します。

2 を押します。

3 2行目を入力します。
ここでは「最新版」と入力します。

文字の大きさが行数に合わせて自動的に変わります。



作っているラベルのレイアウト(イメージャー表示)線の数は行数を表わし、線の太さは文字の大きさをイメージで表します。

改行マークが入ります(画面だけの印なので印刷されません)

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、 を押します。
- 改行を取り消すときは、**文字削除** を押してマークを削除します。
後退 を押しても マークを削除することはできません。
- イメージャー表示は、微小フォントでの印刷のときは「5/8」というような表示になります。これは、「行数は8行で、カーソルが合っているのは5行目」という意味です。
微小フォントでの印刷について→85ページ。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー印刷できません」と表示され、印刷することはできません。
そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→18ページ
- ラベルデータを登録するときは→61ページ

こんなラベルを作るには？

ジャストフィット印刷 (49ページ)

顧客リスト
最新版



顧客リスト
最新版
営業部

ブロックマークを入れます
(39ページ)

顧客リスト最新版
営業部



顧客リスト最新版
営業部

文字の大きさを行ごとに決めます
(51ページ)

文章をブロックに分ける

下の印刷例の「営業計画書」「国内営業部 営業第三課」は、それぞれ独立した文字のかたまりです。この文字のかたまりを**ブロック**といいます。ブロックごとに書式や行数を設定することができますので、いろいろなラベルを自由に作ることができます。

[印刷例]



[印刷例] 「営業計画書」「国内営業部 営業第三課」を別々のブロックに分ける

1 最初のブロックの文字を入力します。
ここでは「営業計画書」と入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **↵** を押します。
「営業計画書」が1つのブロックになります。



ブロックマーク
(画面だけの印なので印刷されません)

3 次のブロックの文字を入力します。
ここでは「国内営業部」と入力します。

カーソルの位置が何ブロック目にあるかを表します



- ブロックマークを消すときは、「**Ⓜ**」の位置にカーソルを合わせ、**文字削除** を押します。
- **後退** を押しても **Ⓜ** マークを削除することはできません。
- ブロックに分けることができるのは、16 個までです。

4 続けて文字を入力します。
ここでは **↵** 「営業第三課」と入力します。

- 2 行のラベルについては 38 ページをご覧ください。
- 縦書きの設定については 40 ページをご覧ください。

文章を完成させたあとでブロックに分けるには
文字を入力したあとで、ブロックに分けることもできます。分
けたい位置にカーソルを移動させ、**機能** を押し、指を離して
から **↵** を押します。

ラベルの書式を決める

ラベルの長さ・文字間隔・文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール（書式）で作るのかを決めます。

ブロックごとの書式を決めることもラベル全体の書式を決めることもできます。

ブロックごとに書式を決める

ブロック（39ページ）ごとに、印刷方向や文字のバランスなどを設定します。

■設定できる内容

ブロック書式では、次のような設定ができます。

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">方向</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">縦</div> </div>
文字割付	ブロック中での文字のバランスを決めます。→47ページ参照
文字間隔	文字と文字のピッチ（間隔）を決めます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">文字間隔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">文字間隔</div> </div>
ブロック長	ブロックの長さを決めます。→44ページ参照

■設定する

- 1 文章を入力し、ブロックに分けます。
- 2 書式を決めるブロックにカーソルを合わせます。
そのブロック内であれば、カーソルの位置はどこでも構いません。

3 **機能** を押し、指を離してから **書式** を押しします。
ブロックが1つだけの場合には手順6に進んでください。このときは、ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

4 **◀▶** を押しして **ブロック書式** を選び、**実行** を押しします。

5 **◀▶** を押しして **このブロックのみ** を選び、**実行** を押しします。

- すべてのブロックを共通の書式にするときは **◀▶** を押しして **全ブロック** にします。

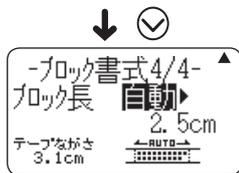
6 各項目を設定します。

- **▲▼** を押しして設定項目を選びます。
- **◀▶** を押しして希望の項目を表示させます。

設定項目	内容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選ぶ
文字割付	ブロックの中での文字のバランス（左寄せ / 均等 / 中寄せ / 右寄せ）を設定する→47ページ参照
文字間隔	文字と文字の間隔（0.0～31.9mm）を指定する （ ◀▶ を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる） • 「文字割付」を「均等」、「ブロック長」を「固定」とした場合は、文字間隔の指定はできません。



設定項目	内容
ブロック長	<ul style="list-style-type: none"> 自動：文字数に合わせて自動的にブロックの長さを調整する ブロックの長さを任意に設定するときは(←)(→)を押して「固定」を選ぶ →44 ページ参照



7 各項目を設定したら、**[実行]**を押します。

こんなラベルを作るには…
[印刷例]

cinema 12月24日

(18mm 幅テープ)

cinema **[L]**

[L]マークを入れる

12月24日

記号の「12」（グループ=数字） 記号の「24」（グループ=数字）
記号の入力について詳しくは、78 ページをご覧ください。

- 「12月24日」のブロックにカーソルを合わせる。
- [機能]**を押し、指を離してから**[2]**を押して、「ブロック書式」→「このブロックのみ」→「縦書き」とする。
↓
印刷する

文章全体の書式を決める

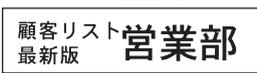
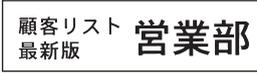
文章全体の書式を決めます。

ブロックで区切られた文章であっても、ブロックには関係なく文章全体が対象になります。

■設定できる内容

文章全体の書式では、次のような設定ができます。

裏書き	<h2>裏書き</h2> <ul style="list-style-type: none"> 布転写テープカートリッジ（別売）を使用してハンカチやTシャツなどにアイロンプリントするときに設定します。 アイロン布テープ（別売）を使用してアイロンプリントするときには、裏書きの設定は必要ありません。 テープ色が透明なテープカートリッジ（別売）を使用してガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。
斜め	<p>文字を斜めに印刷するときに選びます。</p> <p>しない する</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">斜め</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">斜め</div> </div>
プロポーショナル	<p>プロポーショナルとはアルファベット・数字に適した文字間隔のことです。アルファベット・数字が入った文章のときは「する」にすると、より美しく仕上がります。</p> <p>する しない</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">CASIO</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">CASIO</div> </div>

スムージング	<p>印字の不自然なギザギザを美しく滑らかにするかしないかを選びます。</p> <p>する  しない </p>
ブロック間隔	<p>ブロックとブロックの間隔を選びます。</p> <p>密着 </p> <p>普通 </p> <p>広い </p>
余白	<p>ラベルの前後に付くスペースの長さを選びます。 →43 ページ参照</p>
テープ長	<p>ラベル全体の長さを自由に決めます。 →45 ページ参照</p>
ブロック割付	<p>ラベル全体におけるブロックのバランスを決めます。 →48 ページ参照</p>

■設定する

1 文字を入力します。

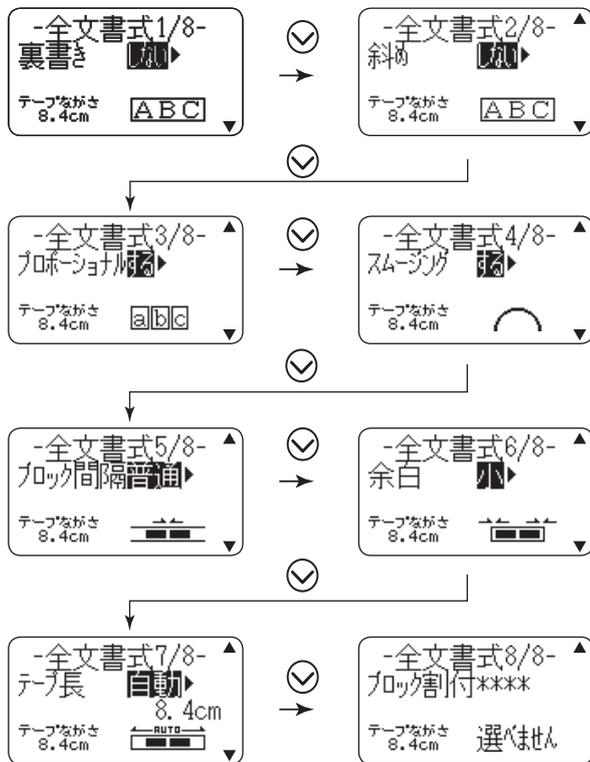
- 2  を押し、指を離してから  を押します。
ブロックが1つだけの場合には手順4に進んでください。ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

3 を押して **全文書式** を選び、**実行** を押します。

4 各項目を設定します。

-   を押して設定項目を選びます。
-   を押して希望の項目を表示させます。

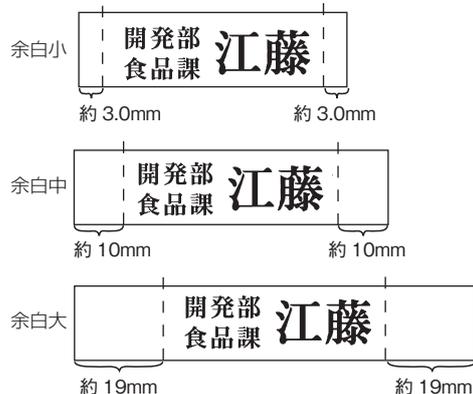
設定項目	内容
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ
斜め	文字を斜めに印刷するときは「する」を、斜めに印刷しないときは「しない」を選ぶ
プロポーショナル	<p>する：アルファベット・数字に適した文字ピッチに調整する</p> <p>しない：アルファベット・数字の文字ピッチが、かな・漢字まじりの文章に適した文字ピッチになる</p>
スムージング	文字のラインを滑らかにするか、しないかを選ぶ
ブロック間隔	ブロックとブロックの間隔を選ぶ
余白	ラベルの前後に付くスペースの長さを選ぶ→43 ページ
テープ長	<ul style="list-style-type: none"> ・自動：文字数に合わせて自動的にラベルの長さを調節する ・ラベル全体の長さを任意に設定するときは、  を押して「固定」を選ぶ→45 ページ
ブロック割付	<p>ラベル全体に対するブロックの位置を選ぶ→48 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テープ長さを「固定」にしたときのみ有効 (左寄せ / 均等 / 中寄せ / 右寄せ)



5 各項目を設定したら、**実行**を押します。

余白について

ラベルの前後に付くスペースを**余白**といいます。
次の3種類の余白を選べます。



重要! テープの長さが短い (余白小のとき: 約 28mm、余白中のとき: 約 35mm、余白大のとき: 44mm) 場合には、余白カットをしないことがあります。印刷が終わった後で、ハサミなどで余白をカットしてください。



- ・「送り無」と設定し、連続して印刷すると、ラベルとラベルを密着させて印刷することができます。
- ・「送り無」と設定したときは、テープは自動的にカットされません。テープをカットするときは、**機能** を押し、指を離してから **9** を押してください。先頭のラベル余白は、ハサミなどでカットしてください。

ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

ラベルの長さを決める方法には、次の3つがあります。

- ブロックごとの長さを決めて、ラベルの長さを設定する（ブロック長固定）。
 - ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）。
 - CD / DVD のケース・ファイル用のラベルなど、よく作るラベルの長さを設定する（テープ長さダイレクト設定キー）。
- ・ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さと完全には一致しません。

ブロックの長さを設定する（ブロック長固定）

ブロック（39ページ）の長さを決めることにより、ラベル全体の長さを決めることができます。

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

- ・ブロックの分け方（39ページ）

2 長さを決めるブロックにカーソルを移動します。

そのブロック内であればカーソルの位置はどこでも構いません。

3 **機能** を押し、指を離してから **2** を押します。

ブロックが1つだけの場合には、手順6に進んでください。

4 **◀▶** を押し、**ブロック書式** を選び、**実行** を押します。

5 **◀▶** を押し、**このブロックのみ** を選び、**実行** を押します。

- ・すべてのブロックを共通の書式にするときは **◀▶** を押し、**全ブロック** にします。

6 **▲▼** を押し、「ブロック長」を画面に表示させます。



7 **◀▶** を押し、「ブロック長 固定」にします。

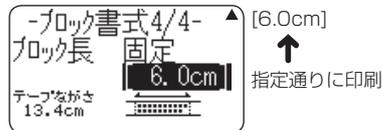
8 **▼** を押します。



数値が反転します

9 数値キー、または **◀** (減)・**▶** (増) を押し、ブロックの長さを設定します。

- ・直接数字を入力することもできます。
- ・ブロックの長さとして入力されている文字により、次のようになります。



営業部



(4.0cm)

↑
文字を横方向に縮めて指定通りに印刷

営業部



2.0cm

↑
指定した長さより長く印刷

営業部

10 **実行**を押します。

イメージャー表示について

「ブロック長**固定**」を選ぶと、画面右上のイメージャー表示は次のようになります。

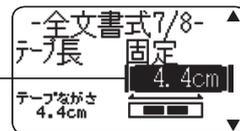
指定通りの長さで印刷できる	指定通りの長さで印刷されるが、文字は横方向に縮まる	指定の長さより長く印刷される*

* 文字が印刷方向に50%縮小されて印刷されます。また、印刷されたテープは指定より長くなります。

ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）

- 1 文字を入力します。
- 2 **機能**を押し、指を離してから^{表示}**2.3**を押します。
ブロックが1つだけの場合には、手順4に進んでください。
- 3 **◀▶**を押して**全文書式**を選び、**実行**を押します。
- 4 **⬆️⬇️**を押して、「テープ長」を画面に表示させます。
- 5 **◀▶**を押して、「テープ長 **固定**」にし**⬇️**を押します。

数値が反転します



- 6 数値キーまたは**◀**（減）・**▶**（増）を押して、ラベルの長さを設定し、**実行**を押します。
 - 直接数字を入力することもできます。
 - 入力されている文字に合わない長さになると、「長さエラー」となり、次のような表示になります。

[10.5cm]
↑
指定通りに印刷

10.4cm
↑
指定したテープ長より長くなって印刷

CDケース・ファイル用のラベルなどを簡単に設定する(テープ長さダイレクト設定キー)

テープ長さダイレクト設定キーを使えば、CDやDVDのケース、ファイル用のラベルなど、よく作成するラベルの長さを簡単に設定できます。また、同じ長さを簡単に設定できるので、長さのそろった複数のラベルも簡単に作成できます。

長さを設定
しないとき

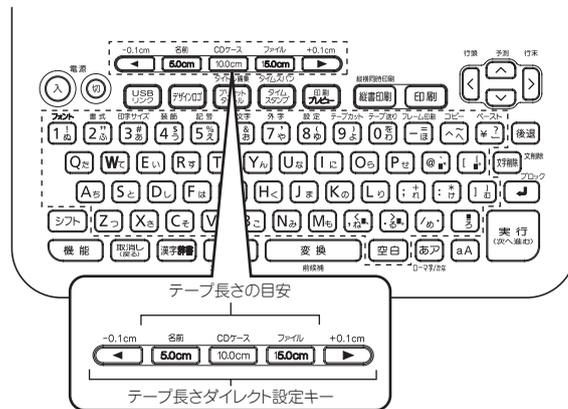


- ブロックを使っているときは、ラベルの長さの設定は、書式の「テープ長」「ブロック長」でしてください。テープ長さダイレクト設定キーで設定すると、設定した値よりも長くなる場合があります。
- テープ長さダイレクト設定キーで設定した長さは、テープ長固定と連動します。また、テープ長さダイレクト設定キーで設定すると、「ブロック長：固定」「文字割付：均等」「ブロック割付：均等」に設定されます（ブロック長が固定されるのは、ブロックが1つのときだけです）。
- フリーラベル以外では、テープ長さダイレクト設定キーは無効となります。

設定できる長さ

テープ長さダイレクト設定キー	適したもの
15.0cm	ペーパーファイル・バインダーなど
10.0cm	CD・DVD ケースなど
5.0cm	名前シールなど

- 1mm 単位で長さを調整することもできます。



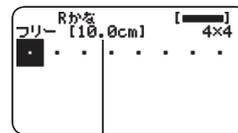
設定する

【例】CD・DVD ケース用のラベルの長さを設定する

1 (10.0cm) を押します。

+0.1cm ▶ を押すと長くなり、-0.1cm ◀ を押すと短くなります。

- 文字入力時はラベルの長さを設定する前でも設定したあとでも構いません。



長さが 10.0cm に変わります。

文章のバランスを整える（割付）

文字や文章のバランスを整えることができます。

ブロック内で文字のバランスを整える

ブロック内での文字のバランスを選ぶことができます。

【例】 「下期」のバランスを整えます。

ブロック長を固定します

左寄せ	
中寄せ	
右寄せ	
均等	

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

・ブロックの分け方（39 ページ）

2 割付の対象になるブロックにカーソルを合わせ、**機能** を押し、指を離してから **書式** を押します。

ここでは「下期」にカーソルを合わせます。
ブロックが 1 つだけの場合には、手順 5 に進んでください。

3 **左** を押して **ブロック書式** を選び、**実行** を押します。

4 **このブロックのみ** を押して **このブロックのみ** を選び、**実行** を押します。

5 **上** を押して「文字割付」の設定画面にします。

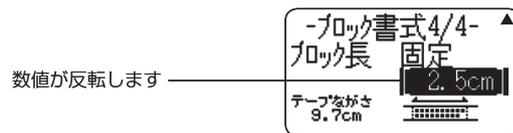


6 **左** を押して、割付の種類を表示させます。

左 を押すたびに、**均等** **中寄せ** **右寄せ** **左寄せ** と割付の種類が変わります。

7 **上** を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。

8 **左** を押して「ブロック長 **固定**」にし、**決定** を押します。



9 数値キー、または **減** ・ **増** を押して、元のブロック長より長い数値にし、**実行** を押します。

2 行以上の文章のときは、「ブロック長 自動」を選んで、割り付けすることができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等

ラベル内のブロックのバランスを整える

ラベル全体に対しての、ブロックのバランスを選びます。

左寄せ

開発部
食品課 江藤まこと

均等

開発部
食品課 江藤まこと

中寄せ

開発部
食品課 江藤まこと

右寄せ

開発部
食品課 江藤まこと

重要  ブロックの割付は、「テーブル長 固定」と設定されているときのみ有効です。

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

- ・ブロックの分け方 (39 ページ)

2  を押し、指を離してから  を押します。
ブロックが 1 つだけの場合には、手順 **4** に進みます。

3  を押して **全文書式** を選び、 を押します。

4  を押して、「テーブル長」を画面に表示させます。

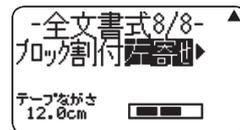
5  を押して、「テーブル長 **固定**」にし、 を押します。



数値が反転します

6 数値キー、または  (減)・ (増) を押して、希望の数字 (ラベルの長さ) にします。
元の長さより長い数値にします。

7  を押して、「ブロック割付」の設定画面にします。



8  を押して、希望の割付の種類を表示させ、 を押します。
 を押すたびに、**均等** **中寄せ** **右寄せ** **左寄せ** と割付の種類が変わります。

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです（ジャストフィット印刷）。

ここではジャストフィット印刷ではなく、文字の大きさを選択して決める方法を説明します。

●文字の大きさは、次の2つの方法で決めることができます。

- 文字単位で大きさを決める
- 行単位で大きさを決める

文字単位で大きさを決める

文字単位で「1×1」～「5×8」倍まで文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値（縦方向）は異なります（テープ幅と行数・倍率一覧 120ページ）。

1×1

禁煙

2×3

禁煙

4×4

禁煙

5×6

禁煙

- 縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。例えば、1×2と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます（上の印刷例はすべて横書きで作成しています）。

1×2（横書き）

1×2（縦書き）

終日禁煙

終日禁煙

【例】 「終日禁煙」の「終日」を1×3にする

1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **3** 印字サイズ **あ** を押します。



3 **◀▶** を押して **印字倍率** を選び、**実行** を押します。

4 **◀▶** を押して **文字単位** を選び、**実行** を押します。

5 縦の倍率の数値が反転表示されていることを確認します。



6 **⬆** **⬇** を押して、「縦」の倍率を設定します。ここでは縦倍率を「1」にします。

- 直接数字を入力することもできます。
- 不適当な倍率を入力しようとすると、「ピッ」とブザーがなり、入力できません。

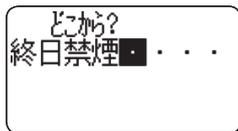
7 を押して、「横」の倍率数値を反転させます。

- 数字を入力したときは、自動的に「横」の倍率数値が反転します。



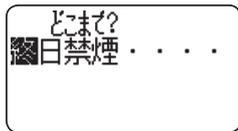
8 を押して「横」の倍率を設定し、 を押します。

ここでは横倍率を「3」にします。



9 を押して大きさを定める最初の文字にカーソルを合わせ、 を押します。

ここでは「終」を指定します。



10 を押して大きさを定める最後の文字を選び、 を押します。

ここでは「終日」にします。

文字倍率：カーソルが合っている文字の大きさを表します。

倍率マーク：印刷される文字の大きさを表します。

ジャストフィットマーク：

自動的に付きます。このマークより後ろの文字はジャストフィット印刷に従った大きさで印刷されます。

文字倍率



倍率マーク

ジャストフィットマーク

- 倍率マークやジャストフィットマークは画面には表示されませんが、印刷されません。
- 文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを で削除します。
- 倍率マークを削除した場合、文字サイズはテーブル幅や入力文字の行数に合わせて自動設定されます。ただし、削除した倍率マークよりも左側に倍率の指定があるときは、その倍率になります。
- ブロックを超えて、倍率の範囲指定をすることはできません。

文字の大きさ 1 × 3 ジャストフィット印刷



行単位で大きさを決める（フォーマット選択）

行単位で文字サイズを設定するときは、下のフォーマットから選びます。

- 文章の行数とセットされているテープカートリッジの幅によっては、異なるフォーマットを選んでも印刷結果が同じになることがあります。

行数	フォーマット	24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅
1行	A 	1 × 1 倍	1 × 1 倍	1 × 1 倍
	B 	2 × 2 倍	2 × 2 倍	2 × 2 倍*
	C 	3 × 3 倍	3 × 3 倍*	—
	D 	4 × 4 倍	—	—
	E 	5 × 5 倍*	—	—
2行	A 	1 × 1 倍 1 × 1 倍	—	—
	B 	1 × 1 倍 2 × 2 倍	—	—
	C 	2 × 2 倍 1 × 1 倍	—	—
	D 	2 × 2 倍* 2 × 2 倍*	—	—
	E 	1 × 1 倍 3 × 3 倍*	—	—
	F 	3 × 3 倍* 1 × 1 倍	—	—

行数	フォーマット	24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅
3行	A 	1 × 1 倍 1 × 1 倍 1 × 1 倍	—	—
	B 	1 × 1 倍 1 × 1 倍 2 × 2 倍*	—	—
	C 	1 × 1 倍 2 × 2 倍* 1 × 1 倍	—	—
	D 	2 × 2 倍* 1 × 1 倍 1 × 1 倍	—	—

※フレーム印刷時は、小さくなります。



- 6mm 幅、3.5mm 幅のテープは行単位で大きさを決めることはできません。
- 4 行以上の場合、行単位で大きさを決められません。
- 文字単位で印字サイズを設定した後では、行単位で設定できません。

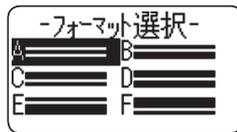
【例】 営業2課
西東京地区 1行目：1×1倍 (2行・フォーマットE)
2行目：3×3倍 (18mm幅テープ)

1 文字を入力します。

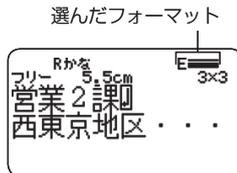
2 **機能** を押し、指を離してから **3#あ** を押しします。

3 **◀ ▶** を押して **印字倍率** を選び、**実行** を押しします。

4 **◀ ▶** を押して **行単位** を選び、**実行** を押しします。



5 **⬆ ⬇ ⬅ ➡** を押してフォーマットを選び、**実行** を押しします。



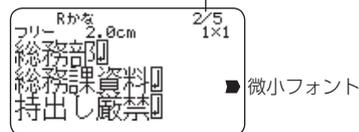
次の場合、行単位の文字サイズの設定は解除されます。

- ・ 行数を変更したとき
- ・ 文字単位で文字の大きさを指定したとき (49 ページ)

微小フォントについて

- 行数 (入力した行数または選んだフォーマットの行数) と、テープ幅によって、「微小フォント」となります。
- このとき、画面右の「**■** 微小フォント」が点灯します。
- フリーラベルでは、分数でイメージャー表示されます。

イメージャー表示



- ・ イメージャー表示については、「2 行以上のラベルを作る」の手順 **3** (38 ページ) をご覧ください。
- 微小フォントでは、次のような特徴があります。
 - ・ フォントの設定は、無効です (すべて同じフォントで印刷されます)。
 - ・ プロポーショナルの設定は、無効です (「しない」になります)。
 - ・ 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
 - ・ 絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

フレームを付ける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームを付けることができます。フレームの一覧は 116 ページをご覧ください。

重要 3.5mm 幅テープにフレームを付けることはできません。



[印刷例]



1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **フレーム印刷** を押します。

3 **←** **✓** **↶** **↷** を押して使うフレームを選び、**実行** を押します。
ここでは **斜め** を選びます。

4 **↶** **↷** で **印刷** を選び、**実行** を押します。

重要 ・印刷するときは、22 ページの注意事項をご覧ください。
・フレーム印刷では、テープの長さ設定 (44 ページ) をしても、設定した長さより長くなる場合があります。

5 数字キー (または **↶** **↷**) を押して印刷枚数を設定し **✓** を押します。
1 ~ 100 枚まで設定できます。

6 **↶** **↷** を押してカットモードを設定し **実行** を押します。
印刷が開始されます。

- ・カットモードについて (22 ページ)
- ・書式で「斜め **する**」と設定してあっても、フレーム付き印刷では標準で印刷されます。
- ・「文字修飾」の「枠付」の指定は無効になります。

フレーム印刷できる行数

テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

	24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅	6mm 幅
フレーム印刷できる行数	6 行以内	3 行以内	2 行以内	1 行

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面（19 ページ「印刷する」の手順 1 の画面）表示中に **縦書印刷** を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書印刷

資料ファイル

縦横同時印刷

資料ファイル

縦書き（1 枚目）、横書き（2 枚目）がセットで印刷されます。

- フリーラベル以外では、**縦書印刷** や **機能** **縦書印刷** は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、書式設定画面（40 ページ）で「縦書き」を設定してください。

1 文字を入力します。

2 **縦書印刷** を押します。
縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、**機能** を押し、指を離してから **縦横同時印刷** **縦書印刷** を押します。

重要 印刷するときは、22 ページの注意事項をご覧ください。

3 数字キー（または **◀ ▶**）を押して印刷枚数を設定し、**✓** を押します。

1 ~ 100 枚まで設定できます。

- ブロック書式（40 ページ）で、縦書きと横書きを混在した文章を作成した場合は **縦書印刷** で印刷すると、すべて縦書きになります。また、**縦横同時印刷** **縦書印刷** で印刷すると、すべて縦書きと横書きになります。

4 **◀ ▶** を押してカットモードを設定し、**実行** を押します。印刷が開始されます。

- カットモードについて（22 ページ）

■ 「平成 26 年 9 月」、「'14 年 9 月」などのラベルの作り方

[印刷例]

平成26年の9月

- 「26」や「'14」などは、記号一覧（113 ページ）の記号を使用すると、上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、78 ページをご覧ください。
- 現在の日付や時刻を入力するタイムスタンプ機能や、有効期限などの将来の日付や時刻を入力するタイムスパン機能を使用した場合には、そのまま縦書きで印刷するだけで上の例のようなラベルを簡単に作ることができます。
- タイムスタンプ（92 ページ）
- タイムスパン（92 ページ）

バーコードラベルを作る

バーコードラベルを作ることができます。

バーコードのタイプ

(1) EAN系

- JAN-13 (日本) /EAN-13 (ヨーロッパ)
- JAN-8 (日本) /EAN-8 (ヨーロッパ)
- UPC-A (アメリカ)
- UPC-E (アメリカ)

(2) ITF

(3) CODE39

(4) CODABAR(NW-7)



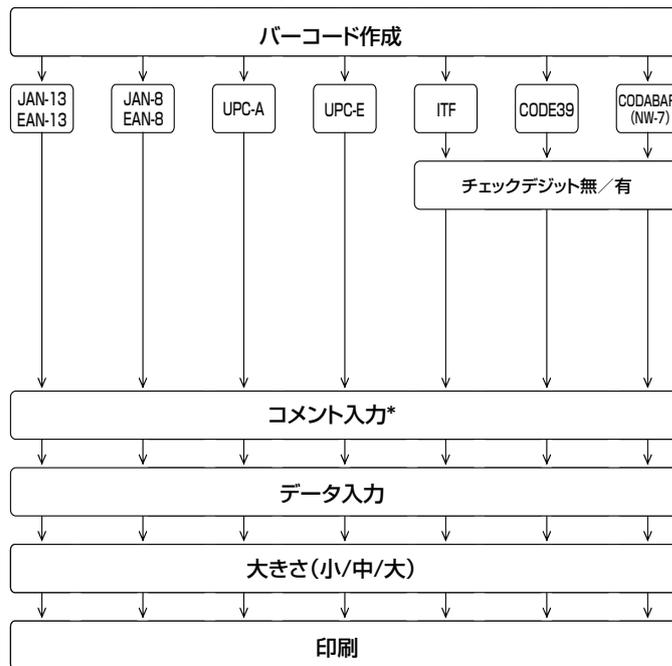
- 12mm 幅以上のテープカートリッジを使用してください。
 - バーコードの上部にコメントを付けることができます (60文字まで)。
 - 印刷したバーコードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。
 - 印刷濃度を薄くする (99 ページ)
 - 大きく印刷する (56 ページの操作 7 で設定)
 - カットモードを「特殊テープ」または「カットしない」にする (22 ページ)
 - バーコードラベルに適したテープは、次のとおりです。
 - 白テープに黒文字 (WE)
 - 白テープに青文字 (WEB)
 - 黄色テープに黒文字 (YW)
- ・ () 内はテープの型番です。

[印刷例]



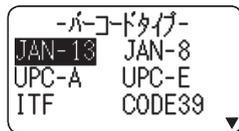
(18mm 幅のテープカートリッジを使用)

■バーコードラベル作成の流れ



* コメントを入力しないときは、そのまま **実行** を押して次に進んでください。

- 1 **入**を押して、電源を入れます。
- 2 **入****出****左****右**を押して「新規」を選び、**実行**を押します。
- 3 **入****出****左****右**を押して「バーコード」を選び、**実行**を押します。

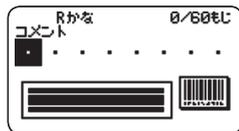


- 4 **入****出****左****右**を押してバーコードのタイプを選び、**実行**を押します。

ここでは「JAN-13」を選びます。

- バーコードタイプをITF、CODE39、CODABARとしたときは、この後にチェックデジットの有無を選び、

実行を押します。



- 5 コメント（0～60文字）を入力し、**実行**を押します。

ここでは「XR-18WE」と入力します。

- コメントを入力しない場合は、そのまま**実行**を押します。

- 6 データ（12桁の数字）を入力し、**実行**を押します。

ここでは「497185012319」と入力します。

- データ入力画面ではキーボードからのみの入力になります。



- 7 **左****右**を押してバーコードラベルの大きさを選び、**実行**を押します。

ここでは「中」を選びます。

- 大きくするほどテープの長さは長くなります。

- 8 **左****右**を押して**印刷**を選び、**実行**を押します。



- 9 数字キー（または**左****右**）を押して印刷枚数を設定し、**入**を押します。

1～100枚まで設定できます。

- 10 **左****右**を押してカットモードを設定し、**実行**を押します。

印刷が開始されます。

- カットモードについて（22ページ）
- ラベルデータを登録するときは（61ページ）
- 「長さオーバー 印刷できません」と表示されたときは（110ページ）

バーコードの仕様

バーコード	チェック デジット ※ 1	印刷される 桁数 ※ 3	入力する 桁数 ※ 4	自動的に付く桁数		入力文字種 ※ 8
					チェック デジット※ 1	
JAN-13 EAN-13	有	13桁	12桁	—	1桁	数字0～9
JAN-8 EAN-8	有	8桁	7桁	—	1桁	数字0～9
UPC-A	有	12桁	11桁	—	1桁	数字0～9
UPC-E	(有)※ 2	6桁	6桁	—	—	数字0～9
ITF	無	4～22桁	4～22桁 偶数のみ ※ 5	—	—	数字0～9
	有	4～22桁	3～21桁 奇数のみ ※ 6	—	1桁	
CODE39	無	4～22桁	2～20桁	2桁※ 7	—	数字0～9 アルファベット A～Z
	有	4～22桁	1～19桁	2桁※ 7	1桁	記号 「-」「.」「空白」 「\$」「/」「+」「%」
CODABAR (NW-7)	無	4～22桁	4～22桁	—	—	数字0～9 記号 「-」「\$」「.」
	有	4～22桁	3～21桁	—	1桁	「/」「.」「+」 アルファベット (先頭、末尾のみ) ※ 9 A～D

※ 1 「チェックデジット」とは読み取り確認コードのことで、入力データより自動的に計算されます。JAN/EAN-13・JAN/EAN-8・UPC-A・ITFの“有”においては、印刷される桁数の末尾に付きます。また、CODE39の“有”・CODABARの“有”においては、印刷される桁数の末尾の1桁前に付きます。

※ 2 UPC-Eのチェックデジットの表示はされますが、バーコード下に数字として印刷されることはありません。

※ 3 バーコード下に印刷される桁数は「入力する文字数+自動的に付く文字数」となります。

※ 4 この桁数に満たないときは、エラーメッセージが表示され、印刷ができません。また、この桁数以上の桁数を入力することもできません。

※ 5～6 ITFは印刷される桁数が偶数でなければならないので、以下のようになります。

※ 5 ITFのチェックデジット“無”で、入力する桁数が奇数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直してください。

※ 6 ITFのチェックデジット“有”で、入力する桁数が偶数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直してください。

※ 7 CODE39では、スタートコード（先頭）“*”・ストップコード（末尾）“*”が固定されます。

※ 8 この文字種以外の文字が含まれて入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

※ 9 CODABARでは、スタートコード（先頭）・ストップコード（末尾）は、“A・B・C・D”のいずれかを使用します。また、先頭もしくは末尾に“A・B・C・D”以外の文字が入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

QR コードラベルを作る

QR コードラベルを作ることができます。

QR コードとは、2次元コードの1種です。携帯電話に名前、電話番号、URL などを読み取らせるなどの使い方があります。本機では株式会社 NTT ドコモの携帯電話（QR コードに対応した機種）で読み取りや登録ができる形式でラベルに印刷されます。QR コードの読み取りや登録については、お使いの携帯電話の取扱説明書などをご覧ください。

印刷できる QR コードのタイプ

- 1 電話帳（NTT ドコモ電話帳登録）
- 2 ブックマーク（NTT ドコモブックマーク登録）
- 3 フリーテキスト

-  **重要ポイント**
- 18mm、24mm 幅のテープカートリッジを使用してください。
 - 本機で印刷する QR コードはモデル 2 に対応しています。モデル 1 には対応していません。
 - 本機で印刷する QR コードは誤り訂正レベルが M（15%）となります。
 - 本機で印刷する QR コードのバージョンは 5 のみで、その他のバージョンには対応していません。
 - 印刷した QR コードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。
印刷濃度を薄くする（99 ページ）
 - QR コードラベルに適したテープは、次のとおりです。
 - 白テープに黒文字（WE）
 - 白テープに青文字（WEB）（ ）内はテープの型番です。
 - QR コードを大量に連続印刷すると、正確に読み取れない場合があります。

- ラベルを縦書きにしても、QR コードは回転しません。
- 電話帳のフリガナ項目でカタカナの濁音文字、半濁音文字は、QR コード印刷時に清音と濁点、半濁点の 2 文字に変換されます。変換後の 4 文字までが QR コードに印刷されます。

例：「バ」 → 「ハ」 「゜」

「バ」 → 「ハ」 「゜」

- 電話帳のフリガナ項目で「ワ、ヰ、ヱ、カ、ケ」は、QR コード印刷時に以下のように変換されます。

「ワ」 → 「ワ」

「ヰ」 → 「イ」

「ヱ」 → 「エ」

「カ」 → 「カ」

「ケ」 → 「ケ」

- 入力する文字列に「¥」「:」「;」「,」がある場合、携帯電話で読み取るときの制御文字の関係で、それぞれ以下のように 2 文字に変換されて QR コードで印刷されます。

● 電話帳の「フリガナ」の項目

「¥」 → 「¥¥」

「:」 → 「¥:」

「;」 → 「¥;」

「,」 → 「¥,」

● 電話帳の「E-mail」の項目

「¥」 → 「¥¥」

「:」 → 「¥:」

「;」 → 「¥;」

● ブックマークの「URL」の項目

「¥」 → 「¥¥」

「:」 → 「¥:」

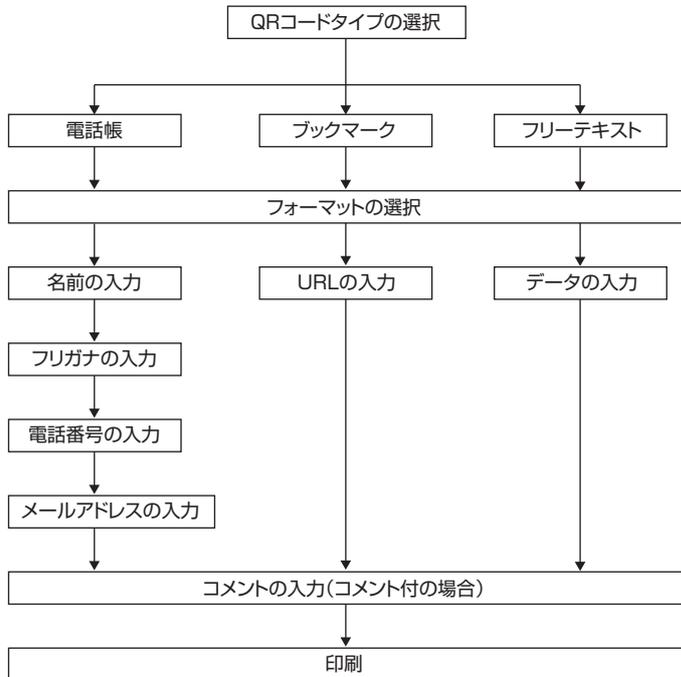
「;」 → 「¥;」

上記の制御文字の関係で「QR コード印刷の詳細仕様」（59 ページ）の入力可能文字数を下回る数の文字を入力しても、すべての文字が QR コードで印刷されないことがあります。QR コードで印刷された文字だけを携帯電話で読み取ることができます。

■ QRコード印刷の詳細仕様

タイプ	フォーマット	文字印刷	入力項目	文字数
電話帳	1.QRのみ	なし	名前	6
			フリガナ	4
			TEL	12
			E-mail	30
	2.データ付	4行	名前	6
			フリガナ	4
			TEL	12
			E-mail	30
	3.コメント付	1行	名前	6
			フリガナ	4
			TEL	12
			E-mail	30
ブックマーク	1.QRのみ	なし	URL	74
	2.データ付	1行	URL	74
	3.コメント付	1行	URL コメント	74 32
フリーテキスト	1.QRのみ	なし	データ	52
	2.データ付	1行	データ	52
	3.コメント付	1行	データ	52
			コメント	32

■ QRコードラベル作成の流れ



- QRコードラベル作成時（コメント入力時を除く）はQRコード専用記号（114ページ）を入力することができます。ただし、記号一覧（113ページ）の記号や、絵文字一覧の絵文字（114ページ）、外字（94ページ）を入力することはできません。コメント入力時は通常どおり記号、絵文字、外字の入力ができます。QRコードのデータ構成の関係で入力可能な文字を上記のように区別しております。
- QRコード専用記号は、以下の操作で入力します。
 1. 78ページ「記号（その他の記号）の入力」の手順1の操作をします。
 2. で入力したい記号を選び、**実行**を押します。

[例]



上記の印刷例に沿って操作を説明します。

- 1 を押して、電源を入れます。
- 2 を押して「新規」を選び、**実行**を押します。
- 3 を押して「QRコード」を選び、**実行**を押します。

- 4 を押してQRコードのタイプを選び、**実行**を押します。

ここでは「電話帳」を選びます。

- 5 を押してフォーマットを選び、**実行**を押します。

ここでは「3」を選びます。

フォーマットは以下の3種類から選びます。

- 1：QRコードのみ印刷
- 2：QRコードと入力したデータを印刷
- 3：QRコードとコメントを印刷

- 6 名前を入力し、**実行**を押します。

ここでは「田中大介」を入力します。

- 7 自動的に入力されたフリガナが正しいかどうか確認し、必要に応じて修正してください。正しくフリガナが入力できたら、**実行**を押します。

ここでは「タナカダ」と表示されます。

- 8 電話番号を入力し、**実行**を押します。

ここでは「0009998888」と入力します。

- 9 メールアドレスを入力し、**実行**を押します。

ここでは「d-tnk@casio.co.jp」と入力します。

- 10 コメントを入力し、**実行**を押します。

ここでは「よろしく」と入力します。

11 ◀▶を押して**印刷**を選び、**実行**を押します。

12 数字キー（または◀▶）を押して印刷枚数を設定し、✔を押します。
1～100枚まで設定できます。

13 ◀▶を押してカットモードを設定し、**実行**を押します。
印刷が開始されます。

- カットモードについて（22ページ）
- ラベルデータを登録する（61ページ）
- 「長さオーバー 印刷できません」と表示されたときは（110ページ）

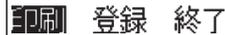
作成したデータを登録する・呼び出す

作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。
登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

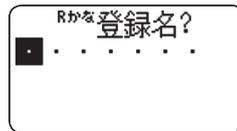
データを登録する

データに名前を付けて登録します。

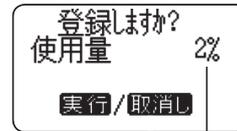
文字の入力が完了すると右の画面が表示されます。



1 ◀▶を押して**登録**を選び、**実行**を押します。



2 登録名を入力し、**実行**を押します。
登録名は7文字まで入力できます。
• 登録名はデータを呼び出すときに使います。



すでに登録されているデータがどのくらいあるかを示します

3 **実行**を押します。
「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

登録したデータ呼び出す

登録したデータは、作成方法画面（18ページの1の画面）から呼び出します。

- 1     を押して「登録データ」を選び、**実行**を押します。



- 2   を押して **呼出し** を選び、**実行**を押します。



- 3   を押して呼び出したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。

データが呼び出されます。

必要に応じて、修正・印刷してください。

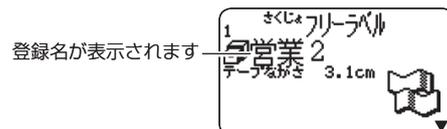
登録したデータを削除する

登録したデータは、作成方法画面（18ページの1の画面）から削除することができます。

- 1     を押して「登録データ」を選び、**実行**を押します。



- 2   を押して **削除** を選び、**実行**を押します。



- 3   を押して削除したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。

「よろしいですか?」と表示されます。

- 4 **実行**を押します。

- 他に登録文章があるときは、その登録名が表示されます。引き続き、削除することができます。
- データ削除の操作をやめるときは**取消し**を押します。

デザインロゴ編

ロゴ入りのラベルを印刷する (デザインロゴ)

オフィスなどの職場、工事や建設などの現場、病院などでよく使う表現を選ぶだけで、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。

デザインロゴは、インターネットのダウンロードサイトからパソコン経由で本機に転送することもできます。ダウンロードサイトには、使用する場面に合わせたデザインロゴが用意されています。

[印刷例]

・通常印刷



・拡大印刷



デザインロゴの転送から印刷までの手順は以下のようになります。

1 ダウンロードサイトからデザインロゴをパソコンにダウンロード

2 デザインロゴをパソコンから本機に転送

3 本機で印刷

・本機にはあらかじめ「職場で使える分別ラベル」「現場で使える注意ラベル」「現場で使える注意ラベル2」「病院で使える案内ラベル」の4種類のデザインロゴが内蔵されています。内蔵されているデータを使って、本機だけで印刷することができます。

操作については、「デザインロゴを印刷する」(66ページ)をご覧ください。

・本機内蔵のデザインロゴについては、デザインロゴ内蔵データ一覧(121ページ)をご覧ください。

・デザインロゴを印刷できるのは、12mm、18mm、24mm 幅のテープです。

パソコンにデザインロゴをダウンロードする

インターネットに接続して、デザインロゴをダウンロードする操作を説明します。



- ・お使いのパソコンがインターネットに接続できる環境であることを確認してください。
- ・インターネットの接続料金、および電話料金は、お客様のご負担となります。

■パソコン側の操作

1 別紙の「はじめにお読みください」をご覧くださいになり、デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」とKL-G2用の「プリンタードライバー」をインストールしてください。

- ・事前にインストール済みのときは、上記の操作は必要ありません。

- 2 Windowsの「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「CASIO」→「DESIGNLOGO CHANGER」→「DESIGNLOGO CHANGER」とクリックして起動します。
- ・インストール時の設定によっては上記の操作と異なることがあります。

- 3  データダウンロード をクリックします。
- ブラウザが起動し、ダウンロードサイトにアクセスします。お使いのパソコンのブラウザの画面上にダウンロードサイト (<http://casio.jp/d-stationery/nameland/designlogo/>) が表示されます。

- 重要**   (オンラインカタログ) をクリックすると、デザインロゴのブラウザが起動し、デザインロゴのデザイン一覧が確認できるカタログサイトが表示されます。こちらからデザインロゴをダウンロードすることもできます。

- 4 ダウンロードしたいデザインロゴを選び、[ダウンロード] をクリックします。

- 5 「ファイルのダウンロード」ダイアログが表示されるので [保存 (S)] をクリックします。

- 6 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので任意のフォルダに保存します。

- 重要**  ・ダウンロードするデザインロゴはグループ単位になります。個別にはダウンロードすることができません。
- ・ダウンロードしたデザインロゴは、本機でのみ使用可能です。パソコンでは使用できません。

ダウンロードしたデザインロゴを本機に転送する

ダウンロードしたデザインロゴのデータを本機に転送する操作と、本機にインストールされているデザインロゴの名称を確認する操作を説明します。

- 重要**  ・デザインロゴは、本機に最大4フォルダまでインストールすることができます。
- ・すでにデザインロゴがインストールされているフォルダにインストールすると、デザインロゴデータは上書きされて、古いデータは失われます。
 - ・デザインロゴのデータを本機にあらかじめ内蔵されていたデータに戻すときは、デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」と同じフォルダに用意してあるデータをお使いください。なお、ダウンロードサイトにも、本機にあらかじめ内蔵されていたデータを用意しております。

■本機側の操作

- 1 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、 を押します。
- 2 ACアダプター、USBケーブルを使って、パソコンと本機を接続します。
・接続について詳しくは、別紙の「はじめにお読みください」をご覧ください。
- 3  を押して、電源を入れます。
- 4     を押して「デザインロゴ」を選び、 を押します。
・上記の操作の代わりに  を押しても同じ画面に進めます。

5 を押して **データインストール** を選び、**実行** を押します。

6 を押して **受信** を選び、**実行** を押します。
・画面に「通信準備完了」と表示されていることを確認します。

重要 ・パソコンと本機で通信をするときには、通常は **USB/LINK** を押しますが、デザインロゴデータをインストールするときには、**USB/LINK** を押してもインストールできません。
必ず、上記の操作をしてください。
・データ受信中には、ACアダプターやUSBケーブルを絶対に抜かないでください。

■パソコン側の操作

1 Windows の「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「CASIO」→「DESIGNLOGO CHANGER」→「DESIGNLOGO CHANGER」とクリックして起動します。
・インストール時の設定によっては、上記の操作と異なることがあります。

2 **本体メモリ確認** をクリックします。
本機にインストールされているデザインロゴの名称が表示されます。



3 デザインロゴの名称を参考に、内容を更新したいフォルダの (参照) をクリックして、ダウンロードサイトからダウンロードしたデザインロゴのファイルを指定します。

・誤ったフォルダを指定してしまった場合は、 (キャンセル) をクリックすると、そのフォルダの指定を取り消すことができます。

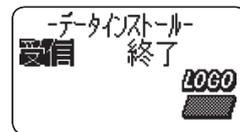
重要 ・ファイルを指定していないフォルダについては、転送しても本機にインストールされているデザインロゴの内容は変わりません。

4 をクリックします。

5 確認ダイアログで「はい (Y)」をクリックして本機にデザインロゴを転送します。

■本機側の操作

1 通信が正常に終了した場合には「通信完了」が表示され右の画面に戻ります。



2 を押して **終了** を選び、**実行** を 2 回押します。
・これで、転送したデザインロゴを使用することができます。

デザインロゴを印刷する

デザインロゴの印刷は、すべて本機側の操作です。

1 を押して、電源を入れます。

2 を押して「デザインロゴ」を選び、を押します。
・上記の操作の代わりにを押しても同じ画面に進めます。

3 を押してフォルダを選び、を押します。



4 でデータを選びます。
・デザインロゴ内蔵データ一覧（121 ページ）や、オンラインカタログ（<http://casio.jp/d-stationery/nameland/designlogo/catalog/01.html>）で番号を確認し、数字キーで番号を入力して選択することもできます。

5 を押すと、選択しているロゴのデザインを確認することができます。
・このとき表示されるのは「大きさ 1段（中）」で印刷した場合のデザインです。

6 じっくりと見たい部分が流れてきたら、を押して画面を停止させます。

を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- ・画面が停止しているときに、またはを押すと、コマ送りすることができます。
- ・プレビュー表示を中止するときは、を押します。

7 を押します。

8 を押して、印刷する大きさを選びます。

- ・1枚のテープに印刷する通常印刷と、何枚かのテープに分けて印刷したラベルを貼り合わせ、大きなデザインロゴを作る拡大印刷が選べます。通常印刷をする場合には「1段」を選びます。
- ・「通常印刷」は、横方向の大きさを「小」「中」「大」の3種類から選べます。
- ・拡大印刷は「拡大2段」、「拡大3段」、「拡大4段」から選べます。2段とは「2枚のテープに分けて印刷する」という意味です。
- ・印刷したときのデザインロゴの大きさは67ページのとおりです。
- ・「裏書き」にしたいときには、を押して、 でを選びます。



9 [実行]を押します。

10 ◀▶を押して[印刷]を選び、[実行]を押します。

11 ⏪⏩◀▶で印刷枚数、カットモードを指定します。
拡大印刷を選んだ場合は印刷枚数の代わりに「全部」「1 段目」
などから印刷する項目を選びます。
・カットモードについて (22 ページ)

12 [実行]を押します。
・印刷が開始されます。

本機内蔵のデザインロゴにおける印刷時の大きさ

(サイズはいずれも 縦 × 横 で記載)

		24mm / 18mm 幅			12mm 幅			9mm 幅 以下	備考
		倍率 (%)		データの大きさ	倍率 (%)		データの大きさ		
		縦	横		縦	横			
通常 1 段	小	100	75	16 × 54mm	62.5	50	10 × 36mm	(不可)	
	中	100	100	16 × 72mm	62.5	62.5	10 × 45mm	(不可)	
	大	100	150	16 × 108mm	62.5	75	10 × 54mm	(不可)	
拡大 2 段		200	200	32 × 144mm	125	125	20 × 90mm	(不可)	通常 1 段 (中) × 2 倍
拡大 3 段		300	300	48 × 216mm	187.5	187.5	30 × 135mm	(不可)	通常 1 段 (中) × 3 倍
拡大 4 段		400	400	64 × 288mm	250	250	40 × 180mm	(不可)	通常 1 段 (中) × 4 倍

・18mm、24mm 幅テープで拡大印刷すると、テープの上下に余白ができます。余白部分をカットしてから並べて貼ってください。
「透明テープ」をお使いになると、余白部分をカットしなくても重ねて貼ることができます。

入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、装飾の指定や外字の作り方についても説明しています。

カーソルのはたらきと動かし方

画面上で点滅している■をカーソルといいます。カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



⏪	左にカーソルが移動する	⏩	上にカーソルが移動する
⏴	右にカーソルが移動する	⏵	下にカーソルが移動する
機能 を押し、指を離してから ⏪を押す	行の先頭にカーソルが移動する	機能 を押し、指を離してから ⏵を押す	行の最後にカーソルが移動する
機能 を押し、指を離してから ⏩を押す	文の先頭にカーソルが移動する※	機能 を押し、指を離してから ⏴を押す	文の最後にカーソルが移動する※

※フリーラベルでのみ有効です。

スクロールとは

画面にかくれている文字を見るためには、⏪⏴を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これをスクロールといいます。(⏪⏴を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。)

ローマ字入力？それともかな入力？

キーを押して文字を画面に表示させることを、**入力**といいます。文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

・ローマ字入力とは…

アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。

・かな入力とは…

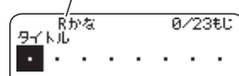
直接ひらがななどを入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

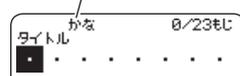
ローマ字入力とかな入力を切り換える

機能を押し、指を離してから**あア**を押す

ローマ字入力を示します



かな入力を示します



- ・「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まず**あア**を押して、「Rかな」または「かな」を表示させます。

「設定」で切り換えるには

- 1 **機能**を押し、指を離してから^{設定}8を押します。
- 2 ⏩⏵を押して「入力設定」を選び、**実行**を押します。
- 3 ⏩⏵⏪⏴を押して「かな」または「ローマ字」を選び、**実行**を押します。

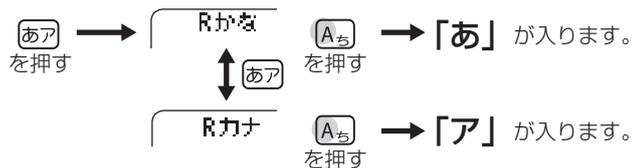
入力する文字の切り替え方法

文字キーは、1 つで数種類の文字が入力できるようになっています。
〔あア〕や〔aA〕を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り替えます。

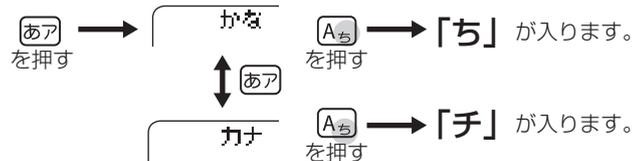
ここでは〔Aち〕を例にとって、説明します。

ひらがな・カタカナの入力

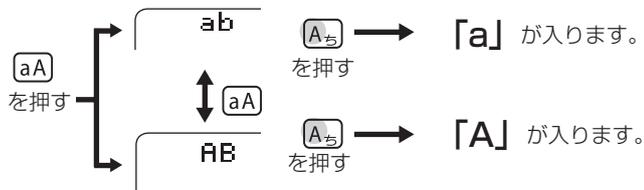
■ローマ字入力の場合



■かな入力の場合



アルファベット（大文字・小文字）の入力



ひらがな・カタカナの入力

ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなの入力

【例】 さくら

1 〔あア〕を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

- かな入力の場合は、「かな」を表示させます。(68ページ)

2 Sと〔Aち〕KのUなRす〔Aち〕と押します。

- かな入力の場合は、〔Xさ〕〔H<〕〔Oさ〕と押します。

ひらがなを入力している最中は、文字に下線が表示されます。

3 〔無変換〕または〔実行〕を押します。

「さくら」が確定します。

- 〔無変換〕とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

カタカナの入力

【例】 サクラ

1 **あア**を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

・かな入力のときは、「カナ」を表示させます。(68 ページ)

2 **S**と**A**ち**K**の**U**な**R**せ**A**ちと押します。

・かな入力のときは、**X**さ**H**く**O**ら **タイトル Rカナ 3/23セル**
サクラ と押します。

カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する(カタカナ変換)

【例】 サクラ

- ① ひらがなで「さくら」と入力します。
- ② さくらとなっているときに、**機能**を押し、指を離してから**無変換**を押します。
カタカナ変換
 さくらが「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	I _に T _が T _か A _ち	E _い シフト Z _っ Q _た *
拗音	きょう	K _の Y _ん O _ら U _な	G _き シフト 9 _よ 4 _う *
濁音	ぼく	B _っ O _ら K _の U _な	一 _は @ _い H _く
半濁音	ぱぱ	P _せ A _ち P _せ A _ち	F _は [F _は] [F _は]
句点	。	[.]	シフト [.]
読点	、	[,]	シフト [,]
長音	ー	[¥]	[¥]
中点	・	シフト [/]	シフト [/]
を		W _て O _ら	シフト O _を
ん		N _み N _み	Y _ん
ヴ		「Rカナ」表示のときに V _っ U _な	「カナ」表示のときに 4 _う @ _い
カ		X _さ K _の A _ち または K _の シフト A _ち	シフト T _か
ケ		X _さ K _の E _い または K _の シフト E _い	シフト [:]
空白		空白	空白

* **シフト**を押し、指を離してから文字キーを押すと小文字(促音・拗音)になりますが、「ちゃゅあいう」など促音・拗音にすることができる文字に限ります。

- ・ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」(112 ページ)をご覧ください。
- ・,(カンマ)・(ピリオド)の入力方法については、77 ページをご覧ください。
- ・「空白」は、半角で入力することはできません。

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します（例：「花」→「はな」）。

ひらがなから漢字などに変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、**確定**します。

ひらがなから漢字などに変換する方法は、次のとおりです。

- 入力した「よみ」から予測された変換候補を選ぶ
- 「よみ」を入力して変換する
- 漢字辞書で漢字を呼び出す（「読み」の他、「総画数」、「部首」、「区点コード」から検索することができます）

入力した「よみ」から予測された変換候補を選ぶ（予測変換）

文字を入力すると、予測される語句が、自動的に候補として表示されます。その候補を選ぶことで漢字などを効率的に入力できます。

- 入力した文字から予測できる言葉がないときは変換候補が表示されません。
- 予測変換の機能を使わないように設定することもできます。（100ページ）

【例】京都旅行

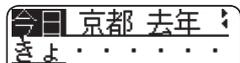
- 1 ひらがなで「きょ」と入力します。
画面上段に「きょ」で始まる言葉が並んで表示されます。



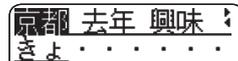
予測変換の候補を表示

- 変換したことのある語句が優先的に表示されます（学習機能）。
- さらに入力すると、「よみ」にあわせて候補が変わっていきます。
- 「よみ」を長くするほど、候補が絞り込まれます。

- 2 **↶**を押します。
画面上段にカーソルが移動します。



- 3 **↶****↷**を押して「京都」を選びます。



- 4 **実行**を押します。

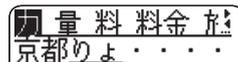
- 「京都」が確定されます。
• 続きがある場合は、次の文字を入力しても「京都」が確定されます。



- 5 ひらがなで「りょ」と入力します。
画面上段に「りょ」で始まる言葉が並んで表示されます。



- 6 **↶**を押します。
画面上段にカーソルが移動します。



- 7 **↶****↷**を押して「旅行」を選び、**実行**を押します。

- 「旅行」が確定されます。
• 候補の中に入力したい語句が見つからない場合は、**↶**を押して「よみ」を入力し直してください。それでも見つからない場合は、「よみ」を最後まで入力し、**変換**を押してください。
→「よみ」を入力してから変換する（72ページ）



思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

- 「週（しゅう）」を「しゅう」と入力している
- 「図（ず）」を「づ」と入力している
- 「通り（とおり）」を「とうり」と入力している

「よみ」を入力してから変換する

「よみ」を入力してから、漢字などに変換します。
カタカナ語の「よみ」から、英語に変換できる語句もあります。

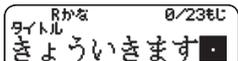
例：「れぽーと」**変換**→「report」など

また、よく使う語句を辞書に登録しておくこともできます。
・よく使う語句を辞書に登録する（ユーザー辞書→96ページ）

【例】 今日行きます

1 「きょういきます」をひらがなで入力します。

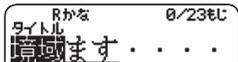
・一度に32文字まで入力できます。



2 **変換**を押します。

「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。

・変換したことのある候補が優先的に表示されます（学習機能）。

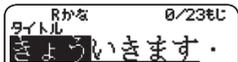


「境域」が反転表示されます

3 **⏪**を2回押します。

「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。

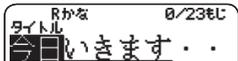
・**⏪**または**⏩**で、区切る場所を変えられます。



4 **変換**を何回か押して、「きょう」を「今日」にします。

変換を押すたびに、「きょう」に当てはまる候補が次々と表示されます。

・**機能**を押し、指を離してから**変換**を押す、または**⏪**を押すと、1つ前の候補が表示されます（前候補）。



5 **⏹**を押します。

「今日」が確定されます。

・まとめて確定する場合は、**実行**を押します。



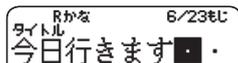
6 **変換**を何回か押して、「いきます」を「行きます」にします。



7 「行きます」が表示されたら、**実行**または**⏹**を押します。

「行きます」が確定されます。

・続きがある場合は、次の文字を入力しても、「行きます」が確定されます。



漢字辞書を使って文字を入力 (漢字辞書機能)

漢字の読みや、画数などから漢字を呼び出すことができます。

漢字の呼び出し方には、4種類あります。

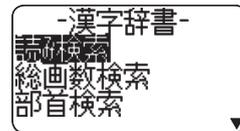
- ・「読み」 読みから該当する漢字を呼び出します。
- ・「総画数」 総画数から該当する漢字を呼び出します。
- ・「部首」 部首から該当する漢字を呼び出します。
- ・「区点コード」 漢字の一覧表から入力したい文字を見つけます (JIS区点コード)。

重要! 漢字辞書機能は文字が入力できる画面で有効です。ただし、文字が未確定のときや、変換中、記号や文字修飾などの選択画面などでは漢字辞書は使えません。

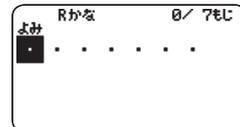
読みから呼び出す

【例】「拳」という漢字を呼び出す

1 **漢字辞書** を押します。



2 **読み** を押して **読み検索** を選び、**実行** を押します。

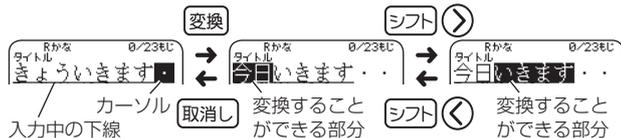


表示について

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、黒い四角形が点滅して画面に表示されます。

ひらがなを漢字に変えるときの反転表示は、「現在変換することができる部分」を示した印です。

- ・変換が2つ以上に分かれる場合は、**シフト** を押し、指を離してから **シフト** (または **シフト**) を押すと、反転表示を右 (または左) に動かすことができます。
- ・反転表示されているときに **取消し** を押すと、「よみ」の状態に戻ります。



変換中の操作について

操作	内容
変換	次の候補を表示
機能 を押し、指を離してから 変換 を押す、または シフト を押す	前の候補を表示
シフト (または シフト)	区切る場所 (変換する「よみ」の長さ) を変更
シフト (または シフト)	変換することができる部分 (注目文節) を移動
シフト	変換することができる部分 (注目文節) までを確定
実行	すべて確定
続けて文字入力	すべて確定されてから文字入力
取消し	「よみ」の状態に戻る

- 3 数字キーを押して区点コードを入力します。
ここでは「拳」の区点コード「2183」と入力します。



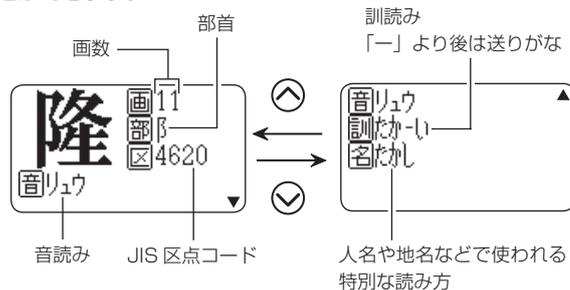
- 4 実行を押します。
「拳」という漢字についての詳細が表示されます。



- 5 実行を2回押します。
「拳」という漢字が文字入力画面のカーソルの位置に入ります。

・漢字辞書詳細表示について

漢字辞書詳細表示中に(↑)(↓)を押すと、漢字の読み方を見ることができます。



- 漢字辞書詳細表示中に(←)を押すと、表示フォントを切り替えることができます。(明朝→角ゴシック→丸ゴシック→明朝)

- 読みでの検索は「音読み」、「訓読み」、「人名や地名などで使われる特別な読み方」のいずれでも検索できます。
- フォントのデザインにより同じ漢字でも字の形が異なることがあります。
- 部首は代表的なものを採用しています。学説によっては別の部首とするものもあります。
- 漢字辞書機能で呼び出した場合は、漢字の学習機能(71 ページ)は、はたらかません。
- 文字が入力されたときは、そのときのカーソル位置のサイズや装飾、書体などに合わせて入力されます。
- 単位の名称を漢字で表すもの(米：メートル、弗：ドルなど)は訓読みに含め、ひらがなで表示しています。

アルファベット・数字・記号・ 絵文字の入力

アルファベット、数字、記号、絵文字の入れ方を説明します。

アルファベットの入力

【例】 AKI

1 [a] を何回か押して、画面の左上に「a b」または「AB」を表示させます。

ab：小文字を入力するとき

AB：大文字を入力するとき



2 [A] [K] [I] と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。

・カンマ (,) ピリオド (.) を入力するには
画面の左上に「AB」または「a b」と表示されているときに、次のキーを押します。

カンマ： [,] ピリオド： [.]

・大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには
「AB」表示のとき…… [シフト] を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります。

【例】 TAKESHI's

「a b」表示のとき…… [シフト] を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

【例】 English

数字の入力

【例】 123

ローマ字入力の場合

1 [1] [2] [3] と押します。

2 [実行] を押して、確定します。

・ [変換] を押すと、数字を漢数字に変換することもできます。

例：「123」 [変換] → 「一二三」 など

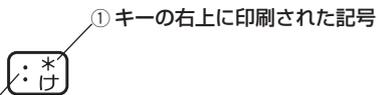
「12がつ」 [変換] → 「十二月」 など

かな入力の場合

1 [aA] を押して、画面の左上に「ab」または「AB」を表示させます。

2 [1] [2] [3] と押します。

記号（キーに印刷されているもの）の入力



② キーの左に印刷された記号

■ローマ字入力の場合

- ① を押すと → 「:」が入ります。
- ② を押し、指を離してから を押すと → 「*」が入ります。

■かな入力の場合

- ① → → 「:」が入ります。
を押すと
または
- ② → を押し、指を離してから を押すと → 「*」が入ります。
または

記号（その他の記号）の入力

ゑ ♂ 注 ⑫ など

記号は「記述・カッコ」「学術」「単位・略」「一般」「数字」「ギリシア・ロシア」「診療科目」の7つのグループに分かれています。113ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

【例】 (グループ=単位・略)

1 を押し、指を離してから を押します。



2 を押して にし、を押します。

3 を押して にし、を押します。

絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は21のグループに分かれています。

114～115ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確認してください。

また、文字体の指定は無効です。

[例]  (グループ=食べ物)

1  を押し、指を離してから  を押します。



2     を押して  にし、 を押します。

3     を押して  にし、 を押します。

文字を修正・削除するときは

文字を間違えて入力したときの直し方と、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。

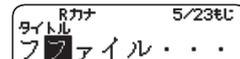
フリーラベルでは、範囲を指定して削除することもできます。

文字を1文字ずつ消す

■カーソルの上の文字を消す

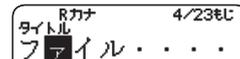
[例] 「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」に直す

1   を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。



2  を押します。

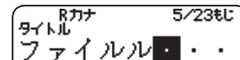
「ファイル」になります。



■カーソルの前の文字を消す

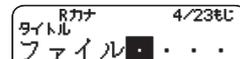
[例] 「ファイルル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」に直す

1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。



2  を押します。

「ファイル」になります。



すべての文字を消す（文削除）

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 **機能** を押し、指を離してから **文削除** を押します。

「削除しますか?」と表示されます。

- 文削除をやめるときは、**取消し** を押します。
フリーラベルでは「全文削除」と「部分削除」の選択画面が表示されますので、ここで「全文削除」を選んで **実行** を押します。

2 **実行** を押します。

- 画面にあった文字はすべて消えます

■範囲を決めて消す（フリーラベルのみ）

消したい部分のはじめと終わりを指定して消す方法です。

【例】 「あおきおさむ」を「おさむ」にする

1 **機能** を押し、指を離してから **文削除** を押します。

2 **◀▶** を押して **部分削除** を選び、**実行** を押します。

操作をやめるときは **取消し** を押します。

どこから?
あおきおさむ ■

3 **⬆️⬇️⬅️➡️** を押して消したい部分の最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押します。

ここでは「あ」にカーソルを合わせます。

どこまで?
あおきおさむ . . .

4 **⬆️⬇️⬅️➡️** を押して消したい部分の最後の文字を指定し、**実行** を押します。

ここでは「あおき」にします。

Rかな 4.4cm 4×4
フリー
あさむ

間違った文字を直す

間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

■「上書き」にすると

シフト を押し、指を離してから **あア** を押します。

<挿入>

Rかな 0/23セル
タイトル



<上書き>

反転します

Rかな 0/23セル
タイトル

もう一度 **シフト** を押し、指を離してから **あア** を押すと、「挿入」状態に戻ります。

【例】 「フェイル」を「ファイル」に直す

■間違った文字を消して正しい文字を入力する（「挿入」状態）

1 **◀▶** を押して「エ」にカーソルを合わせます。

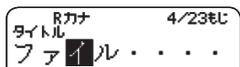
Rかな 4/23セル
タイトル
フエイル

2 **文削除** を押します。

「エ」が削除され、「イ」が「エ」の位置に移動します。

3 「ア」を入力します。

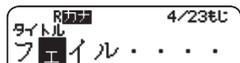
- ・「ア」は **シフト** を押し、指を離してから **A** を押して入力します。



「ア」が「イ」の前に入力されます

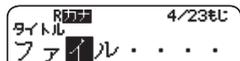
■間違った文字の上に正しい文字を入力する（「上書き」状態）

1 ◀▶を押して「エ」にカーソルを合わせます。



2 「ア」を入力します。

「エ」が「ア」になります



「設定」で切り換えるには

- 1 **機能** を押し、指を離してから **設定** を押します。
- 2 ◀▶ を押して「入力設定」を選び、**実行** を押します。
- 3 ◀▶ を押して「上書き」または「挿入」を選び、**実行** を押します。

確定前に文字を直したり消したりするには…

ふえているなど、文字に下線が引かれているとき（確定前）に文字を消したり直したりするときも確定後の文字と同じ操作で行います。

ただし、**取消し** を押すと、下線が引かれている文字が全部消えます。

確定→71 ページ

「上書き」で文字を直すときは

直す文字数に注意してください。直す文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。

書体（フォント）を変える

入力済みの文字の形（書体）を、和文 3 書体・かな 8 書体・英数 15 書体の中から選ぶことができます。

また、電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明します。

■和文書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
禁煙	禁煙	禁煙

■かな書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
あア	あア	あア
手書き	ボンジュール	メロディ
あア	あア	あア
パレット	プロデュース	
あア	あア	

■英数書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
A2	A2	A2
手書き	ボンジュール	メロディ
A2	A2	A2
パレット	プロデュース	ステンシル
A2	A2	A2
ポップ	ボールドスク립ト	ブラックレター
A2	A2	A2
スクエア	ライトポップ	ブーケ
A2	A2	A2

- モモリーリセット後は、「和文フォント：明朝体」「かな・英数フォント：和文と同じ」に設定されています。

- かな書体は、次の文字が指定の対象になります。
 - アルファベット (A ~ Z a ~ z)
 - 数字 (1 2 3 4 5 6 7 8 9 0)
 - ひらがな (あ ~ ん)
 - カタカナ (ア ~ ん、ヴ、カ、ケ)
 - 記号の一部 (.,. . ? ! 長音ー ~ () ¥ % スペース)
- 英数書体は、次の文字が指定の対象になります。
 - アルファベット (A ~ Z a ~ z)
 - 数字 (1 2 3 4 5 6 7 8 9 0)
 - 記号の一部 (.,. . ? !ー ~ () ¥ % スペース)

重要 かな・英数フォントの指定で、ステンシル/ポップ/ボールドスク립ト/ブラックレター/スクエア/ライトポップ/ブーケを選んだ場合には、ひらがな、カタカナは和文フォントの指定と同じフォントになります。

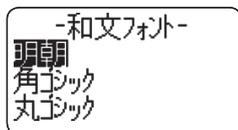
入力済みの文字の書体を変える

[例] ヒーリング *MUSIC* 集

(「ヒーリング」「集」を角ゴシック体に、「MUSIC」をボールドスク립トにする)

1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **1** を押しします。



3 **1** **2** を押しして **角ゴシック** を選び、**実行** を押しします。

(和文の書体の種類を選びます。)



4 **1** **2** を押しして **A ボールドスク립ト** を選び、**実行** を押しします。

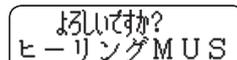
(かな・英数の書体の種類を選びます。)

5 **1** **2** **3** **4** を押しして設定の範囲を選び、**実行** を押しします。

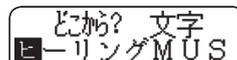
- **全文**：フォーマット単位で設定されます。
- **ブロック**：ブロック単位で設定されます。
- **行**：項目単位で設定されます。
- **文字**：文字単位で設定されます。

• フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選べません。

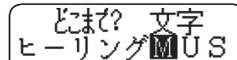
フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、**実行** を押しします。設定後、文字入力の画面に戻ります。



フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順 **6**、**7** で範囲を指定します。



6 **1** **2** **3** **4** を押しして書体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。



7 (▲) (▼) (◀) (▶) を押して、書体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、[実行] を押します。

設定後、文字入力の画面に戻ります。

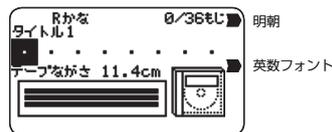


電源を入れたときの書体を決める

- 1 [機能] を押し、指を離してから (設定) (8) (ゆ) を押します。
- 2 (▲) (▼) を押して初期フォントにし、[実行] を押します。
- 3 (▲) (▼) を押して和文フォントを選び、[実行] を押します。
- 4 (▲) (▼) を押してかな・英数フォントを選び、[実行] を押します。
- 5 (切) を押して一度電源を切り、再び (入) を押して電源を入れます。
- 6 文字入力の画面を表示させます。
文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

- 「登録データ」や「前回データ」を選択し呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

画面表示について



入力中の文字の書体を ■ で示します。

- ・ かな・英数フォントの指定で「和文と同じ」を選んだ場合には、■は1つだけ点灯します。
- ・ かな・英数フォントの指定で、「手書き／ボンジュール／メロディ／パレット／プロデュース」を選んだ場合には、■は3つ点灯します（和文フォントとして指定した「明朝／角ゴシック／丸ゴシック」のうち1つと、「かなフォント」、「英数フォント」が点灯します）。
- ・ かな・英数フォントの指定で、「ステンシル／ポップ／ボールドスク립ト／ブラックレター／スクエア／ライトポップ／ブーケ」を選んだ場合には、■は2つ点灯します（和文フォントとして指定した「明朝／角ゴシック／丸ゴシック」のうち1つと、「英数フォント」が点灯します）。このとき、ひらがな、カタカナは和文フォントで指定したフォントになります。
- ・ 英数書体は書体ごとに大きさ、バランスが設定されていますので、混在させるとバランスが不釣り合いになることがあります。

文字を上付・下付にする

文字を 1/4 の大きさにして、上に寄せたり（上付）下に寄せたり（下付）することができます。

上付 議事録^{※1}

下付 167_{センチ}

・「インデックスラベル」、「拡大印刷」では、上付、下付には変更できません。

重要 ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号の一部が対象になります。

【例】 167_{センチ} （下付）

1 文字を入力します。

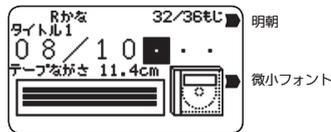
2 機能 を押し、指を離してから 3^{印字サイズ}あ を押します。
フリーラベル以外では手順 4 に進みます。

3 ◀▶ を押して、1/4 角 を選び、実行 を押します。

4 ▲▼◀▶ を押して 下付 を選び、実行 を押します。
フリーラベル以外では手順 6 に進みます。

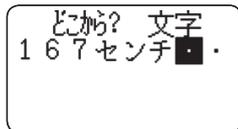
微小フォントについて

印刷するときは行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）とテープ幅によって微小フォントで印刷されます。このとき、画面右に「微小フォント」の ■ が点灯します。

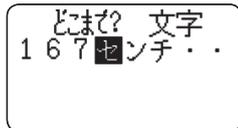


- 微小フォントには、次のような特徴があります。
- ・ フォントの設定は無効です。（すべて同じフォントで印刷されます）
- ・ プロポーショナルの設定は無効です（「しない」になります）。
- ・ 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- ・ 絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

- 5 を押して**文字**を選び、**実行**を押します。
- ・**全文**：すべての文字を上付・下付にするとき
 - ・**ブロック**：ブロック単位で上付・下付にするとき
 - ・**行**：行単位で上付・下付にするとき
 - ・**文字**：文字単位で上付・下付にするとき

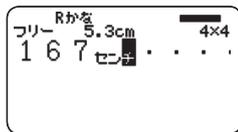


- 6 を押して、下付にする最初の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。



- 7 を押して、下付にする最後の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。

指定した文字が 1 / 4 の大きさになり、下に寄せられます。



・文字を元に戻すときは、手順 4 で「□全角」を選びます。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます（文字体）。

・絵文字・外字は、文字体の指定はできません。

標準

太字

住所録

住所録

白抜

影付

住所録

住所録

立体

住所録

- 1 文字を入力します。

- 2 **機能** を押し、指を離してから **4** を押します。

・「文字修飾」が指定できない機能やフォーマットの場合には、手順 4 に進みます。

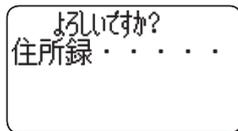
- 3 を押して**文字体**を選び、**実行**を押します。



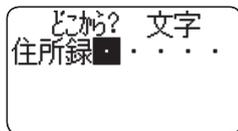
- 4 を押して文字体の種類を選び、**実行**を押します。
- ・ **A 標準**を選ばると、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。

- 5 を押して設定の範囲を選び、**実行**を押します。
- ・ **全文**：フォーマット単位で設定されます。
 - ・ **ブロック**：ブロック単位で設定されます。
 - ・ **行**：項目単位で設定されます。
 - ・ **文字**：文字単位で設定されます。
- ・ フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選ばません。

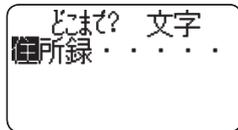
フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、**実行**を押します。設定後、文字入力画面に戻ります。



フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順 **6**、**7** で範囲を指定します。



- 6 を押して、文字体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。



- 7 を押して、文字体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。
- ・ 設定後、文字入力画面に戻ります。



文字に飾りを付ける

フリーラベルでは、文字に網を掛けることや、下線や枠を付けることができます。

また、用途別ラベルでは、フォーマットにより枠を付けることができます。

網掛	下線	枠付(文字)	枠付(詳細)
修飾	修飾	修飾	修飾

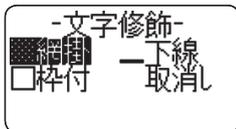
文字修飾を指定する

1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **4** を押しします。

3 **◀▶** を押しして **文字修飾** を選び、**実行** を押しします。

- 用途別ラベルの文字修飾が指定できるフォーマットでは、「枠付」の「あり」「なし」を選ぶ画面が表示されます。



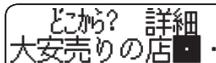
◀▶ で「あり」「なし」を選んで、**実行** を押しすと文字修飾が指定できます。

4 **⬆⬇⬅➡** を押しして文字修飾の種類を選び、**実行** を押しします。

- 取消し** を選ぶと、指定済みの文字修飾を取り消すことができます。

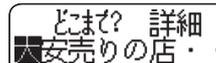
5 **⬆⬇⬅➡** を押しして文字修飾する部分を指定し、**実行** を押しします。

- 詳細**：文字のかたまりに指定するとき
例 **大安売りの店**



- ブロック**：ブロック単位で指定するとき
- 行**：行単位で指定するとき
- 文字**：1文字ずつ指定するとき
例 **大安売りの店**

6 **⬆⬇⬅➡** を押しして、文字修飾する最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。



7 **⬆⬇⬅➡** を押しして、文字修飾を指定する最後の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。

- 設定後、文字入力画面に戻ります。



こんな文字修飾もできます

網掛、下線、枠付の飾りを重ねて付けることもできます。1つの飾りを付けたあとに、別の飾りを重ねて付けます。

特売

特売

特売

網掛+枠付(詳細)

網掛+下線

網掛+下線+枠付(文字)

- 文字の大きさによっては、枠付と下線を重ねると、枠と下線が重なって印刷されることがあります。

文字修飾を取り消す

- 1 **機能** を押し、指を離してから **4** を押します。
- 2 **◀ ▶** を押して **文字修飾** を選び、**実行** を押します。
- 3 **⊕ ⊖ ◀ ▶** を押して **取消し** にし、**実行** を押します。
複数の文字修飾を指定しているときに一つの文字修飾だけを取り消したいときは、**⊕ ⊖ ◀ ▶** を押して取り消したい文字修飾を選び、**実行** を押します。
- 4 **⊕ ⊖ ◀ ▶** を押して **文字** にし、**実行** を押します。
- 5 **⊕ ⊖ ◀ ▶** を押して、文字修飾を取り消したい最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押します。
- 6 **⊕ ⊖ ◀ ▶** を押して、文字修飾を取り消したい最後の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押します。
複数の文字修飾を指定しているときに一つの文字修飾だけを取り消したいときは、ここで **実行** の代わりに **文字削除** を押します。

よく使う語句を登録する / 呼び出す (プリセットタイトル)

よく使う単語や文章を登録しておき、文字の入力中に呼び出して挿入することができます。

入力できる文字種に制限があるなど、一部の特殊な入力状態では、お使いになれません。

- 最大 49 文字の語句を 50 件まで登録できます。
- お買い上げの状態では、以下の 20 件の語句が登録されています。修正や書き換えが可能です。

番号	データ内容	番号	データ内容	番号	データ内容
1	製造年月日	8	有効期間	15	税込 ¥
2	作成日	9	まで保管	16	本体価格 ¥
3	撮影日	10	まで有効	17	BACKUP DATA
4	更新日時	11	交換期限	18	BEST ALBUM
5	交換日	12	賞味期限	19	http://
6	購入日	13	品質保持期限	20	E-mail:
7	保存期間	14	消費期限		

プリセットタイトルを呼び出す

文字を入力中に、プリセットタイトルを呼び出して挿入します。

- 1 **プリセット** を押します。

登録されている語句が表示されます。



2 を押して、挿入したい語句を選びます。

- 数字キーで番号を入力して選択することができます。1～50までを入力できます。

3 を押します。

新しくプリセットタイトルを作る

文字を入力してプリセットタイトルを作り、登録します。

1 を押し、指を離してから を押します。

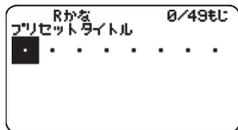
2 を押して **作成** を選び、 を押します。

文字入力エリアに文字が無いときは、手順3の画面が表示されます。



3 を押して語句の作り方を選び、 を押します。

- 新規作成… 最初から文字を入力して作ります。
- 参照作成… 入力中の文字をベースに作ります。



4 文字を入力し、 を押します。

参照作成 を選んだときは、入力中の文字が表示されます。必要に応じて修正して を押してください。

- 記号、絵文字、外字も使うことができます。
- 書体、文字体、書式を指定することはできません。

5 を押して登録する場所を選びます。



「未登録」と表示されている場所は、データが登録されていません。

6 を押すと、「よろしいですか?」と表示されるので、よければ を押します。

• 別の場所に登録したいときは、 を押します。

これで登録は完了です。

参照作成のときには

- 参照した内容に、倍率マーク、改行マーク、ブロックマークが含まれる場合、空白に置き換わります。
- 1/4 角の文字は全角に置き換わります。
- 入力中の文字が49文字以上ある場合には、先頭から49文字分が参照できます。

プリセットタイトルを修正する

登録したプリセットタイトルを、呼び出して修正します。

1 を押し、指を離してから を押します。

2 を押して **修正** を選び、 を押します。

3 を押して修正する語句を選び、 を押します。

4 語句を修正し、**実行**を押します。

5 **⏪****⏩**を押して登録する場所を選び、**実行**を押します。
「よろしいですか?」と表示されます。

・別の場所に登録したいときは、**取消し**を押します。

6 **実行**を押します。
これで修正は完了です。

プリセットタイトルを削除する

登録したプリセットタイトルを削除します。

1 **機能**を押し、指を離してからタイトル編集**削除**を押します。

2 **⏪****⏩**を押して**削除**を選び、**実行**を押します。

3 **⏪****⏩**を押して削除する語句を選び、**実行**を押します。
「よろしいですか?」と表示されます。

・別の語句を削除したいときは、**取消し**を押します。

4 **実行**を押します。
削除されたプリセットタイトルの欄は「未登録」になります。

日付や時刻をデータに挿入する

資料やディスクの作成日など、現在の日付や時刻をデータに挿入することができます(タイムスタンプ)。また、有効期限や保存期間など、指定した期間が経過した時点の日付や時刻をデータに挿入することができます(タイムスパン)。

タイムスタンプの印刷例

エンジンオイル 交換日2014年9月6日

タイムスパンの印刷例

会社名	☆レンタル株式会社
レンタル物件	パーソナルコンピューター
レンタル期限	2016年9月5日

タイムスタンプとタイムスパンの印刷例

加工年月日	2014年9月6日
消費期限	2014年9月16日

現在の日付や時刻をデータに挿入する(タイムスタンプ)

日付や時刻の表示形式は、以下の 14 の形式から選べます。

平成 26 年 10 月 26 日	(現在の日時が「2014 年 10 月 26 日 13 時 30 分」の場合)
H26.10.26	
2014 年 10 月 26 日	
2014/10/26	
2014-10-26	
平成 26 年 10 月	
2014 年 10 月	
2014/10	
10 月 26 日	
10/26	
10 月 26 日 (日)	
10/26 (日)	
13 時 30 分	
13:30	

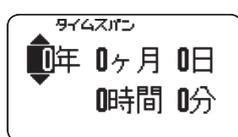
1 **☞☝** を押します。

現在の日付、時刻を表示した後、日付や時刻の入力形式を選ぶ画面が表示されます。

日付、時刻を設定する→100 ページ

2 **⏪⏩** を押して日付や時刻の入力形式を選び、**実行** を押します。

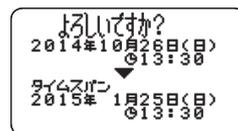
画面に現在の日付や時刻が挿入されます。

指定期間が経過後の日付や時刻をデータに挿入する(タイムスパン)**1** **機能** を押し、指を離してから **タイムスパン** を押します。**2** **⏪⏩** を押して期間を指定します。

- 「年」「月」「日」「時」「分」の各項目間の移動には **⏪** **⏩** を押します。数字を指定するときは **⏪** **⏩** を押します。
- 直接数字を入力することもできます。
- 各項目の指定可能範囲は以下のとおりです。
 - 年：0～30
 - 月：0～36
 - 日・時・分：0～99
- 各項目を指定するときには以下の点に注意してください。
 - 年月のどちらか一方でも「0」でないときには、現在日も含めて計算します。
 - 例：現在の日付が 2014 年 1 月 10 日のときに年「1」を指定すると 2015 年 1 月 9 日になります。
 - 指定した値では、該当日がないときには、その月の最後の日になります。
 - 例：1 月 31 日の 1 ヶ月後を指定すると 2 月 28 日になります。

3 **実行** を押します。

- 「タイムスパン」の下に表示された年月日、時刻でよいか確認してください。
- 変更したいときは、**取消し** を押して期間を指定し直してください。

**4** **実行** を押します。

指定した期間後の、日付や時刻で表示された入力形式を選ぶ画面が表示されます。

5 **⏪⏩** を押して日付や時刻の入力形式を選び、**実行** を押します。

画面にご指定の日付や時刻が挿入されます。

入力した文字をコピーする・ 貼り付ける（コピー・ペースト）

文字をコピーし、呼び出して挿入することができます。

- ・入力できる文字種に制限があるなど、一部の特殊な入力状態では、お使いになれません。

文字をコピーする

- 1 文字を入力します。
- 2 **機能** を押し、指を離してから **コピー** を押します。
- 3 **上** **下** **左** **右** を押して、コピーする最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押します。
- 4 **上** **下** **左** **右** を押して、コピーする最後の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押します。

「コピー完了」と表示された後、文字入力画面に戻ります。

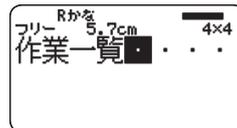
- ・コピーできる文字数は、49文字までです。それ以上のときは、先頭から49文字までコピーし、残りの文字はコピーされません。
- ・コピーは9個まで取り込むことができます。10個目をコピーしたときは、古い順にコピーした内容がなくなります。
- ・コピーした内容に、倍率マーク、改行マーク、ブロックマークが含まれる場合、空白に置き換わります。
- ・1/4角の文字は全角に置き換わります。

コピーした文字を貼り付ける（ペースト）

- 1 **機能** を押し、指を離してから **ペースト** を押します。



- 2 **上** **下** を押して貼り付ける内容を選び、**実行** を押します。
指定した文字が貼り付けられます。



- ・項目に入力できる最大文字数を超えるときは、超過した文字は貼り付けられず、「文字数オーバー ペーストできなかった文字があります」と表示されます。

オリジナルの文字（外字）を作る

㊦や㊧などのように、本機にない文字や記号を自分で作ることができます（外字）。4 つまで本機の中に登録（記憶）しておくことができます。外字では、文字体の指定は無効です。

外字を作る方法には、次の 2 つがあります。

- **はじめから自分で作る（新規作成）**
…まったくオリジナルな外字を作るとき
- **本機の中にある文字を利用して作る（参照作成）**
…㊦や高のように、既存の文字が利用できるとき

はじめから自分で作る（新規作成）

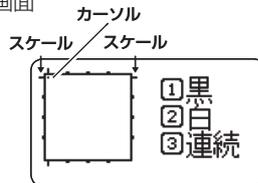
[例]



- 1 **機能** を押し、指を離してから **7^{外字}や** を押します。
- 2 **↑** **↓** **←** **→** を押しして **作成** を選び、**実行** を押します。
- 3 **←** **→** を押しして **新規作成** を選び、**実行** を押します。
 - 手順 1 でカーソルの位置に文字がなかった場合は、**外字作成画面**（手順 4 の画面）になります。そのまま手順 4 からはじめてください。

4 外字作成画面で外字を作成します。

- 外字作成画面



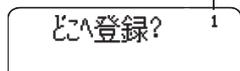
カーソルを移動させるときは	↑ ↓ ← → を押ししてカーソルを移動します。
点を 1 つ塗りつぶすときは	カーソルを目的の位置まで移動し、 1[!] 黒 （黒）を押します。
点を 1 つ消すときは	塗りつぶされている点までカーソルを移動し、 2[!] 白 （白）を押します。
線を描くときは	1[!] 黒 （黒）を押し、指を離してから 3[#] 連続 （連続）と押し、 黒 連続 にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が描かれます。
線を消すときは	2[!] 白 （白）を押し、指を離してから 3[#] 連続 （連続）と押し、 白 連続 にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が消されます。

- 斜め方向に連続して塗りつぶしたり消したりすることはできません。斜め方向に塗りつぶしたり消したりするときは、1 つの点ごとに操作してください。
- 外字作成画面で **1[!] 黒**（黒）または **2[!] 白**（白）のどちらかが指定されているときは、**3[#] 連続**（連続）を押すたびに連続入力を「する / しない」が切り替えられます。

連続 になっていない場合は、**機能** **←**、**機能** **→** でカーソルを画面の左右の端へ、**機能** **↑**、**機能** **↓** でカーソルを上下の端へ、それぞれ移動することができます。

5 外字が完成したら、**実行**を押します。

登録番号



6 **↑****↓****←****→**を押して登録する場所を番号で選び、**実行**を押します。

「よろしいですか?」と表示されます。

- 登録されている外字を消していい場合はそのまま**実行**を押します。消したくない場合は、**取消し**を押して、登録番号を選び直します。

7 **実行**を押します。

本機にある文字を利用して作る (参照作成)

文字の他に、記号や絵文字も利用することができます。(記号→113ページ、絵文字→114ページ)

[例] 高 → 高

1 「高」を入力します。

2 **←****→**を押して、「高」にカーソルを合わせます。

3 **機能**を押し、指を離してから^{外字}**7****や**を押します。

4 **↑****↓****←****→**を押して**作成**を選び、**実行**を押します。

5 **←****→**を押して**参照作成**を選び、**実行**を押します。

外字作成画面に「高」が表示されます。



6 94 ページの手順 4 からの操作をして、外字の作成と登録をします。

すでに作ってある外字を修正する

1 **機能**を押し、指を離してから^{外字}**7****や**を押します。

2 **↑****↓****←****→**を押して**修正**を選び、**実行**を押します。

3 **↑****↓****←****→**を押して修正する外字を選び、**実行**を押します。外字作成画面に、選んだ外字が表示されます。

4 94 ページの手順 4 からの操作をして、外字の修正と登録をします。

外字を使う

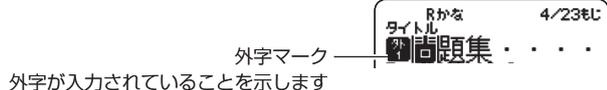
1 外字を入れたい位置にカーソルを合わせます。

2 **機能**を押し、指を離してから^{外字}**7****や**を押します。

- 3 (⬆)(⬇)(⬅)(➡)を押して**呼出し**を選び、**実行**を押します。



- 4 (⬆)(⬇)(⬅)(➡)を押して呼び出す外字を選び、**実行**を押します。



- 呼び出した外字を削除するときは、通常の文字と同じ方法で消します。

登録した外字を削除する

- 1 **機能**を押し、指を離してから^{外字}**7**を押します。
- 2 (⬆)(⬇)(⬅)(➡)を押して**削除**を選び、**実行**を押します。
- 3 (⬆)(⬇)(⬅)(➡)を押して削除する外字を選び、**実行**を押します。「よろしいですか?」と表示されます。
- 4 **実行**を押します。
選んだ外字が削除されます。

外字を文章中で使っていたときに、登録元の外字を削除すると、文章中の外字が入っていた位置は空白で印刷されます。

よく使う語句を辞書に登録する (ユーザー辞書)

日常よく使う専門用語などを「読み」とともに登録しておく、「読み」を入力するだけで変換できるようになります。また、慣用句などを短い「読み」で登録しておけば、文字が簡単に入力できて便利です。最大 10 文字の語句を 30 件まで登録できます。

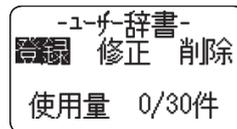
ユーザー辞書は、電源を入れた直後の画面のときに登録できます。

語句を登録する

[例] 秋葉原 (あきば)

- 1 電源を入れた直後の画面で、**機能**を押し、指を離してから^{外字}**8**を押します。

- 2 (⬆)(⬇)を押して**ユーザー辞書**を選び、**実行**を押します。
登録されている件数が表示されます。



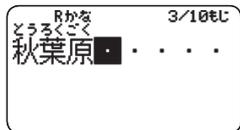
- 3 (⬅)(➡)を押して**登録**を選び、**実行**を押します。

- 4 **読み**を入力します。
ここでは「あきば」と入力します。
・読みに入力できる文字はひらがなと長音のみ、最大 8 文字までです。

- 5 **実行**を押します。
語句の入力画面が表示されます。

- 6 語句を入力します。
ここでは「秋葉原」と入力します。

- ・ 語句に入力できる文字は外字を含むすべての文字種で、最大 10 文字までです。



- 7 **実行**を押すと、「よろしいですか?」と表示されるので、もう1度**実行**を押します。
「登録完了」と表示されて、手順 1 を操作する前の画面に戻ります。

- ・ 語句は最大 30 件まで登録できます。

登録した語句を修正する

- 1 電源を入れた直後の画面で、**機能**を押し、指を離してから^{読み}**8**を押します。
- 2 **⏪****⏩**を押して**ユーザー辞書**を選び、**実行**を押します。
- 3 **⏪****⏩**を押して**修正**を選び、**実行**を押します。
- 4 **⏪****⏩**を押して修正したい語句を選び、**実行**を押します。
- 5 読みを修正して、**実行**を押します。
語句の修正画面が表示されます。

- 6 語句を修正して、**実行**を押します。
「よろしいですか?」と表示されます。

- 7 **実行**を押します。
「登録完了」と表示されて、手順 1 を操作する前の画面に戻ります。

登録した語句を削除する

- 1 「語句を登録する」の手順 3 で**削除**を選び、**実行**を押します。
- 2 **⏪****⏩**で削除する語句を選んで、**実行**を押します。
- 3 **実行**を押します。
「削除完了」と表示されて、「語句を登録する」の手順 1 を操作する前の画面に戻ります。

設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

電源を入れて最初に^{設定}機能を押し、指を離してから^{設定}8を押すと、右の画面が表示されます。

▲▼で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。



・電源を入れた直後以外の画面では、一部の項目が画面に表示されないことがあります。

設定項目	内容	ページ	
入力設定	挿入 / 上書き	文字の入力方法を決める	81
	ローマ字入力 / かな入力	日本語の入力方法を決める	68
	ブザー音 あり / なし	ブザー音を鳴らす / 鳴らさないを決める	98
画面設定	バックライト	バックライトをつける / つけないを切り替える	99
	コントラスト	画面のコントラストを調整する	99
印刷濃度	印刷の濃さを調整する	99	
初期フォント	入力文字の最初の書体を決める	84	
日時設定	日付、時刻を設定する	100	
変換学習の初期化	変換学習した情報を初期化する	100	
予測変換	予測変換の機能を使うかどうかを決める	100	

設定項目	内容	ページ
ユーザー辞書	「読み」と「語句」の組み合わせを登録して、熟語変換の候補として表示させる	96
電池	アルカリ乾電池か充電式ニッケル水素電池 (eneloop、充電式EVOLTA) のどちらを使うか決める	100
デモ印刷	いろいろな機能を使って作成したラベルの印刷例を印刷する	101

ブザー音を消したい

電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴る「ピッ」というブザー音を消すことができます。

- 1 ^{設定}機能を押し、指を離してから^{設定}8を押します。
- 2 ▲▼を押して**入力設定**を選び、**実行**を押します。
- 3 ▲▼◀▶を押して**ブザー音なし**を選び、**実行**を押します。
 - ・ブザー音を鳴らしたいときは、**ブザー音あり**にします。

バックライトを切り替えたい

画面のバックライトをつける / つけないを切り替えることができます。バックライトをつけると表示が見やすくなりますが、電池を使用するときは、バックライトをつけない設定にすると電池を節約することができます。

ご購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、「つける」になっています。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8^{設定}** を押します。
- 2 **⬆️⬇️** を押して **画面設定** を選び、**実行** を押します。
- 3 **⬅️➡️** を押して **バックライト** を選び、**実行** を押します。
- 4 **⬅️➡️** を押してバックライトをつけるかどうかを選び、**実行** を押します。

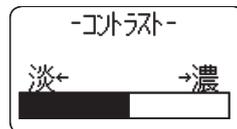
画面のコントラストを変えたい

画面のコントラストを調整することができます。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8^{設定}** を押します。
- 2 **⬆️⬇️** を押して **画面設定** を選び、**実行** を押します。
- 3 **⬅️➡️** を押して **コントラスト** を選び、**実行** を押します。

- 4 **⬅️➡️** を押して画面のコントラストを調整し、**実行** を押しします。

⬅️ を押すごとに淡く、**➡️** を押すごとに濃くなります。



印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8^{設定}** を押します。
- 2 **⬆️⬇️** を押して **印刷濃度** を選び、**実行** を押します。
- 3 **⬅️➡️** を押して濃さを設定し、**実行** を押します。

1 にすると 1 番薄く印刷され、**5** にすると 1 番濃く印刷されます。



- 印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

日付、時刻を設定する

正しい日付、時刻を設定することができます。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8^{設定}** を押します。
- 2 **⤴** **⤵** を押して、**日時設定** を選び、**実行** を押します。
- 3 **⏪** **⏩** **⤴** **⤵** を押して、日付、時刻を指定します。
 - ・「年」「月」「日」「時」「分」の各項目間の移動には **⏪** **⏩** を押します。数字を指定するときは **⤴** **⤵** を押します。
 - ・直接数字を入力することもできます。
- 4 設定が終わったら、**実行** を押します。

変換学習した情報を初期化したい

学習機能によって記憶されている変換の情報を初期化して、ご購入後の状態に戻します。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8^{設定}** を押します。
- 2 **⤴** **⤵** を押して **変換学習の初期化** を選び、**実行** を押します。
- 3 **実行** を押します。
記憶されている情報が初期化され、「初期化完了」と表示されます。
 - ・初期化をとりやめるときは **取消し** を押してください。

予測変換しないように設定したい

入力した文字から変換候補を予測する予測変換の機能を使わないように設定できます。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8^{設定}** を押します。
- 2 **⤴** **⤵** を押して **予測変換** を選び、**実行** を押します。
- 3 **⏪** **⏩** を押して **しない** を選び、**実行** を押します。
 - ・「する」を選んで **実行** を押すと、予測変換の機能を使う設定に戻ります。

電池の設定をする

アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池 (eneloop、充電式EVOLTA) のどちらを使うかを設定します。

ご購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後は、アルカリ乾電池を使う設定になっています。

・ご使用になる電池に対して正しく設定されていないと、電池の消耗を知らせるメッセージが正しく表示されないことがあります。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8^{設定}** を押します。
- 2 **⤴** **⤵** を押して **電池** を選び、**実行** を押します。
- 3 **⤴** **⤵** を押して **充電式ニッケル水素** を選び、**実行** を押します。
 - ・「アルカリ」を選んで **実行** を押すと、アルカリ乾電池を使う設定に戻ります。

サンプルデータを印刷する（デモ印刷）

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなラベルが作れるかを見ることができます。

重要 デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。
大切なデータの場合には、登録してから印刷をしてください。
(データの登録→61 ページ)

1 テープカートリッジがセットされていることを確認します。

- ・ テープカートリッジについて→14 ページ

2 電源が切れていることを確認します。

画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、**切**を押します。

3 **入**を押して電源を入れます。

4 **機能**を押し、指を離してから^{設定}**8**を押します。

5 **上****下**を押して**デモ印刷**を選び、**実行**を押します。

6 **左****右**を押して**印刷**を選び、**実行**を押します。

7 「枚数 1枚」「カットモード 通常」になっていることを確認します。

- ・ 印刷枚数やカットモードを変更することもできます。22 ページ「印刷とカットモード」をご覧ください。
- ・ 特殊なテープで印刷するときは、テープカートリッジに合わせて、カットモードを変更してください。(22 ページ)

8 **実行**を押します。

- ・ 印刷が始まります。
- ・ デモ印刷中に、途中で印刷が数秒止まることありますが、故障ではありません。
- ・ セットしているテープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。

9 印刷が終了したら**左****右**を押して**終了**を選び、**実行**を押します。

「終了しますか？」と表示されます。

10 **実行**を押します。

付 録

電源について

本機を使うときは、電源として指定の AC アダプターの他に、市販のアルカリ乾電池や充電式ニッケル水素電池（eneloop、または充電式 EVOLTA）を使うことができます。

・ご使用前に、「安全上のご注意」（3～7 ページ）を必ずご覧ください。

電池で使う

市販の単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形充電式ニッケル水素電池（eneloop、または充電式 EVOLTA）を 8 本使用します。（必ず 8 本とも同じ種類の電池を使用してください。）

重要  ・電池は、必ず 8 本とも新品の単 3 形アルカリ乾電池、または満充電にした単 3 形充電式ニッケル水素電池（eneloop、または充電式 EVOLTA）を使用してください。指定以外の電池を本機に使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると、電池の特性と本機の仕様の不一致により、所定の電池寿命を満たさなかったり、誤動作の原因となることがあります。

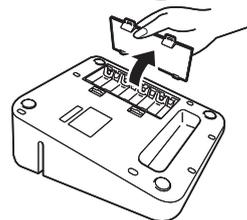
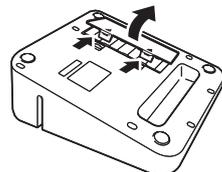
・単 3 形充電式ニッケル水素電池（eneloop、または充電式 EVOLTA）を使用する場合は、電池の設定を「充電式ニッケル水素」にしてください（100 ページ）。

・充電電池は、本機にセットしたままでは充電できません。

・ご使用になる電池に対して正しく設定されていないと、電池の消耗を知らせるメッセージが正しく表示されないことがあります。

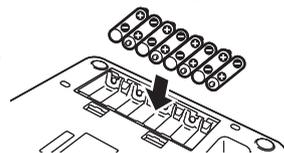
1 本体裏側の電池カバーを取り外します。

電池カバーに無理な力（逆に曲げるなど）を加えないでください。故障の原因となります。

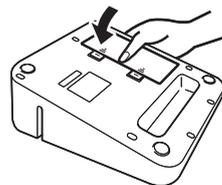


2 電池をセットします。

⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。



3 電池カバーを取り付けます。



・電池が消耗した状態で使用すると、印刷中に電源が切れることがあります。指定の AC アダプターでお使いになることをおすすめします。

・10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。

その場合は、本機を使用温度範囲（10℃～35℃）の環境に戻してからご使用ください。

- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、AC アダプターや電池を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「電池をセットした状態」で、AC アダプターを抜き差しするときは、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに抜き差しをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
- 本機に登録した重要なデータは、ノートなどに控えを取っておいてください。

電池寿命について

標準印刷条件で、18mm テープカートリッジ約 2 巻分の印刷ができます。

- 画面のバックライトを消しておく、電池を節約できます。(バックライトをつける／つけない→ 99 ページ)
- 黒い部分の多い文字や画像を印刷した場合、低温下で使用した場合、電池をセットしたまま長期間保管した場合は、電池寿命は短くなります。
- 本機をご使用にならない場合も、2 年に 1 度は必ず電池を交換してください。

特に消耗した eneloop または充電式 EVOLTA を本機に入れたままにすると、eneloop または充電式 EVOLTA を劣化させる恐れがあるので、本機をご使用にならない場合はすぐに取り出してください。

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーが汚れていると、ラベルをきれいに印刷できません。次の手順に従って、プリンターヘッドやゴムローラーを掃除してください。

綿棒できれいにする

重要  ・プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などの柔らかいものをお使いください。また、綿棒は極細タイプをおすすめします。

1 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

・テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

重要  ・印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープカートリッジを取り外してください。

2 アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面を拭きます。

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的に拭いてください。



- ・ゴムローラーは、**機能** を押し、指を離してから **0** テープ送り を押すと回転します。
- ・市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。

クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ (XR-24CLE) を使うこともできます。

1 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

・「綿棒できれいにする」の手順1の注意事項をお読みください。

2 クリーニングテープを本機に装着します。

3  を押して電源を入れます。

4 **機能** を押し、指を離してから **0** テープ送り を押して、1～2回「テープ送り」をします。

詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご参照ください。

本体もお手入れしましょう

柔らかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。

本体を傷付けるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

こんなときは

(トラブルシューティング)

本機がうまく動かないときには、次の対処方法に従ってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、最寄りの本機取扱店、もしくは「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

症状	原因と対処
●  を押しても何も表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 画面のコントラストが適切でない → 画面のコントラストの設定を調整してください。(99 ページ) AC アダプターがきちんと接続されていない → AC アダプターを正しく接続してください。(9 ページ) 電池が消耗している、または指定以外の電池を使用している 指定以外の AC アダプターを使用している → 指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。充電電池を使用している場合は、充電してください。 電池が正しくセットされていない → 正しくセットし直してください。(102 ページ)
● 正しく終了するが何も印刷されない	<ul style="list-style-type: none"> 「空白」だけが入力されている → 印刷したい文章を入力してください。 パソコンから何も入っていないデータを取り込んで印刷しようとした → 正しいデータを取り込み直してください。

症状	原因と対処
<ul style="list-style-type: none"> ● 印刷が不鮮明になった ● 印刷がきれいにできない ● 印刷が薄い 	<ul style="list-style-type: none"> プリンターヘッドやゴムローラーに、汚れ、ゴミ、異物が付着している → クリーニングをしてください。(104 ページ) インクリボンのたるみによるしわが発生した → インクリボンを巻き取り、テープカートリッジを正しくセットし直してください。(14 ページ) テープカートリッジが正しくセットされていない → 正しくセットし直してください。 電池が消耗している、または指定以外の電池を使用している 指定以外の AC アダプターを使用している → 指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。充電電池を使用している場合は、充電してください。 印刷濃度が適切でない → 印刷濃度を調節してください。(99 ページ)
<ul style="list-style-type: none"> ● 印刷されない ● 印刷中に電源が切れる 	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗している、または指定以外の電池を使用している 指定以外の AC アダプターを使用している → 指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。充電電池を使用している場合は、充電してください。 プリンターヘッドが高温になっている → しばらく時間を置いてからお使いください。
● 文字が入力できない	<ul style="list-style-type: none">  を押した状態になっている →  を押して、文字が入力できる画面にします。

症状	原因と対処
● 目的の漢字に正しく変換されない	<ul style="list-style-type: none"> 正しい「読み」が入力されていない → 正しい「読み」を入力してください。特に、拗音(「しょう」の「よ」など)や促音(「がっき」の「っ」など)の入力には注意しましょう。 入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違う → あを押して変更してください。(69 ページ)
● パソコンとつながらない	<ul style="list-style-type: none"> 通信の内容にあった通信モードになっていない → デザインロゴ以外の場合：USBを押してパソコンと接続できる状態にしてください。 デザインロゴの場合：印刷を押してデザインロゴのモードに入り「データインストール」→「受信」を選択してパソコンと接続できる状態にしてください。 USB ケーブルが正しく接続されていない → 正しく接続し直してください。 電源を入れていない → 入を押して、電源を入れてください。 プリンタードライバーがパソコンにインストールされていない → パソコンにプリンタードライバーをインストールしてください。(別紙の「はじめにお読みください」参照) それでもつながらない場合には、パソコンのUSB ポートを別のポートに差し替えたり、USB ケーブルを別のケーブルに交換したりしてください。 ※ USB ケーブルは、USB 規格に準拠した市販品 (A-microB タイプ) を使用してください。

症状	原因と対処
● 印刷 などの機能キーを押しても画面が変わらない	<ul style="list-style-type: none"> 入力中の文章が確定していない → ひらがなや漢字は必ず確定してください。入力中の文章が確定していないと、他の機能が使えません。
● 印刷 を押してもテープが出てこない	<ul style="list-style-type: none"> テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない → カバーをしっかりと閉めてください。(15 ページ) テープが終了している → 新しいテープカートリッジ (別売) に交換してください。(15 ページ) テープが詰まっている → テープカートリッジを取り出して、詰まったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、正しくセットし直します。(15 ページ)
	<p>重要  印刷中に、次のようなことはしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> テープ出口をふさぐ 出てくるテープに触る テープカートリッジ収納部のカバーを開ける 電源を切る
	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗している、または指定以外の電池を使用している 指定以外の AC アダプターを使用している → 指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池 (別売) と交換してください。充電電池を使用している場合は、充電してください。

症状	原因と対処
●インクリボンがテープといっしょにテープ出口から出てきた	<ul style="list-style-type: none"> インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした →テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、テープを巻き取ってください。そのあと正しくセットし直してください。(14 ページ)  重要 ・テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみを取ってください。 ・インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ（別売）に交換してください。
●テープが切れない	<ul style="list-style-type: none"> ・テープカッターが摩耗している →「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡して交換してください。(132 ページ) ・テープ出口にテープが詰まっている →電源を切って、テープカートリッジを取り出し、詰まったラベルを取り除いてください。 ・書式の余白が、「送り無」に設定されている →「余白小」、「余白中」または「余白大」に設定してください。(43 ページ) ・カットモードを「カットしない」に設定している →「カットしない」以外に設定してください。(22 ページ) ・ラベルの長さが短い（余白小で約 28mm 以下／余白中で約 35mm 以下／余白大で約 44mm 以下） →印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

症状	原因と対処
●ハーフカットができない	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーフカッターが摩耗している →「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡して交換してください。(132 ページ) ・カットモードを「特殊テープ」「カットしない」に設定している →カットモードを「通常」または「切り離す」に設定してください。(22 ページ) ・ラベルの長さが短い（余白小で約 28mm 以下／余白中で約 35mm 以下／余白大で約 44mm 以下） →印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
●ラベルが貼れない	<ul style="list-style-type: none"> ・裏紙をはがしていない →裏紙をはがしてから貼ってください。(20 ページ) ・貼る場所やものが適していない →表面がざらざらしているもの、水や油が付いているもの、汚れているものなどには貼れません。(20 ページ)
●ラベルの余白が大き	<ul style="list-style-type: none"> ・書式の余白が「余白大」「余白中」に設定されている →「余白小」または「送り無」に設定し直してください。(43 ページ) (本機の構造上、印刷時にはラベルの先頭に必ず余白が入ります)

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
印刷準備中 (印刷中に表示され、印刷が止まっている)	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返して印刷したときなど、プリンター部分に熱がこもった場合 →そのままの状態、しばらくお待ちください。 プリンター部分が通常の温度に戻ると、印刷が始まります。 	—
同じデータがあります	<ul style="list-style-type: none"> 上記の対処をしても「印刷準備中」のまま、印刷できないような場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。 	132
同じデータがあります	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー辞書の登録で、全く同じデータがすでに登録されている場合 → 取消 を押して登録を終了してください。 	96
同じ登録名があります	<ul style="list-style-type: none"> 入力した登録名がすでに登録されているものと重複している場合 →登録名を入力し直してください。 	62
該当候補なし	<ul style="list-style-type: none"> 漢字辞書で候補の漢字がない場合 → 取消 を押して違う読みを入力してください。 	73
行数オーバー印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> 印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 →行数を減らすか、テーブル幅を変えてください。 	38、120
行数オーバーフレーム付きで印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> フレーム印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 →行数を減らすか、テーブル幅を変えてください。 	53

メッセージ	原因と対処	参照ページ
桁数が奇数（偶数）です	<ul style="list-style-type: none"> バーコード印刷（ITF）のチェックデジット「無」において、入力する桁数が奇数の場合 →先頭に「0」を付けて入力し直してください。 バーコード印刷（ITF）のチェックデジット「有」において、入力する桁数が偶数の場合 →先頭に「0」を付けて入力し直してください。 	57
桁数が不足です	<ul style="list-style-type: none"> バーコード印刷で、印刷できる桁数に満たないまま印刷しようとした場合 →正しい桁数に入力し直してください。 	57
コメントが入力されていません	<ul style="list-style-type: none"> QRコード印刷で、コメントが未入力のまま印刷しようとした場合 →コメントを入力してください 	58
作成中の内容が失われますがよろしいですか？ 実行 / 取消し	<ul style="list-style-type: none"> 文章を消して操作を進める場合 → 実行 を押してください。 文章を消したくない場合 → 取消 を押してからその文章を登録してください。 	61
指定したテーブル長より長くなりますがよろしいですか？ 実行 / 取消し	<ul style="list-style-type: none"> 印刷する場合 → 実行 を押してください。 印刷しない場合 → 取消 を押し、「文字数を減らす」、「テーブル長を指定し直す」、または書式内で「テーブル長を自動にする」などの操作をしてください。 	45
数字を入力してください	<ul style="list-style-type: none"> ナンバリング印刷で、何も入力しないで印刷しようとした場合 →数字を入力してください 	29

メッセージ	原因と対処	参照 ページ
前回正しく終了されなかった可能性があります	<ul style="list-style-type: none"> • 前回、電源が入っているときや「しばらくお待ちください」と表示されているときに、ACアダプターを取り外すなどして正常に終了できなかった場合 → 登録内容の一部が消去されています。何かキーを押すと、その部分が初期化されます。 	9、 10
データが入力されていません	<ul style="list-style-type: none"> • QRコード印刷で、データ未入力のまま印刷しようとした場合 → データを入力してください 	58
テープエラー テープカートリッジが不適当です	<ul style="list-style-type: none"> • テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない場合 → カバーをしっかりと閉めてください。 • 印刷または呼び出ししようとしているものに対して、テープカートリッジが不適当な場合 → 電源を切って、テープカートリッジを交換してください。 • 電源が入っているときにテープカートリッジを交換した場合 → 電源を切って、テープカートリッジを交換してください。 	14、 15
テープエラー テープカートリッジを装着してください	<ul style="list-style-type: none"> • テープカートリッジが装着されていない。または、装着方法が誤っている場合 → テープカートリッジを正しく装着してください。 	14

メッセージ	原因と対処	参照 ページ
デザインロゴのデータがインストールされていません	<ul style="list-style-type: none"> • デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」でパソコンからインストールしていないフォルダを選択した場合 → インストールしてあるフォルダを選択し直すか、パソコンからデザインロゴのデータをインストールしてください。 	63
電池残り少 続行しますか？ 実行 / 取消し	<ul style="list-style-type: none"> • 電池が消耗している場合 → 新しい電池（別売）に交換してください、または指定のACアダプターを使用してください。充電池を使用している場合は、充電してください。 • 10℃以下の低温下で使用した場合 → 使用温度範囲（10℃～35℃）でご使用ください。 	9、 102
電池残り少 交換してください	<ul style="list-style-type: none"> • 電池が消耗している場合 → 新しい電池（別売）に交換してください、または指定のACアダプターを使用してください。充電池を使用している場合は、充電してください。 • 10℃以下の低温下で使用した場合 → 使用温度範囲（10℃～35℃）でご使用ください。 	9、 102
登録データがありません	<ul style="list-style-type: none"> • 登録されていないプリセットタイトルを呼び出し・修正・削除しようとした場合 → 別のプリセットタイトルを選択してください。 • 登録データの呼び出しや削除、またはユーザー辞書の修正や削除で、データが1つも登録されていない場合 → データを登録してください 	62、 89、 96

メッセージ	原因と対処	参照ページ
長さオーバー 印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> 印刷できるテープの長さを超過して印刷しようとした場合 → テープの長さを短くする、または印刷枚数を減らしてください。 	19、 22、 44
長さが短すぎてカット できませんがよろしい ですか？ 実行 / 取消し	<p>印刷時に先頭の不要部分のカットができない場合、または、1枚ごとのカットができない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷する場合 → [実行]を押してください。印刷が終わったら、ハサミなどで切ってください。 自動的にテープカットをしながら印刷をする場合（ナンバリング以外） → 余白を大きく（小→中または中→大）指定し直してください（カットモードを「特殊テープ」、余白を「大」に指定すると必ず前後の余白をそろえることができます）。 自動的にテープカットをしながら印刷をする場合（ナンバリング） → 書式でテープ長さを「固定」に指定し直してください。 	22、 43
パソコンとの接続状況 を確認してください	<ul style="list-style-type: none"> USB ケーブルのコネクターがしっかりと接続されていない場合 → USB ケーブル（USB 規格に準拠した市販品：A-microB タイプ）をコネクターにしっかりと差し込んでください。 パソコンの電源が切れている場合 → パソコンの電源を入れてから操作してください。 	—

メッセージ	原因と対処	参照ページ
プリントエラー テープカートリッジを 確認してください	<ul style="list-style-type: none"> 印刷中に、テープが詰まった場合 → 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、詰まったテープを取り除いてください。 オートテープカッターに異物がはさまった場合 → 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、オートテープカッターにはさまった異物を取り除いてください。 	15
	<ul style="list-style-type: none"> ゴムローラーに「ゴミ」や「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 → ゴムローラーに付着した異物を取り除き、ゴムローラーをクリーニングしてください。 テープカートリッジ収納部にあるセンサーに「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 → テープカートリッジ収納部から「テープの切れかす」などの異物を取り除いてください。 	104
	上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。	132
ブロック数オーバー	<ul style="list-style-type: none"> 16 個目のブロックマークを入力しようとした場合 → 文章のブロック数を減らしてください（不要なブロックマークを削除してください）。 	39

メッセージ	原因と対処	参照ページ
無効な文字があります	<ul style="list-style-type: none"> バーコード印刷で、入力可能な文字種以外の文字を入力して印刷しようとした場合 → 不適当な文字を削除してください。 バーコード印刷 (CODABAR) で、スタートコード (先頭) またはストップコード (末尾) に「A」「B」「C」「D」以外の文字を入力して印刷しようとした場合 → 正しい文字を入力し直してください。 	57
	<ul style="list-style-type: none"> 漢字辞書の読み検索で、ひらがな、長音以外の文字が含まれていた場合 → 正しい文字を入力し直してください。 	73
	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー辞書登録 (熟語変換) の読み入力で、ひらがな、長音以外の文字が含まれていた場合または先頭の文字が適切でない (長音、拗音、促音など) 場合 → 正しい文字を入力し直してください。 	96
メモリーオーバー登録できません	<ul style="list-style-type: none"> メモリーの容量が足りず登録できない場合 → 登録してあるデータをどれか消してから再登録してください。 	62
メモリーオーバー作成後に登録できません 実行 / 取消し	<ul style="list-style-type: none"> 登録のためのメモリー容量が一杯になった状態で作成しようとした場合 → 印刷はしたいが、登録しない場合は、実行を押して操作を続けてください。登録をする場合は、不要な登録文章を削除してから操作してください。 	62

メッセージ	原因と対処	参照ページ
文字が入力されていません	<ul style="list-style-type: none"> 文字を入れないで次の操作に進もうとした場合 → 文字を入力してから次の操作をしてください。 インデックスラベルで、未入力の項目のみを印刷または印刷プレビューしようとした場合 → 入力してある項目を選択してください。 	19 32
文字数オーバーコピーできなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> 49文字を超えてコピーしようとした場合 → 文字数を減らしてください。 	93
文字数オーバー参照できなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> プリセットタイトルを49文字を超えて参照作成しようとした場合 → 先頭から49文字だけ参照されますので、必要に応じて修正してください。 	89
文字数オーバーペーストできなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> コピーした文字を貼り付けると、総文字数が項目の最大文字数を超えてしまう場合 → 貼り付ける文字を含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。 	93
文字数オーバー呼出しできなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> 選択したプリセットタイトルやタイムスタンプ、タイムスパンを呼び出すと、総文字数が項目の最大文字数を超えてしまう場合 → 呼び出す文字数を含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。 	89、92

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、綴り方の一覧表です。

あ行	あ	い	う	え	お	
	A	I	U	E	O	
か行	か	き	く	け	こ	
	KA	KI	KU	KE	KO	
	CA		CU		CO	
			QU			
が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご	
	GA	GI	GU	GE	GO	
さ行	さ	し	す	せ	そ	
	SA	SI	SU	SE	SO	
		SHI				
ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO	
		JI				
た行	た	ち	つ	て	と	
	TA	TI	TU	TE	TO	
		CHI	TSU			
だ行	だ	ぢ	づ	で	ど	
	DA	DI	DU	DE	DO	
な行	な	に	ぬ	ね	の	
	NA	NI	NU	NE	NO	
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ	
	HA	HI	HU	HE	HO	
			FU			
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ	
	BA	BI	BU	BE	BO	
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	
	PA	PI	PU	PE	PO	
ま行	ま	み	む	め	も	
	MA	MI	MU	ME	MO	
や行	や		ゆ	い	え	よ
	YA		YU	YE	YO	

ら行	ら	り	る	れ	ろ	
	RA	RI	RU	RE	RO	
	LA	LI	LU	LE	LO	
わ行	わ	ゐ	う	ゑ	を	
	WA	WI	WU	WE	WO	
ん行	ん					
	NN, N + 子音					
	MP + 母音、MB + 母音					
きゃ行	きゃ	きい	きゅ	きえ	きよ	
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO	
ぎゃ行	ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ	
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO	
くぁ行	くぁ	くい	くゅ	くえ	くお	
	QA	QI	QU	QE	QO	
くわ行	くわ	くい	くう	くえ	くお	
	KWA	KWI	KWU	KWE	KWO	
	QWA					
ぐわ行	ぐわ	ぐい	ぐう	ぐえ	ぐお	
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO	
しゃ行	しゃ	しゅ	しえ	しよ		
	SYA	SYU	SYE	SYO		
	SHA	SHU	SHE	SHO		
じゃ行	じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ	
	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO	
	JA	JU	JE	JO		
	JYA	JYI	JYU	JYE	JYO	
ちゃ行	ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ	
	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO	
	CYA	CYI	CYU	CYE	CYO	
	CHA	CHU	CHE	CHO		
ぢゃ行	ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ	
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO	

つぁ行	つぁ	つい	つえ	つお	
	TSA	TSI	TSE	TSO	
てゃ行	てゃ	てい	てゅ	てえ	てよ
	THA	THI	THU	THE	THO
でゃ行	でゃ	でい	でゅ	でえ	でよ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
とぅ		とぅ			
		TWU			
どぅ		どぅ			
		DWU			
にゃ行	にゃ	にい	にゅ	にえ	によ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ行	ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひよ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ行	びゃ	びい	びゅ	びえ	びよ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ行	ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

ふぁ行	ふぁ	ふい	ふえ	ふお	
	FA	FI	FE	FO	
ふゃ行	ふゃ	ふい	ふゅ	ふえ	ふよ
	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
ぶゃ行	ぶゃ	ぶい	ぶゅ	ぶえ	ぶよ
	VYA	VYI	VYU	VYE	VYO
みゃ行	みゃ	みい	みゅ	みえ	みよ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ行	りゃ	りい	りゅ	りえ	りよ
	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
	LYA	LYI	LYU	LYE	LYO
ぶぁ行	ぶぁ	ぶい	ぶえ	ぶお	
ヴぁ行	ヴぁ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
	VA	VI	VU	VE	VO

・カタカナを入力する場合は、**あ**を何回か押して、画面左上に「Rカナ」表示させてから入力してください。

小文字（拗音・促音）

あ	い	う	え	お
XA	XI	XU	XE	XO
シフト + A	シフト + I	シフト + U	シフト + E	シフト + O
や	ゆ	よ	わ	
XYA	XYU	XYO	XWA	
シフト A Y	シフト U Y	シフト O W	シフト A	

XTU, XTSU, LTU	カ	ケ
T	KKA	KKE
シフト U, TS	シフト A	シフト E

・N 以外の子音を 2 度入力しても「っ」や「っ」になります。

絵文字

●季節



●ビデオ



●オーディオ



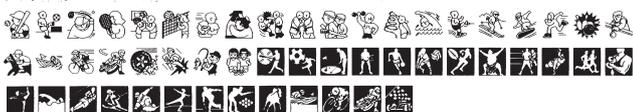
●おもしろ



●趣味



●スポーツ



●人物



絵文字

●生き物



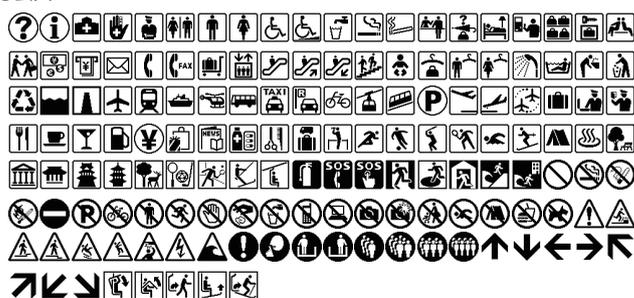
●干支



●星座



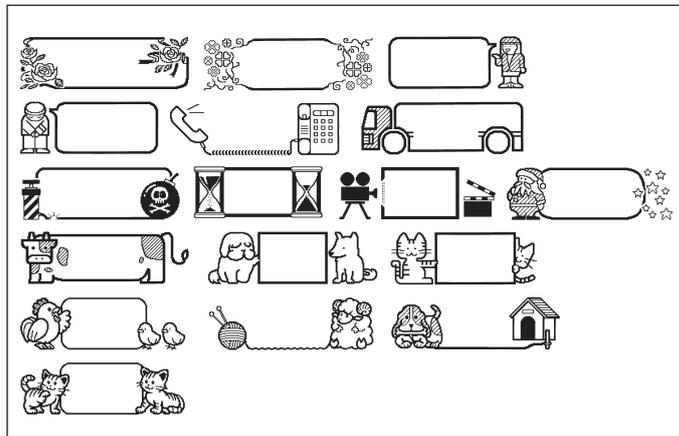
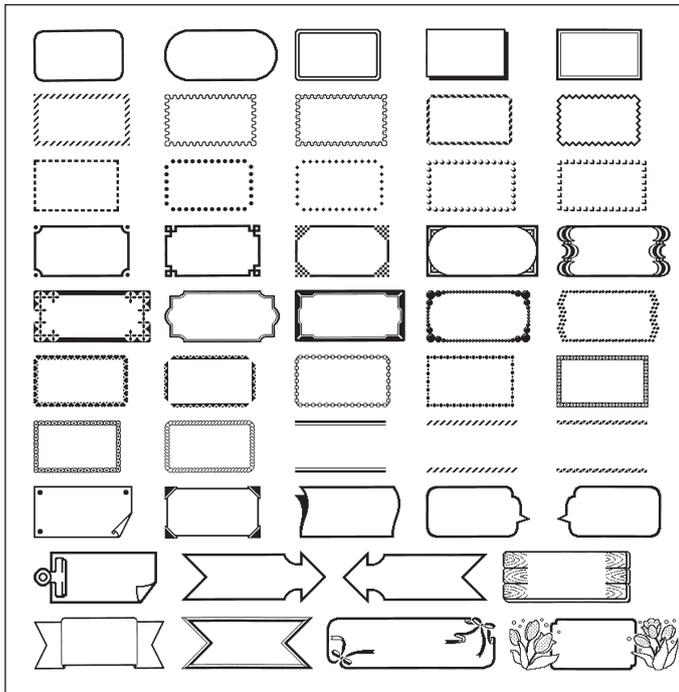
●公共



●全部

「オフィス」から「公共」までの絵文字すべてが入ります。表示される順番は多少変わります。

フレーム一覧



用途別ラベルフォーマット一覧

お使いになるテープカートリッジの幅によって、フォーマットの表示が異なることがあります（入力項目が異なることはありません）。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅						
						24	18	12	9	6	3.5	
名前 (18種類)	一般 (65mm長)	横	大1		こうもく、なまえ							
			大2		なまえ、こうもく	○	○	○	○	-	-	
			大3		なまえ、 こうもく1~2							
	一般 (45mm長)	横	小1		こうもく、なまえ							
			小2		なまえ、こうもく	○	○	○	○	-	-	
			小3		なまえ、 こうもく1~2							
	子供 (80mm長)	横	大1		ねん・くみ、 なまえ							
			大2		ねん・くみ、 なまえ	○	○	○	○	-	-	
			大3		がっこう、ねん・ くみ、なまえ							
			大4		がっこう、ねん・ くみ、なまえ							
	子供 (50mm長)	横	小1		ねん・くみ、 なまえ							
			小2		ねん・くみ、 なまえ	○	○	○	○	-	-	
小3				がっこう、ねん・ くみ、なまえ								
小4				がっこう、ねん・ くみ、なまえ								

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
名前 (18種類)	ふりがな付 (80mm長)	横	大1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	-	-
			大2		ねん・くみ、 ふりがな、なまえ						
	ふりがな付 (50mm長)	横	小1		ふりがな、なまえ	○	○	○	○	-	-
			小2		ねん・くみ、 ふりがな、なまえ						
ファイル (17種類)	ファイル背 (180mm長)	縦	大1		タイトル						
			大2		タイトル1~2	○	○	○	○	-	-
			大3		ぶんるい、タイトル、 コメント1~3						
	ファイル背 (140mm長)	縦	小1		タイトル						
			小2		タイトル1~2	○	○	○	○	-	-
			小3		ぶんるい、タイトル、 コメント1~3						
	FD/MO (71mm長)	横	1		タイトル						
			2		タイトル1~2	○	○	○	○	-	-
			3		タイトル、 コメント1~2						
	CD/DVD (114mm長)	横	1		タイトル						
2				タイトル、 コメント	○	○	○	○	-	-	
3				タイトル、 コメント1~2							
4				タイトル1~3							

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅								
						24	18	12	9	6	3.5			
ファイル (17種類)	CD/DVD背 (114mm長)	横	1		タイトル	-	-	-	○	○				
		横	2		タイトル、 コメント									
	備品管理 (70mm長)	横	1		こうもく1～3、 ないよう1～3				○	○	○	-	-	
		横	2		こうもく1～2、 ないよう1～2									
送付 (19種類)	封筒 (210mm長)	縦	大1		なまえ									
		縦	大2		じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	○	-	-			
		縦	大3		じゅうしよ、 なまえ									
	封筒 (140mm長)	縦	小1		なまえ									
		縦	小2		じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	○	-	-			
		縦	小3		じゅうしよ、 なまえ									
	はがき (90mm長)	縦	1		なまえ									
		縦	2		じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	○	-	-			
		縦	3		じゅうしよ1、じゅうしよ2、 なまえ									
	差出人 (65mm長)	縦	大1		じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	○	-	-			
縦		大2		じゅうしよ1、じゅうしよ2、 なまえ										
差出人 (45mm長)	縦	小1		じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	○	-	-				
	縦	小2		じゅうしよ1、じゅうしよ2、 なまえ										

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅							
						24	18	12	9	6	3.5		
送付 (19種類)	のし紙 (95mm長)	縦	大1		こうもく								
		縦	大2		こうもく1～2	○	○	○	○	-	-		
		縦	大3		こうもく1、 こうもく2								
	のし紙 (65mm長)	縦	小1		こうもく								
		縦	小2		こうもく1～2	○	○	○	○	-	-		
		縦	小3		こうもく1、 こうもく2								
ビデオ (17種類)	VHS (148mm長)	縦	1		タイトル								
		縦	2		タイトル1～2								
		縦	3		ぶんるい、タイトル、 コメント1～3	○	○	○	○	-	-		
		縦	4		タイトル1～3								
		縦	5		タイトル1～3、 タイトル4～6								
	ミニDV (65mm長)	縦	1		タイトル								
		縦	2		タイトル1～2								
		縦	3		ぶんるい、タイトル、 コメント1～2	○	○	○	○	-	-		
		縦	4		タイトル1～3								

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ (17種類)	8ミリ (94mm長)	縦	1		タイトル						
		縦	2		タイトル1～2						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント1～2	○	○		○		
		縦	4		タイトル1～3						
	VHS-C (89mm長)	縦	1		タイトル						
		縦	2		タイトル1～2						
		縦	3		ぶんるい、タイトル、コメント1～3	○	○		○		
		縦	4		タイトル1～3						
オーディオ (15種類)	MD (71mm長)	横	1		タイトル						
		横	2		タイトル、コメント	○	○		○		
		横	3		タイトル、コメント1～2						
		横	4		タイトル1～3						
	MD背 (57mm長)	横	1		タイトル					○	○
		横	2		タイトル、コメント						
	カセット (99mm長)	横	1		タイトル						
		横	2		タイトル、コメント	○	○		○		
		横	3		タイトル、コメント1～2						
		横	4		タイトル1～3						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
オーディオ (15種類)	CD/DVD (114mm長)	横	1		タイトル						
		横	2		タイトル、コメント						
		横	3		タイトル、コメント1～2	○	○		○		
		横	4		タイトル1～3						
	CD/DVD背 (114mm長)	横	1		タイトル						
		横	2		タイトル、コメント					○	○
値札 (10種類)	総額のみ (70mm長)	横	大1		コメント、ねだん						
		横	大2		ひんもく、ねだん	○	○		○		
		横	大3		ひんもく1～2、ねだん						
	総額のみ (50mm長)	横	小1		コメント、ねだん						
		横	小2		ひんもく、ねだん	○	○		○		
		横	小3		ひんもく1～2、ねだん						
	本体併記 (70mm長)	横	大1		ぜいごみ、ほんたい						
		横	大2		ひんもく、ぜいごみ、ほんたい	○	○		○		
	本体併記 (50mm長)	横	小1		ぜいごみ、ほんたい						
		横	小2		ひんもく、ぜいごみ、ほんたい	○	○		○		

ナンバリングフォーマット一覧

・3.5mm 幅テープカートリッジはお使いになれません。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
						24	18	12	9	6
		横	1	■	ナンバー					
		横	2	■ ■	コメント、 ナンバー					
		横	3	■ ■	ナンバー、 コメント	○	○	○	○	○
		横	4	■ ■ ■	コメント1、ナンバー、 コメント2					
		横	5	≡	コメント、 ナンバー					
		横	6	≡	ナンバー、 コメント					

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大“縦”倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm/ 24mm	取扱説明書 参照ページ
最大印刷 可能行数	標準フォント	—	1行	1行	2行	4行	38ページ
	微小フォント	1行	2行	3行	5行	8行	52ページ 85ページ
最大“縦”倍率	標準フォント	—	1倍	2倍	3倍	5倍	49ページ
複数行のときの 縦倍率の合計	標準フォント	—	—	—	2まで	4まで	38ページ 49ページ
	微小フォント	—	2まで	3まで	5まで	8まで	52ページ 85ページ

各機能における使用可能テープ幅一覧

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
フリーラベル	○	○	○	○	○	○
フレーム	×	○	○	○	○	○
用途別ラベル※	○	○	○	○	○	○
インデックスラベル	×	×	×	×	×	○
拡大印刷	×	×	×	○	○	○
バーコード印刷	×	×	×	○	○	○
QRコード印刷	×	×	×	×	○	○
ナンバリング印刷	×	○	○	○	○	○
デザインロゴ	×	×	×	○	○	○

※使用可能なテープ幅はフォーマットによって異なります。詳しくは、用途別ラベルフォーマット一覧（117ページ）をご覧ください。

拡大印刷時のテープ幅と文字の大きさ

	3.5mm/6mm/9mm	12mm	18mm	24mm
2段	×	24mm	30mm	30mm
3段	×	36mm	45mm	45mm
4段	×	48mm	60mm	60mm

・18mm もしくは 24mm 幅のテープを使用する場合は、テープの上下に余白ができるので、テープを切ってから貼り合わせるか、透明のテープに印刷して重ね貼りしてください。

ナンバリングフォーマット一覧／テープ幅と行数・倍率一覧／拡大印刷時のテープ幅と文字の大きさ

付録

デザインロゴ内蔵データ一覧

・フォルダ 1：職場で使える分別ラベル（30 種）

本体表示名：「職場／分別」

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	燃えるゴミ	燃えるゴミ	16	乾電池	乾電池
2	燃えないゴミ	燃えないゴミ	17	ボタン電池	ボタン電池
3	可燃物	可燃物	18	蛍光管	蛍光管
4	不燃物	不燃物	19	プラ容器包装	プラ容器包装
5	あき缶	あき缶	20	スプレー缶	スプレー缶
6	あきビン	あきビン	21	衣類布製品	衣類・布製品
7	アルミ缶	アルミ缶	22	紙パック	紙パック
8	スチール缶	スチール缶	23	再生可	再生可
9	ペットボトル	ペットボトル	24	再生不可	再生不可
10	紙類	紙類	25	コピー用紙	コピー用紙
11	新聞雑誌	新聞・雑誌	26	OA用紙	OA用紙
12	ダンボール	ダンボール	27	再生紙	再生紙
13	生ゴミ	生ゴミ	28	上質紙	上質紙
14	発泡スチロール	発泡スチロール	29	ミックスペーパー	ミックスペーパー
15	金属	金属	30	食品トレイ	食品トレイ

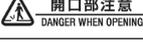
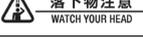
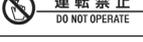
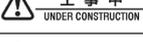
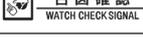
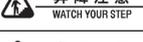
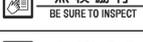
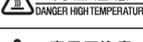
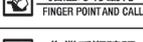
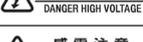
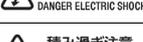
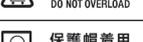
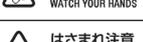
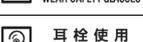
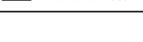
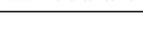
・フォルダ 2：現場で使える注意ラベル（30 種）

本体表示名：「現場／注意」

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	立入禁止	立入禁止 DO NOT ENTER	16	運転中	運転中 DURING OPERATION
2	通行禁止	通行禁止 NO PASSAGE	17	喫煙所	喫煙所 SMOKING AREA
3	火気厳禁	火気厳禁 FLAMMABLE	18	整理整頓	整理整頓 KEEP IN ORDER
4	土足厳禁	土足厳禁 NO STREET SHOES	19	いつもキレイに	いつもキレイに KEEP CLEAN
5	物をおくな	物をおくな KEEP EVERYTHING AWAY	20	手洗励行	手洗励行 WASH YOUR HANDS
6	駐車禁止	駐車禁止 NO PARKING	21	救急箱	救急箱 FIRST AID KIT
7	開放厳禁	開放厳禁 DO NOT LEAVE DOOR OPEN	22	担架	担架 STRETCHER
8	禁煙	禁煙 NO SMOKING	23	安全第一	安全第一 SAFETY FIRST
9	飲食禁止	飲食禁止 NO EATING OR DRINKING	24	清掃清潔	清掃清潔 KEEP CLEAN
10	携帯禁止	携帯使用禁止 NO MOBILE PHONES	25	危険	危険 DANGER
11	手をふれるな	手をふれるな DO NOT TOUCH	26	開閉注意	開閉注意 OPEN WITH CARE
12	頭上注意	頭上注意 WATCH YOUR HEAD	27	消火器	消火器 FIRE EXTINGUISHER
13	足元に注意	足元に注意 WATCH YOUR STEP	28	故障	故障 OUT OF ORDER
14	作業中	作業中 WORK IN PROGRESS	29	撮影禁止	撮影禁止 NO PHOTOGRAPHY
15	安全確認	安全確認 SAFETY CHECK	30	使用禁止	使用禁止 DO NOT USE

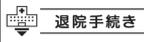
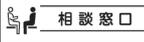
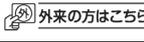
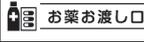
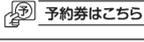
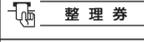
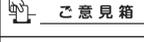
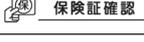
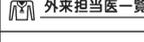
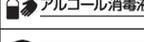
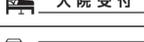
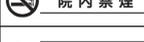
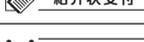
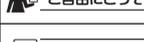
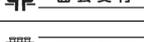
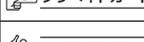
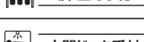
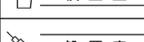
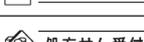
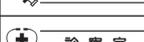
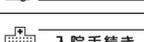
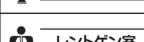
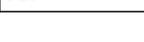
・フォルダ3：現場で使える注意ラベル2（30種）

本体表示名：「現場／注意2」

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	昇降禁止	 昇降禁止 DO NOT ACCESS	16	マスク着用	 マスク着用 WEAR MASK
2	修理中	 修理中 UNDER REPAIR	17	ゴーグル着用	 ゴーグル着用 WEAR GOGGLES
3	点検中	 点検中 UNDER INSPECTION	18	手袋着用	 手袋着用 WEAR GLOVES
4	手袋禁止	 手袋使用禁止 NO GLOVES	19	安全帯使用	 安全帯使用 USE SAFETY BELT
5	開口部注意	 開口部注意 DANGER WHEN OPENING	20	自動運転中	 自動運転中 DURING AUTO OPERATION
6	落下物注意	 落下物注意 WATCH YOUR HEAD	21	運転禁止	 運転禁止 DO NOT OPERATE
7	工事中	 工事中 UNDER CONSTRUCTION	22	合図確認	 合図確認 WATCH CHECK SIGNAL
8	昇降注意	 昇降注意 WATCH YOUR STEP	23	点検励行	 点検励行 BE SURE TO INSPECT
9	高温注意	 高温注意 DANGER HIGH TEMPERATURE	24	呼称励行	 指差呼称励行 FINGER POINT AND CALL
10	高電圧注意	 高電圧注意 DANGER HIGH VOLTAGE	25	手順確認	 作業手順確認 CONFIRM PROCEDURES
11	感電注意	 感電注意 DANGER ELECTRIC SHOCK	26	危険物注意	 危険物注意 DANGEROUS MATERIAL
12	積み過ぎ注意	 積み過ぎ注意 DO NOT OVERLOAD	27	巻込まれ注意	 巻込まれ注意 WATCH YOUR HANDS
13	保護帽着用	 保護帽着用 WEAR HELMET	28	はさまれ注意	 はさまれ注意 WATCH YOUR HANDS
14	メガネ着用	 保護メガネ着用 WEAR SAFETY GLASSES	29	飲料不適	 飲料不適 DO NOT DRINK WATER
15	耳栓使用	 耳栓使用 WEAR EARPLUGS	30	酸欠注意	 酸欠注意 RISK OF SUFFOCATION

・フォルダ4：病院で使える案内ラベル（30種）

本体表示名：「病院／案内」

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	初診の方	 初診の方はこちら	16	退院手続き	 退院手続き
2	再診の方	 再診の方はこちら	17	相談窓口	 相談窓口
3	外来の方	 外来の方はこちら	18	お薬お渡し口	 お薬お渡し口
4	予約券	 予約券はこちら	19	整理券	 整理券
5	診察券	 診察券はこちら	20	ご意見箱	 ご意見箱
6	保険証確認	 保険証確認	21	診療日案内	 診療日の案内
7	受付	 受付	22	外来担当医	 外来担当医一覧
8	会計	 会計	23	アルコール消毒	 アルコール消毒液
9	入院受付	 入院受付	24	院内禁煙	 院内禁煙
10	紹介状受付	 紹介状受付	25	ご自由にどうぞ	 ご自由にどうぞ
11	面会受付	 面会受付	26	プリペイドカード	 プリペイドカード
12	検査受付	 検査受付	27	検査室	 検査室
13	人間ドック	 人間ドック受付	28	処置室	 処置室
14	処方せん受付	 処方せん受付	29	診察室	 診察室
15	入院手続き	 入院手続き	30	レントゲン室	 レントゲン室

内蔵漢字一覧

124、125 ページには J I S 第 1 水準の漢字を、126、127 ページには J I S 第 2 水準の漢字を一覧表として掲載しています。

J I S 第 1 水準の漢字は代表的な「読み」の 50 音順に並んでいます。
J I S 第 2 水準の漢字は「部首の画数」の順に並んでいます。

J I S 区点コード表の部首分類のそれぞれの画数には次の部首が含まれます。

- 1画 一、丨、丶、ノ、乙、丿
- 2画 二、亠、人、儿、入、八、冂、冫、勹、勹、几、凵、刀、力、勹、匕、匚、匚、十、卜、冂、冂、ム、又
- 3画 口、凵、土、土、夕、夕、夕、大、女、子、宀、寸、小、尢、尸、尸、山、山、工、己、巾、干、幺、广、廴、井、弋、弓、彡、彡
- 4画 心、戈、戸、手、支、斗、斤、方、无、日、日、月、木、欠、止、夕、夕、母、毛、氏、气、水、火、爪、爻、爻、片、牛、犬
- 5画 玉、瓦、甘、生、用、田、疒、疒、白、皮、皿、目、矛、矢、石、示、内、禾、穴、立
- 6画 竹、米、瓜、糸、缶、网、羊、羽、老、耒、耳、聿、肉、至、臼、舌、舟、艮、色、艸、虎、虫、血、行、衣、西
- 7画 臣、見、角、言、谷、豆、豕、豕、貝、赤、走、足、身、車、辛、邑、酉、采、里
- 8画 金、門、阜、隶、隹、雨、青、非
- 9画 面、革、韭、音、頁、風、食、首、香
- 10画～ 馬、骨、高、髟、鬥、鬻、鬻、鬼、韋、魚、鳥、鹵、鹿、麥、麻、黃、黍、黑、黽、黽、鼓、鼠、鼻、齊、齒、龍、龜、龜

J I S 区点コードでの漢字の分類は本機で採用した部首と異なるものがあります。

左記の部首の画数の数えかたは本機で採用した数えかたと異なるものがあります。

区点コードは調べたい文字の左右の端の 2 桁の数字（区番号）と上下の 2 桁の数字（点番号）の組み合わせで表されます。

例：「愛」は 16 区 06 点にあるので区点コードは「1606」です。

一覧表は 1 ページに収まらないため本書では次のように分割されて表記されています。

	01 点～ 47 点	48 点～ 94 点
16 区 } 47 区	124 ページ	125 ページ
48 区 } 84 区	126 ページ	127 ページ

仕様

形式 : KL-G2

入力

- キー配列 : JIS 配列準拠
- 入力方法 : ローマ字入力、JIS かな入力
- 変換方式 : ATOK AI 変換および予測変換

辞書

- 内蔵辞書数 : 熟語変換 約 257,000 語 (追加可能)
- 漢字辞書機能 : 読み検索、総画数検索、部首検索、区点コード検索

文字種

8,591 文字 (+ 外字 4 文字)

- 漢字 : 6,355 文字 (JIS 第 1 水準 : 2,965 文字 / JIS 第 2 水準 : 3,390 文字)
- ひらがな : 249 文字 (全角 : 83 文字 / 上付、下付 : 166 文字)
- カタカナ : 258 文字 (全角 : 86 文字 / 上付、下付 : 172 文字)
- 数字 : 30 文字 (全角 : 10 文字 / 上付、下付 : 20 文字)
- アルファベット : 156 文字 (全角 : 52 文字 / 上付、下付 : 104 文字)
- ギリシア文字 : 48 文字 (全角 : 48 文字)
- ロシア文字 : 66 文字 (全角 : 66 文字)
- 記号 : 725 文字 (全角 : 425 文字 / 上付、下付 : 300 文字)
- 絵文字 : 704 文字 (全角 : 704 文字)

・外字は 4 文字まで登録できます。

表示

- 液晶表示 : 128 × 64 ドット + シンボル (8 桁 × 4 行)
バックライト付き
- 入力部分 : 8 桁 × 1 行 (フリーラベル以外での入力時)
8 桁 × 3 行 (フリーラベル入力時のみ)
- 表示文字構成 : 16 × 16 ドット (全角)
8 × 16 ドット (半角…メニュー・メッセージ専用)
8 × 8 ドット (1/4 角)

印刷

- 印字密度 : 200dpi
- 印刷方式 : 熱転写方式
- 印字速度 : 約 20mm/秒 (AC アダプター使用時)
約 10mm/秒 (電池使用時)

・印字速度は印字環境、条件等により異なります。

- 最大印刷幅 : 約 16mm
 - a) 2mm (テープ幅 3.5mm)
 - b) 4mm (テープ幅 6mm)
 - c) 7mm (テープ幅 9mm)
 - d) 10mm (テープ幅 12mm で通常印刷時)
 - e) 12mm (テープ幅 12mm で拡大印刷時)
 - f) 16mm (テープ幅 18mm/24mm)

文字構成 : ビットマップフォント

書体 : 和文書体

(明朝体^{*}、角ゴシック体^{*}、丸ゴシック体)

かな 8 書体

(明朝体^{*}、角ゴシック体^{*}、丸ゴシック体、手書き、
ボンジュール、メロディ、パレット、プロデュース)
英数 15 書体

(明朝体^{*}、角ゴシック体^{*}、丸ゴシック体、手書き、
ボンジュール、メロディ、パレット、プロデュース、
ステンシル、ポップ、ボールドスク립ト、ブラック
レター、スクエア、ライトポップ、ブーク)

※この書体は、(財)日本規格協会と使用許諾契約
を締結して使用しているものです。なお、フォント
の一部には、弊社でデザインした外字を含みま
す。

フォントとして無断複製することは禁止されてい
ます。

平成明朝体TMW8、平成角ゴシック体TMW5

印刷方向 : 横書き・縦書き・裏書き

印刷文字体 : 標準・太字・白抜・影付・立体

印字行数 : 3.5mm 幅テープ使用時 1 行印刷可能
6mm 幅テープ使用時 1 ~ 2 行印刷可能
9mm 幅テープ使用時 1 ~ 3 行印刷可能
12mm 幅テープ使用時 1 ~ 5 行印刷可能
18mm/24mm 幅テープ使用時
1 ~ 8 行印刷可能

内部記憶

文字登録用の記憶 : 約 2,000 文字
ユーザー辞書 : 30 件
プリセットタイトル : 最大で 49 文字、50 件まで登録可能
コピー/ペースト : 最大で 49 文字、9 件まで登録可能
デザインロゴ : 4 フォルダ

登録・呼出し

登録 : 文字編集用記憶エリア一括登録 + 自動並び替え
呼び出し : 順次呼び出し

電源・その他

動作用電源 : AC アダプター (AD-1832L)
家庭用 100V 電源使用
単 3 形アルカリ乾電池 (8 本・市販品)
単 3 形 eneloop (8 本・市販品)
単 3 形充電式 EVOLTA (8 本・市販品)

内蔵時計動作用電池寿命

約 8 年

タイムスタンプ、タイムスパンでの年月日、時刻が正しく表示されない場合は、内蔵時計動作用電池の消耗が考えられます。この場合は、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」に修理をご依頼ください。(有料交換)

定格電圧 : DC1.8V
定格消費電流 : 800mA(15W)
オートパワーオフ : 約 6 分

- ・ACアダプターを使用して、パソコンに接続しているときは、オートパワーオフは、はたらきません。

時計精度 : 日差 ± 3 秒 (常温 15°C ~ 35°C)
大きさ : 幅 202mm × 奥行 212mm × 高さ 67.5mm (足含む)
質量 : 約 850g
使用温度 : 10°C ~ 35°C

別売品について

本機でご使用になれるテープ幅は、3.5mm・6mm・9mm・12mm・18mm・24mm です。別売品のテープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。また、別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランド新製品情報については、以下の URL をご確認ください。
<http://casio.jp/d-stationery/>

● クリーニングテープ

XR-24CLE

長期間で使用になると、プリンターヘッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。

● ネームランド用ハサミ

CU-10

9ミリ幅~24ミリ幅テープのカドを丸くしたり、カット部を波型に仕上げることができます。

- ・品切れの際はご容赦ください。
- ・別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引

アルファベット・数字

ACアダプター	9
QRコード	58
USBケーブル	「はじめにお読みください」
USBコネクタ	8
2行印字	38

あ行

アフターサービス	131
網掛	88
アルファベットの入力	69
イメージャー表示	38
印刷	19
印刷濃度	99
印刷プレビュー	19
印刷方向	40
印字行数	38,53,120
印字サイズ	49
印字密度	128
インデックスラベル	31
上付(印字サイズ)	85
裏書き	41
上書き	80
英数書体	82
絵文字	79
絵文字一覧	114
エラーメッセージ	108
オートカッター	22
オートパワーオフ	12
大文字の入力(アルファベット)	12
送り無	21
オリジナルの文字(外字)	94

か行

カーソル	68
改行	38
外字	94
角ゴシック体	82
学習機能	71,72
拡大印刷	36
確定	71

各部の名前	8
影付	86
下線(修飾)	88
下線(変換)	73
カタカナの入力	70
カタカナ変換	70
カットモード	22
かな漢字混じり文の入力	71
かな書体	82
かな入力	68
画面	18
漢字辞書	73
漢字の入力	71
キー	16
キーボード	16
キーのはたらき	16
記号一覧	113
記号の入力	78
行頭	68
行末	68
均等割付(ブロック)	48
均等割付(文字)	47
区点コード検索	75
クリーニング	104
後退	79
コピー	93
ゴムローラー	104
小文字の入力(アルファベット)	69
小文字(促音・拗音)の入力 (ひらがな・カタカナ)	70
コントラスト	99
こんなときは(トラブルシューティング)	105

さ行

サイズマーク	50
削除(部分)	80
削除(文削除)	80
削除(文字削除)	79
時刻指定	100
下付(印字サイズ)	85
ジャストフィット印刷	49
ジャストフィットマーク	50
充電式ニッケル水素電池	9,100,102
仕様	128
使用できるテープ	120

初期化	11
初期フォント	84
書式	40
全単位	41
ブロック単位	40
書体	82
白抜	86
数字の入力	77
スクエア	82
スクロール	68
ステンシル	82
スムージング	42
設定	
印刷濃度	99
初期フォント	84
挿入/上書き	18
デモ印刷	101
電池	100
日時設定	100
ブザー音あり/なし	98
ユーザー辞書	96
ローマ字/かな入力	68
予測変換の設定	100
変換学習の初期化	100
バックライト	99
コントラスト	99
前候補	71
全文削除	80
全文書式	41
全文頭	68
全文末	68
絵画数検索	74
挿入	80

た行

タイムスタンプ	92
タイムスパン	92
ダイレクト設定	46
縦書き印刷	54
縦横同時印刷	54
小さな文字	52,85
定型句	33
定型フォーマット	26
手書き	82
デザインロゴ	63

デザインロゴ内蔵データ一覧	121
データの削除	62
データの登録	61
データの呼び出し	61
テープ	14
テープ送り	21
テープカートリッジ	14
テープカートリッジのセット	14
テープカートリッジの取り出し	15
テープガイド	14
テープカット	22
テープ長固定	45
テープ出口	8
テープ長さダイレクト設定	46
テープの長さ	44
テープ幅と行数・倍率一覧	120
デモ印刷	101
電源	9
電源を入れる	12
電源を切る	12
電池	10,100,102
電池カバー	8,102
電池をセットする	102
登録	61
トラブルシューティング	105
取消し(文字修飾)	89

な行

内蔵漢字一覧	123
長さ指定	44
中寄せ(ブロック)	48
中寄せ(文字)	47
斜め	41
ナンバリング(通し番号ラベル)	29
日時設定	100
入力	
絵文字	79
外字	94
記号	78
文字	69

は行

バーコード	55
ハーフカット	22
倍率マーク	50

パソコンとの通信	……「はじめにお読みください」
バックライト	…………… 8,99
パレット	…………… 82
微小フォント	…………… 52,85
左寄せ（ブロック）	…………… 48
左寄せ（文字）	…………… 47
表示画面	…………… 18
ひらがなの入力	…………… 69
ブーケ	…………… 82
フォーマット	…………… 27
フォーマット選択	…………… 51
フォント（書体）	…………… 82
複数行の印字	…………… 38
ブザー音	…………… 98
部首検索	…………… 75
付属品	…………… 「はじめにお読みください」
太字	…………… 86
部分削除	…………… 80
ブラックレター	…………… 82
フリーラベル	…………… 37
プリセットタイトル	…………… 89
プリンターヘッド	…………… 15
フルカット	…………… 22
フレーム	…………… 53
フレーム一覧	…………… 116
プレビュー画面	…………… 19
ブロック	…………… 39
ブロック間隔	…………… 42
ブロック書式	…………… 40
ブロック長	…………… 41
ブロック長固定	…………… 44
ブロックの割付	…………… 48
プロデュース	…………… 82
プロポーション	…………… 41
文削除	…………… 80
ベスト	…………… 93
別売品について	…………… 129
変換	…………… 71
変換学習の初期化	…………… 100
方向（印刷方向）	…………… 40
ボールドスク립ト	…………… 82
ポップ	…………… 82
保証	…………… 131
ボンジュール	…………… 82

ま行

丸ゴシック体	…………… 82
右寄せ（ブロック）	…………… 48
右寄せ（文字）	…………… 47
明朝体	…………… 82
メモリー（登録）	…………… 61
メモリーの初期化（リセット）	…………… 11
メロディ	…………… 82
文字間隔	…………… 40
文字キー	…………… 17
文字サイズ	…………… 49
文字サイズ（行単位）	…………… 51
文字サイズ（文字単位）	…………… 49
文字削除	…………… 79
文字修飾	…………… 88
文字体	…………… 86
文字の入力	…………… 68
文字の訂正	…………… 79
文字倍率	…………… 50
文字割付	…………… 47

や行

ユーザー作成	…………… 31
ユーザー辞書	…………… 96
用途別ラベル	…………… 26
予測変換	…………… 71
予測変換の設定	…………… 100
余白	…………… 43
読み検索	…………… 73

ら行

ライトポップ	…………… 82
リセット（初期化）	…………… 11
立体	…………… 86
連番印刷	…………… 29
ローマ字入力	…………… 68
ローマ字入力一覧	…………… 112

わ行

枠付	…………… 88
和文書体	…………… 82
割付	…………… 47